

# 活動報告書



平成9年3月

島原中心市街地街づくり

推進協議会

# 会長挨拶

古瀬 亨

平成5年度に市街地総合再生計画事業として、島原市より中心市街地の再生マスタープランを作って頂きました。それを基本として実行する段階となると、どうしてもその地域の人達と利用するお客様の意見を充分に取り込まないといけないということで、平成6年12月に民間団体としてこの協議会を発足させました。それぞれの地区に合った研究会を作り、調査研究を重ねながら街づくりの具体的な動き方を模索してきましたが、その中で、「鯉の泳ぐまち」「中央公園」などの提言が徐々に実行される段階となっています。研究会の方々の熱心な努力の成果だと感謝しています。街づくりは一朝一夕に出来るものではありません。確固としたコンセプトを中心に出来ることから実行することです。そのためにはお互いの理解と協力が必要です。私達の街の資源を生かしながら、島原らしい街を創るために、先ず人と人とのつながりを大事にして心のこもった住みよい街、訪れて楽しい街を創り出すために、今後も一層努力して街づくりに励んでいくつもりです。

島原中心市街地街づくり推進協議会  
活動報告書 目次

●協議会の概要

1 組織図 1

2 各研究会の目標と主な活動経過について 2

3 規約 3

4 各研究会委員長あいさつ 5

5 活動経過（平成6年12月～平成9年3月） 10

6 予算の概要（平成6年度～平成8年度） 16

7 中央公園設計競技（平成7年度） 19

8 中央公園整備完成予定パース 22

9 鯉の泳ぐまちの街づくり協定（長崎新聞） 23

●街づくり先進地視察

◇協議会主催

10 〈平成7年2月〉山口県下松市、島根県津和野町 24  
視察先の街づくり関係者 48

11 〈平成8年2月〉福岡県柳川市・八女市・福岡市 49  
視察先の街づくり関係者 66

12 〈平成8年11月〉熊本県熊本市、宮崎県日南市 67  
（参考資料を抜粋）  
視察先の街づくり関係者 100

◇森岳商店街・森岳まちづくりの会主催

13 〈平成7年6月〉滋賀県長浜市・彦根市、大阪（玉出商店街） 101  
視察先の街づくり関係者 103

◇研究会主催

14 〈平成8年9月〉長崎市 104

●街づくり講演会

15 〈平成7年3月〉藤田 邦昭氏 105

16 〈平成7年10月〉大川 陸氏 114

17 〈平成9年2月〉柳沢 厚氏 115

18 〈平成9年3月〉藤原 恵洋氏 117

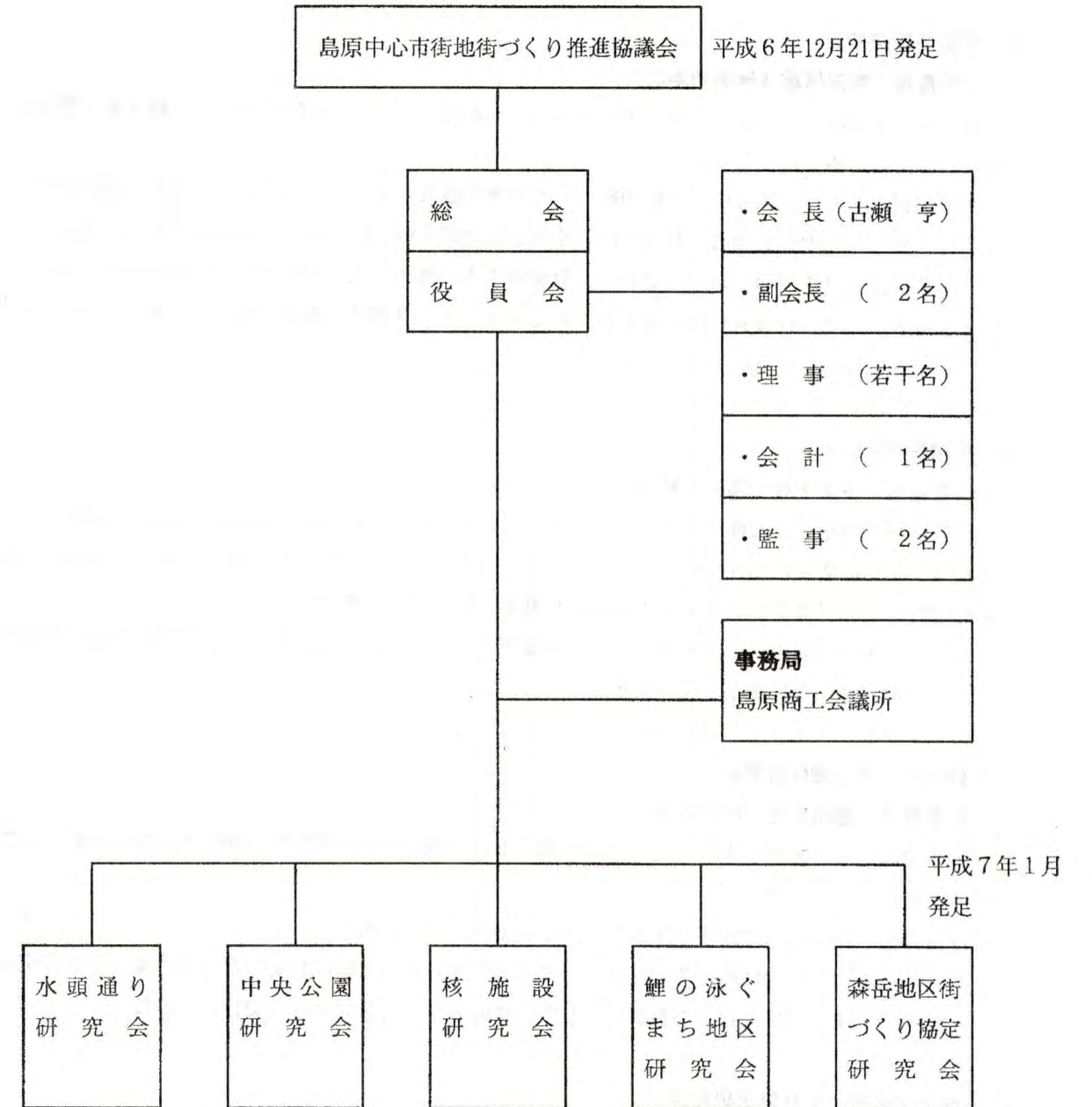
●参考資料

19 湯のまち奮戦記 122

20 島原中心市街地街づくり推進協議会会員名簿 126

島原中心市街地街づくり推進協議会の組織図

（平成8年度）



※オブザーバー 市 : 都市整備課、商工観光課、建設課

コンサルタント: ㈱安井建築設計事務所

※鯉の泳ぐまち地区研究会の名称は、研究会発足時は、鯉の泳ぐまち地区協定研究会である。

## 各研究会の目標と主な活動経過について

### (1) 水頭通り研究会

◎委員長：長池要七（柳長池屋）

来街者・地域住民の利便性の向上と住み良い街づくりを目指して、勉強会等を行っています。良好な街なみ整備の方法として、道路の拡幅整備等を検討しています。

### (2) 中央公園研究会

◎委員長：鹿田信雄（柳美乃本店）

鯉の泳ぐまちの中心施設（湧水をテーマとした都市広場）として再整備を行い、観光客・買物客・地域住民が集い、憩える広場を目指しています。

- ・上部組織である「島原中心市街地街づくり推進協議会」と市と一体となり、中央公園設計競技を平成7年度行いました。中央公園設計競技では、中央公園整備計画に対するアイデアとデザインを広く全国から募集し、応募作品191点の中から入選6点（最優秀1点、優秀1点、佳作4点）が選ばれました。
- ・平成8年度は、最優秀作品の提案者である柳プラナーク設計の近藤一郎氏、市を交えての勉強会を重ねながら実施設計への意見反映を行っています。

### (3) 核施設研究会

◎委員長：中山千尋（柳\*ヌル\*ル\*フ）

国光屋跡地利用を主に検討を行っています。国光屋跡地については、商店街の集客性を高めるために観光の核となり、かつ商店街の活性化の核となるような施設として、“しまばら”を彷彿とさせる情報や商品を提供する島原ないし島原半島を代表する強力な機能を有する施設導入を検討しています。

- ・「国光屋跡地利用の早期実現に向けての要望書」を島原中心市街地街づくり推進協議会から平成7年12月27日に島原市に提出しています。

### (4) 鯉の泳ぐまち地区研究会

◎委員長：藤田良彦（町内会長）

湧水等の地域の特性を生かした街なみ整備により、来街者・地域住民の利便性の向上と魅力的で住み良い街づくりを目指しています。

- ・勉強会、街づくりに対するアンケートが実施されています。
- ・「鯉の泳ぐまち地区街づくり協定」が平成8年9月8日に結ばれました。その街づくり協定の承認を市から鯉の泳ぐまち地区街なみ委員会に対して、平成8年9月30日付けで行いました。

### (5) 森岳地区街づくり協定研究会

◎委員長：猪原信明（(資)猪原金物店）

地域の特性を生かした街なみ整備により、来街者・地域住民の利便性の向上と魅力的で住み良い街づくりを目指しています。

- ・勉強会、街づくりに対するアンケートが実施されています。
- ・街づくり協定締結を目指しています。

## 島原中心市街地街づくり推進協議会規約

(名称)

第1条 この会は、島原中心市街地街づくり推進協議会（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、島原中心市街地の街づくりを円滑に推進するため、積極的に研究協議し、島原中心市街地の活性化及びゆとりと潤いのある住環境の整備促進を図ることを目的とする。

(地区)

第3条 本会の対象地区は、次の通りとする。

島原中心市街地（森岳、霊丘、白山地区の一部）

(事務局)

第4条 本会の事務局は、島原商工会議所内に置く。

2 事務局は、本会の庶務を行う。

(活動)

第5条 本会は、第2条の目的を達成するために、次の事項を行う。

- (1) 街づくりに関する協議検討
- (2) その他目的達成に必要な事項
- (3) 研究会活動

(組織)

第6条 本会の会員は、第3条に掲げる地区の地元関係者及び本会の目的達成に賛同する者をもって組織する。

(役員)

第7条 本会に、次の役員を置く。

会長	1名
副会長	2名
理事	若干名
会計	1名
監事	2名

2 役員は、会員の中から総会で選出する。

3 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 任期途中で就任した役員は、前任者の残任期間とする。

5 役員は、その任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでの間は前任者がその職務を行う。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 理事は、本会の運営にあたる。

4 会計は、会長の指揮を受けて、会計を処理する。

5 監事は、会計を監査する。

(相談役)

第9条 本会に相談役を置くことができる。

(会議)

第10条 会議は、総会及び役員会とし、必要に応じて会長が召集する。

2 会議の議長は、会長があたる。

3 総会は、本会の重要事項を審議する。

4 役員会は、会長、副会長、理事、会計をもって構成し、総会に付議する事項その他会運営に関する事項について審議する。

(会計)

第11条 本会の運営に関する経費は、会費、補助金その他の収入をもってあてる。ただし、対象地区の各商店街は、年額24,000円を負担し、役員及び研究会委員は、年額1,000円を負担する。その徴収方法は、協議の上定める。

2 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第12条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、総会において定める。

附 則

この規約は、平成6年12月21日から施行する。

この規約は、平成7年4月26日から改正施行する。

## 水 頭 通 り 研 究 会

委員 長 長 池 要 七

水頭通り研究会は今のところ、これと言った進展を見ておりません。道路拡幅という市民にとっても、地域住民にとっても、又商店街にとっても大事業になるべき一件にしては先の見えない事が多すぎます。第一は、道路の幅員が何メートルになるのか見当も付かないところです。家・土地共に所有して住んでおられる方。土地を借りて自宅に住んでおられる方。家・土地共に借りて住んでおられる方。自宅で営業の方。貸家に住んで営業の方。借家で営業だけの方等色々な条件の違いに加えてルートはどこを通すのかも良くわかっていません。そんな中で委員は、「もしもお宅を道路用地として買い上げるとしたら、どんな条件をクリアすれば協力していただけますか。」と徐々に要望の聞き取りを進めているところです。おそらく一番大きな、重要な場所であると思われる地点については、地主さんより前向きなお話をもらっております。今後は一刻も早い行政のアウトラインの決定をお願いします。

## 中央公園研究会

委員長 鹿田 信雄

平成3年に雲仙普賢岳噴火災害が起きていなければ、今のように街づくりに関心があったらうかと思えます。自分達の街を住み易い環境にする為に、貴重な災害体験を生かし、要望や意見が少しは言えるようになり、個人としては小さな活動でも多くの人達と一緒にすれば大きな力になると実感しました。

中央公園研究会は、他の研究会と比較すると、公共の公園整備でもありスムーズに経過しております。先ず、平成7年度に全国的な設計コンペを実施し、予想以上の191点の応募があり、東京の近藤一郎氏の作品が最優秀に決定しました。

平成8年度は近藤氏を交えながら、現場の水の湧水量など基礎的な資料集めや研究会などを開催して、具体的な設計に入りました。その間にも整備計画模型をGAMADASまちづくり・住宅フェアや不知火祭りなどで、一般に公開し周知を図りました。

今後の予定としては、市の予算の獲得次第で随時工事に入りますが、研究会としては、整備仕上がった後に美観や安全性、または環境などの維持管理をどうしていくかなど、これからも研究しながら、全体の街づくりが一日も早く理想に近づくように頑張りたいと思います。

## 核施設研究会

委員長 中山 千尋

島原中心市街地街づくり推進協議会がスタートして早くも4年目を迎え、核施設研究会も最終段階に入ったようです。

安井建築設計事務所と会合を重ね、勉強会をして国光屋跡地利用の早期実現に向けて、小冊子、イメージパース等を平成7年12月に完成しました。

1. 地区活性化に於ける国光屋跡地利用の重要性
2. 国光屋跡地利用の方向性
3. 公共による土地取得の推進
4. 国光屋跡地利用の早期実現に向けた取り組み

導入機能については、

「島原半島ビジターセンター」及び「一般駐車場」

「島原半島ビジターセンター」の機能とは、来訪者が必ず訪れ、島原らしさを総合的に体感できる島原らしさの発見機能、又島原らしさの支援、創出、洗練機能、生活者の生活文化見直し、島原らしさの再認識、再発見機能が出来る場所

それから、「一般駐車場」導入の必要性

現在、モータリゼーション時代で、駐車場の面に対して充分対応出来ない。中心市街地の活性化、推進していく為には、拡幅整備とか、一般駐車場の整備が必要ではないでしょうか。

ゆったりと自動車が入り出できる大型駐車場が必要ではないかと考えます。早急に跡地の確保をして頂き、絵に書いた餅にならないように、核施設研究会も前向きにがんばっていきたいと思います。

# 鯉の泳ぐまち地区研究会

委員長 藤田良彦

私達鯉の泳ぐまち地区研究会も平成8年5月前委員長島崎徳雄氏より引継ぎ、新たに下新町町内より9名を会員に加え、平成8年6月4日第1回会合を12名の参加で開き、街づくりについての意見交換を行い、7月には地域住民の方に協定案の説明をする事が出来ました。平成8年9月8日の日付をもって協定区域内の住民の方の合意を頂き、鯉の泳ぐまち地区街づくり協定書を作り協定を結ぶに至りました。尚、9月には鯉の泳ぐまちの街並の雰囲気を作り出そうということで清流にそった道路を石畳とする為に都市整備課の協力により会員5名、市より2名の参加で長崎の全石畳を視察し、石の種類、色合い等何回となく検討し、又昨年度の課題でありました湧水と生活排水の分離を考えて排水路を新たに作り、石畳の道路工事と同時に2月中旬より始まり、第一期工事が3月中旬に完工しました。

街づくりは、地域住民の方々の理解と協力がなければ成功する事は出来ません。今でも多大な迷惑をかけておりますが、鯉の泳ぐまちが装いも新たに“湧水のまち島原”として皆さんに愛される街となる様、地域住民の方々の意見を参考にしながら、地道な努力を重ねていきたいと思っております。

平成9年3月

# 森岳地区協定研究会経過報告

猪原信明/松坂昌應

以下は、知る人ぞ知る「復興ネットワーク」に連載してある記事のうち、ちょうど一年前の分(第4号/96.6.1)からの転載であります。

## 本物は民間主導の 森岳まちづくりの会 〈町づくり考④〉 松坂昌應

大分県知事平松守彦氏の有名な言葉に「県は自ら助くる者をたすく。」というのがある。「天は自ら助くる者をたすく。」の語呂合わせではあるがナカナカ絶妙な言い回しで面白い。  
「大分県はばらまき行政はやりません、やる気があって自分たちから積極的に行動するところに援助をします。」と云うわけだ。大分県のやり方は、一村一品運動などをはじめとしてかなりの成果をあげ、今日では地方行政の常識になっている。

町内に道を一本通す場合を考えてみたい。行政から提案して計画を実施に移そうとすれば、しばしばゴネル者が出てきていつまでも進まない。ところが住民側から提案すれば、用地交渉がスムーズに運びやすい。  
国から下りてくる助成事業は、まさにココがポイントになる。地方から助成を求めて上がってくる事業計画の中で、どこがもっとも効果的に実現していくかと考えるとき、それが住民主導かどうかで成功の鍵を握っているのである。国もまたみずから助ける者を助けるのである。  
噴火後、疲弊していいよ活気のなくなりつつある中心市街地をどうにかしようと、島原市はコンサルタントを入れて、調査を開始した。政治不信に陥っている多くの市民がまたマスタープランという名の「絵に描いたモチ」を見せるだけサと冷ややかに見ている中……  
この度のコンサルタントは特に出来が良かったのもあるが、聞き取り調査をするため森岳地区に足を踏み込んだコンサルターS氏は、森岳まちづくりの会のメンバーに拉致監禁

され、逆に聞き取り調査を受けてしまうハメになったのである。  
ワラにもすがりたい森岳の連中には渡りに船。S氏を囲んで、冒頭で紹介した行政の仕組みも含めて、いろいろなまちづくりのヒントを学ぶことができた。  
報告書(マスタープラン)が出来上がり、さあ事業化へと、住民は立ち上がった。(島原中心市街地街づくり推進協議会を設立)住民が動き出すようにと、情報を流し、そのかした役所の担当も偉いが、それに乗った住民も(多分)偉かった。  
具体化に向けて5つの研究会がスタートした。もちろん真っ先に手を挙げたのは「森岳まちづくりの会」であった(勢いはいつも1番だ)。しかし先行したのは、2番目に手を挙げた中央公園研究会。「湧水を活かした公園づくり」で国際コンペを実施するなどして、いよいよ工事がはじまる。  
今中心市街地のまちづくりバカたちは熱く燃えている。

その後の1年間は、森岳商店街の調査事業を通じて、かなり具体的な将来の青写真を作りました。しかし実際には、駅前縦道(七万石坂)の協定を練り上げいよいよ調印というところで足踏みしているところでもあります。

上の記事の続きとして報告すれば……  
森岳の連中は、さらに新町の連中に追い越されて(新町は、さすがに鯉の泳ぐ町を維持してきているだけあって、実力を発揮して一気にトップに踊り出た)、森岳は何ばしちょっとね!と叱られて、しきりに反省しているところでもあります。

# ☆協議会活動経過

期 日	活 動 内 容	開 催 場 所
平成6年 12月21日(水)	◎島原中心市街地街づくり推進協議会の結成(設立総会)	霊丘公民館 19:00~21:00
平成7年 1月12日(木)	◎協議会の理事会及び各研究会委員長との合同会議 ・研究会の委員確認 ・今後の事業計画(研究会活動、視察研修、講演会)	島原商工会議所
1月13日(金)	◎協議会会長、各研究会委員長、事務局、市による打合せ ・視察研修 ・講演会	ケルン会議室
1月18日(水)	◎各研究会委員長、事務局、市による打合せ ・視察研修 ・講演会	島原商工会議所
2月2日(木)	◎各研究会委員長、事務局、市による打合せ ・各研究会の活動報告 ・視察研修(参加申込み状況、視察地の事前学習)	島原商工会議所
2月9日(木) ~10日(金)	◎安井建築設計事務所の柳沢先生、末永さんと合同で島原の 現地見学と研究会の開催(5研究会参加) ・水頭通り研究会 ・中央公園研究会 ・核施設研究会 ・鯉の泳ぐまち地区協定研究会 ・森岳地区街づくり協定研究会	霊丘公民館ほか
2月20日(月)	◎協議会の理事会及び各研究会委員長との合同会議 ・各研究会の活動報告 ・今後の事業計画(視察研修、講演会、街づくりアドバイザー)	島原商工会議所
2月23日(木) ~24日(金)	◎視察研修の実施 ・2月23日(木) 山口県下松市 (1) 地方都市の中心市街地を再活性化する目的で、「下松 駅南地区都市活力再生拠点整備事業(リゾーム計画)を 実施し、現在事業を継続されている。 (2) 下松タウンセンターを視察(完成済) ・2月24日(金) 島根県津和野町 「環境保存条例」を制定し町ぐるみで貴重な文化遺産 の保全と住み良いまちづくり形成のために努力されて いる。	山口県下松市 島根県津和野町 (参加者) 23名
2月27日(月)	◎協議会会長、各研究会委員長、事務局、市による打合せ ・視察研修の報告・講演会・街づくりアドバイザー・総会	霊丘公民館
3月8日(水) ~9日(木)	◎安井建築設計事務所の末永さんと合同で島原の現地見学と 研究会の開催(5研究会参加)	霊丘公民館ほか
3月19日(日)	◎協議会の理事会及び各研究会委員長との合同会議 ・視察研修の報告・講演会・活動経過報告・総会	霊丘公民館
3月29日(水)	◎講演会の実施 (講師)藤田邦昭 先生 (株)都市問題経営研究所 代表取締役 (テーマ)「店の魅力、街の魅力」	霊丘公民館 19:30~21:30 (参加者) 129名

期 日	活 動 内 容	開 催 場 所
平成7年 4月17日(月)	◎協議会の役員会 ・総会(4月26日)	霊丘公民館
4月24日(月) ~25日(火)	◎安井建築設計事務所の柳沢先生、末永さんと合同で研究会の 開催(5研究会参加)	霊丘公民館ほか
4月25日(火)	◎国光屋跡地の公的取得についての要望書を島原市長に提出 (H7.3.30付) (出席者)古瀬会長、中山核施設研究会委員長、北村(鞆)	
4月26日(水)	◎総会の開催	霊丘公民館
7月19日(水)	◎中央公園設計競技(コンペ)打合せ (出席者)古瀬会長、鹿田中央公園研究会委員長、北村(鞆) 島原市商工観光課及び都市整備課 ・費用、内容等	島原市役所
7月19日(水) ~20日(木)	◎安井建築設計事務所の柳沢先生、末永さんと合同で研究会の 開催(5研究会参加)	霊丘公民館ほか
8月3日(木)	◎住宅月間「まちづくり住宅フェア」開催打合せ(第1回) (出席者)古瀬会長、事務局、各研究会委員長ほか 長崎県住宅課、島原振興局建築課 島原市建設課及び都市整備課 ・主催への参加 ・イベントの開催 ・今後の進め方	島原振興局
8月20日(日)	◎「鯉の泳ぐまち街づくり」のお知らせ配布 (鯉の泳ぐまち地区協定研究会)	
8月21日(月)	◎国光屋跡地の公的取得についての要望書を島原市議会議長に 提出 (出席者)古瀬会長、中山核施設研究会委員長、北村(事務局)	
8月23日(水)	◎住宅月間「まちづくり住宅フェア」開催打合せ(第2回) ◎事務局、各研究会委員長、島原市都市整備課による打合せ ・役員会(9月1日)の議題	霊丘公民館 霊丘公民館
9月1日(金)	◎協議会の役員会 ・研究会報告 ・島原半島街づくり住宅フェア	霊丘公民館
9月11日(月)	◎国光屋跡地の公的取得についての要望書を島原振興局長に 提出 (出席者)古瀬会長、中山核施設研究会委員長、北村(事務局)	
9月18日(月)	◎住宅月間「まちづくり住宅フェア」開催打合せ(第3回)	霊丘公民館
9月30日(土)	◎住宅月間「まちづくり住宅フェア」長崎市会場への参加 (出席者)事務局、島原市都市整備課	ポートパーク長崎
9月	◎「森岳地区の街づくり」のお知らせ配布 (森岳地区街づくり協定研究会)	
10月4日(水)	◎住宅月間「まちづくり住宅フェア」開催打合せ(第4回)	霊丘公民館
10月5日(木) ~6日(金)	◎安井建築設計事務所の末永さんと合同で研究会の開催 (5研究会参加)	霊丘公民館ほか
10月24日(火)	◎中央公園設計競技第1回審査委員会の開催 (出席者)審査委員、事務局、長崎県住宅課、島原振興局建築課 島原市都市整備課、安井建築設計事務所 ・募集要項の決定 ・今後の予定	霊丘公民館 11:00~17:00



期 日	活 動 内 容	開 催 場 所
平成7年 10月24日(火)	◎安井建築設計事務所の末永さんを講師として招き、今後の森岳地区のまちづくりについて話合う (出席者) 森岳地区街づくり協定研究会、 地元関係者、島原市商工観光課及び都市整備課	森岳公民館
10月28日(土) ～29日(日)	◎住宅月間「まちづくり住宅フェア」開催 ・「基調講演－島原半島の活性化に向けて！」 大川陸 (財)住宅生産振興財団専務理事 ・「討論会－島原の魅力あるまちづくりとは」 各研究会委員長ほか ・よなべ談義～水屋敷(石川邸、万町) ・協議会の運営費捻出のため、バザーを開催 ・各種イベント	万町市民いこいの場 親和銀行島原支店 水屋敷(石川邸、万町) 島原アーケード商店街
10月	◎「森岳地区の街づくり」のお知らせ配布 (森岳地区街づくり協定研究会)	
12月3日(日)	◎「鯉の泳ぐまち街づくり」に関するアンケート実施 (鯉の泳ぐまち地区協定研究会)	
12月18日(月)	◎協議会全体会議の開催 ・5研究会の活動報告 ・中央公園設計競技経過報告 ・視察研修 ・中心市街地の街づくりの経緯と今後の進め方等について 安井建築設計事務所の末永さんより説明を受ける	島原商工会議所
12月27日(水)	◎国光屋跡地利用の早期実現に向けての要望書を島原市長に提出 (出席者)古瀬会長、中山核施設研究会委員長、城島副委員長 北村(事務局)	
平成8年 1月12日(金)	◎協議会の理事会及び各研究会委員長との合同会議 ・視察研修 ・講演会 ・平成7年度収支予算書の変更について ・5研究会の活動報告	島原商工会議所
2月7日(水) ～8日(木)	◎安井建築設計事務所の戸辺さんと合同で研究会の開催 (5研究会参加)	霊丘公民館ほか
2月22日(木)	◎中央公園設計競技第2回審査委員会の開催(一次審査) (出席者)第1回審査委員会と同様 ・応募作品191作品の中から39作品を推薦	霊丘公民館 11:00～17:00
2月26日(月) ～27日(火)	◎視察研修の実施 ・2月26日(月) (1)福岡県柳川市 ・街なみ環境整備事業(水を活かした街づくりを推進) (2)福岡県八女市 ・街なみ環境整備事業(歴史的街なみを活かした街づくりを推進) ・2月27日(火) (3)福岡県福岡市 ・市街地再開発事業(再開発による新たな街づくりを推進) 高宮地区、下川端地区	福岡県柳川市 " 八女市 " 福岡市 (参加者) 19名

期 日	活 動 内 容	開 催 場 所
平成8年 2月29日(木)	◎「鯉の泳ぐまち街づくり」に関するアンケート結果報告 (鯉の泳ぐまち地区協定研究会)	
3月4日(月) ～15日(金)	◎中央公園設計競技の一次審査で推薦された39作品を市と協同 で親和銀行島原支店並びに、十八銀行島原支店のホールで展示	親和銀行島原支店 十八銀行島原支店
3月17日(日)	◎中央公園設計競技の一次審査で推薦された39作品を市と協同 で、島原一番街アーケード内で展示	島原一番街アーケード
3月下旬	◎「森岳地区の街づくり」に関するアンケート実施 (森岳地区街づくり協定研究会)	
3月25日(月)	◎中央公園設計競技第3回審査委員会の開催(最終審査) (出席者)第1回審査委員会と同様 ・一次審査で推薦された39作品の中から入選6作品を決定 最優秀作品 1点、優秀作品 1点、佳作 4点 (最優秀作品の提案者) 東京都在住 近藤 一郎 氏	霊丘公民館 11:00～17:00
3月28日(木)	◎中央公園設計競技審査結果発表	島原市役所

期 日	活 動 内 容	開 催 場 所
平成8年 4月18日(木)	◎中央公園設計競技表彰式 (出席者)最優秀の近藤一郎夫妻(東京都品川区) 佳作の伊藤真理さん(北海道札幌市) 島原市長、力安助役 島原市商工観光課、建設課及び都市整備課 長崎県住宅課、島原振興局建築課 古瀬会長、北村、山村、末永(事務局) 鹿田、栄木(中央公園研究会)	島原市役所
5月2日(木)	◎役員会の開催 ・総会の議題 5月24日(金)	島原商工会議所
5月24日(金)	◎総会の開催	島原商工会議所
6月3日(月) ～4日(火)	◎安井建築設計事務所の戸辺さん、プランナー設計の近藤さん と合同で研究会の開催(中央公園、森岳、鯉の泳ぐまち)	霊丘公民館 森岳商店街事務所
6月17日(月)	◎平成8年度街づくり住宅フェア推進会議への出席	長崎市
7月15日(月)	◎鯉の泳ぐまち地区協定研究会の開催 ・街づくり協定	霊丘公民館
7月18日(木)	◎住宅月間「GAMADASまちづくり・住宅フェア」打合せ (出席者)島原半島住まいづくり協力委員会(加盟団体) 長崎県ゆとりある住まいづくり推進協議会 島原中心市街地街づくり推進協議会 長崎県住宅課、島原振興局建築課 島原市建設課、都市整備課及び商工観光課	第1回、霊丘公民館
7月22日(月) ～23日(火)	◎安井建築設計事務所の戸辺さん、プランナー設計の近藤さん と合同で研究会の開催(中央公園、森岳、鯉の泳ぐまち)	霊丘公民館 森岳商店街事務所
8月29日(木)	◎住宅月間「GAMADASまちづくり・住宅フェア」打合せ	第2回、親和銀行 林田邸
9月11日(水)	◎鯉の泳ぐまち地区協定研究会の開催 ・石畳舗装等について	林田邸
9月11日(水) ～12日(木)	◎安井建築設計事務所の戸辺さん、プランナー設計の近藤さん と合同で研究会の開催(中央公園、森岳、鯉の泳ぐまち)	霊丘公民館 森岳商店街事務所
9月12日(木)	◎水屋敷関連の調査を実施 (出席者)藤原恵洋(九州芸術工科大学) 安井建築設計事務所、近藤一郎(プランナー設計) 長崎県建築士会島原支部、げんごろう倶楽部 島原市商工観光課、建設課及び都市整備課 古瀬会長、各研究会、事務局	霊丘公民館 森岳商店街事務所
9月13日(金)	◎住宅月間「GAMADASまちづくり・住宅フェア」打合せ	第3回、霊丘公民館 長崎市
9月21日(土)	◎鯉の泳ぐまち地区協定研究会のメンバーと島原市都市整備課 職員で長崎の石畳みを視察	長崎市
9月25日(水)	◎協議会の役員会 ・視察研修	
9月30日(月)	◎鯉の泳ぐまち地区街づくり協定が、島原市より承認される	協定の締結日 平成8年9月8日
10月1日(火)	◎住宅月間「GAMADASまちづくり・住宅フェア」打合せ	第4回、霊丘公民館 旧国光屋旅館跡地及 び島原7-ゲート商店街
10月12日(土) ～13日(日)	◎住宅月間「GAMADASまちづくり・住宅フェア」の開催 ・各種イベント ・よなべ談義 ・中央公園整備模型が展示される	

期 日	活 動 内 容	開 催 場 所
平成8年 11月8日(金) ～10日(日)	◎島原の産業祭りに中央公園整備模型が展示される	島原市体育館
11月11日(月)～ 平成9年3月31日(月)	◎万町市民いこいの場に中央公園整備模型が展示される	
11月19日(火) ～20日(水)	◎視察研修の実施 ・11月19日(火) (1)熊本県熊本市 ・市街地再開発事業(熊本駅前) (2)宮崎県日南市 ・本町商人通り ・11月20日(水) (3)宮崎県日南市 ・ふれあい通りふるさと公園 ・本町商人通り	熊本県熊本市 宮崎県日南市
11月25日(月) ～26日(火)	◎財団法人ハウジング・アソシエーションの審査委員によるげんごろう倶楽部 部の活動状況ヒアリングに協力	霊丘公民館 現地(市役所周辺)
11月28日(木)	◎水屋敷関連の調査を実施 (出席者)前回と同様	
11月28日(木)	◎安井建築設計事務所の戸辺さん、プランナー設計の近藤さん と合同で研究会の開催(中央公園、鯉の泳ぐまち)	霊丘公民館
12月19日(木)	◎協議会の役員会 ・新春街づくり談義 ・講演会 ・協議会活動報告書 ・研究会報告	商工会議所
平成9年 1月11日(土)	◎鯉の泳ぐまち地区協定研究会の開催 ・鯉の泳ぐまちの石畳舗装について	西田邸
2月上旬	◎鯉の泳ぐまちの石畳舗装が市により着工される (鯉の泳ぐまち街なみ整備工事:3月中旬完成)	
2月8日(土)	◎街づくり講演会の開催 (講師)柳沢 厚 先生 横浜国立大学講師 (テーマ)「街づくりのこれまでの歩みと今後の進め方」	霊丘公民館 19:30～21:00 (参加者)27名
3月7日(金)	◎水屋敷関連の調査を実施 (出席者)前回と同様	
3月7日(金)	◎街づくり講演会の開催 (講師)藤原 恵洋 先生 九州芸術工科大学 芸術工学部工業設計学科講師 (テーマ)「市民参加型まちづくりの可能性 -復興から創造へのワークショップ-」	森岳公民館 19:30～21:30 (参加者)80名

# 協議会予算の概要

平成6年度

## 収入の部

科目	6年度予算額	6年度決算額	摘要
助成金	600,000	600,000	島原市から助成
協議会負担金	325,000	370,000	会費・視察負担金
雑収入	0	9	預金利息等
計	925,000	970,009	

## 支出の部

科目	6年度予算額	6年度決算額	摘要
会議費	50,000	75,997	協議会開催等
研究会費	100,000	100,000	研究会活動費(5研究会)
視察研修費	475,000	332,402	1回(先進地視察研修)
講演会費	150,000	210,410	1回(街づくり講師料)
事業費	50,000	150,270	視察研修報告書作成等
事務局費	50,000	83,700	事務費・備品・印刷費等
予備費	50,000	17,230	
計	925,000	970,009	

平成7年度

## 収入の部

科目	7年度予算額	7年度決算額	摘要
助成金	2,000,000	2,000,000	島原市から助成
協議会負担金	1,000,000	817,775	バザー・会費・視察負担金
雑収入	68,230	17,421	預金利息等
計	3,068,230	2,835,196	

## 支出の部

科目	7年度予算額	7年度決算額	摘要
会議費	50,000	86,850	協議会開催等
研究会費	100,000	13,650	研究会活動費(5研究会)
視察研修費	350,000	254,959	1回(先進地視察研修)
講演会費	250,000	110,600	1回(街づくり講師料)
事業費(コソハ°費)	2,200,000	2,137,156	中央公園設計コンペ審査員謝礼、賞金ほか
事務局費	110,000	196,718	事務費・備品・印刷費等
予備費	8,230	35,263	預金利息等
計	3,068,230	2,835,196	

平成8年度

収入の部

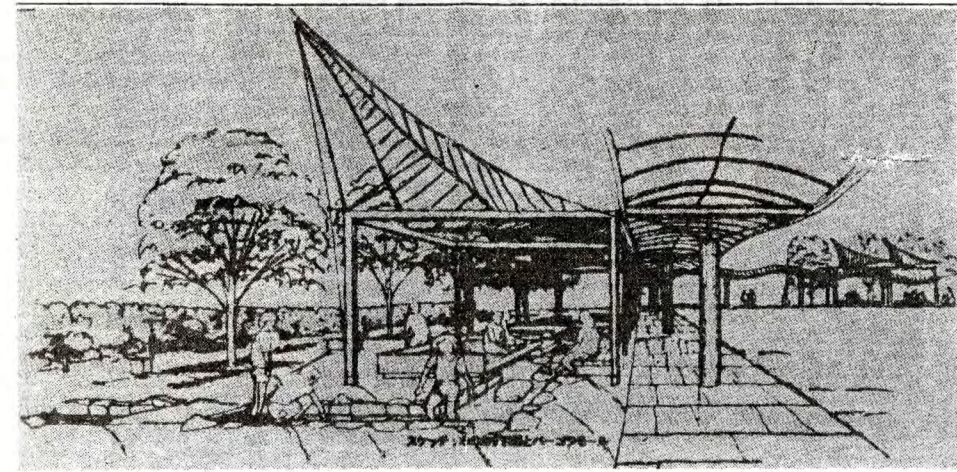
科目	8年度予算額	8年度決算額	摘要
助成金	1,000,000	1,000,000	島原市から助成
協議会負担金	500,000	507,000	会費・講演会共催金・視察負担金
雑収入	35,263	35,964	預金利息等
計	1,535,263	1,542,964	

支出の部

科目	8年度予算額	8年度決算額	摘要
会議費	100,000	269,001	協議会開催等
研究会費	100,000	103,491	研究会活動費(5研究会)
視察研修費	350,000	157,456	1回(先進地視察研修)
講演会費	320,000	318,740	講師謝金・看板等
事業費	350,000	193,900	街づくり談義・報告書
事務局費	310,000	466,966	事務費・備品・印刷費等
予備費	5,263	33,410	預金利息等
計	1,535,263	1,542,964	

# 湧水活かした街づくり

◇中央公園設計競技の入選者決まる◇



島原市が「湧水を活かした街づくり」の一環として実施した「中央公園設計競技」の最終審査の発表会が二十八日午後、市役所会議室であり、東京世田谷区在住の近藤一郎さんの作品が

## 近藤氏が最優秀賞に 九年度から着工の予定

島原市が「湧水を活かした街づくり」の一環として実施した「中央公園設計競技」の最終審査の発表会が二十八日午後、市役所会議室であり、東京世田谷区在住の近藤一郎さんの作品が最優秀賞に選ばれた。同コンテストは登録の段階で六百七十二件を数え、島原に対する全国の関心の高さを伺わせたが、最終的に百九十一作品が応募。二月二十二日の一次審査で選ばれた三十九作品について、今月二十五日、最終審査を実施し、入選作品六点を選定した。発表会ではまず吉岡市長が結果を発表したあと、「中央公園の再整備は島原復興の大きな弾みになる。市民に親しまれる公園として大いに活用されるよう期待したい」とあいさつ。審査委員会(会長・石野治長崎総合科学大学学長)を代表して鮫島和夫同大助教授が、「二年半の繁忙期にもかかわらず、これだけ多数の応募をいただいたことに敬意を表する」と前置きし、「前後二日間あたり熱心な議論と投票を繰り返しながら、候補作品の絞り込みを行った。入選六点を決定するにあたっては、同じ傾向の作品に片寄らないよう配慮するとともに、デザイン、提案の斬新性を読み取ることに力を注いだ。最優秀賞の選定ではデザインとアイデアに優れた伊藤氏(作品番号一二四)の案と、総合的に安定感のある近藤氏(作品番号二七)の案とで議論が沸騰したが、様々な利用形態への対応を求められる公共性の性格に配慮し近藤氏の案を採用することとした」とその経緯を説明。個々の入選作品について講評を述べた。最優秀賞となった近藤氏の作品は、「水を多様な形態で展開することにより豊かな水の表情をつくり出し、シエラターと築山(水神塚)で空間を区分することによって、単調になりかねないオープンスペースに適切な変化をつけることに成功している」としている。以下優秀一点、佳作四点の入選者は次の通り(敬称略)。  
△優秀 伊藤恭行(東京都八王子市)  
△佳作 高橋寛和(神奈川県川崎市、久保田知明(北海道札幌市)、小野公義(神奈川県川崎市)、酒井一江(東京都目黒区)など)  
なお賞金として最優秀賞に百万円、優秀賞に三十万円、佳作に各五万円が贈られる。今後、最優秀作品の設計を基本に平成九年度から事業に着工、同年度完成を見込んでいる。「写真」最優秀賞に選ばれた近藤さんの設計から水のあるま屋とパーゴラモジュール

島原新聞より抜粋しています(平成8年3月29日(金))

### 島原中心市街地街づくり・中央公園設計競技入選者一覧

	代表者氏名	代表者住所又は連絡先	勤務先住所、勤務先名	協同設計者氏名	作品のテーマ
最優秀	近藤 一郎	東京都世田谷区船橋1-2-15	東京都品川区上大崎2-13-38 三樹ビル706 南プラナーク設計 ☎03-3473-9506		水神塚の共奏する公園…… 水の流れと淀みがつくる街
優秀	伊藤 恭行	東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学工学部建築学科	東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学工学部建築学科 ☎0426-77-2808	森 紀久、高橋 佐代子、 山田 衣菜子	平らな地表面に切り込みをいれ、めくり上げることによって、シンプルでありながら豊かな空間を持つ公園の創出
佳作	高橋 寛和	神奈川県川崎市宮前区野川728-1 エクセレンス天城203	東京都台東区花川戸1-13-16 浅草駅前濱松ビル5階 株式会社E・L・Aデザイン室 ☎03-5828-6721	東 勝三、山口 建一	水がみちびく街の未来 「湧水スクエア」
佳作	久保田知明	北海道札幌市中央区南1条西14丁目 リバーストーンビル9F ㈱アーキシップ アソシエイツ	北海道札幌市中央区南1条西14丁目 リバーストーンビル9F ㈱アーキシップ アソシエイツ ☎011-281-0993	伊藤 真理、瀬戸口 剛、 藤原 慈、照井 雅巳、 登尾 未佳、小島 利光	こいの泉公園
佳作	小野 公義	神奈川県川崎市中原区木月954 レインボーハイツ木月3B	東京都港区芝浦1-2-3 シーパンスS館 清水建設㈱ ☎03-5441-0143	木村 理一	Aqua Core Park せせらぎ・ 橋脚・波紋 島原湧水Network
佳作	酒井 一江	東京都目黒区八雲5-10-1-202 帆淡窓庵	東京都目黒区八雲5-10-1-202 帆淡窓庵 ☎03-3724-1030	及川 邦昭、落窪 一人	島原・みず景色遊逸



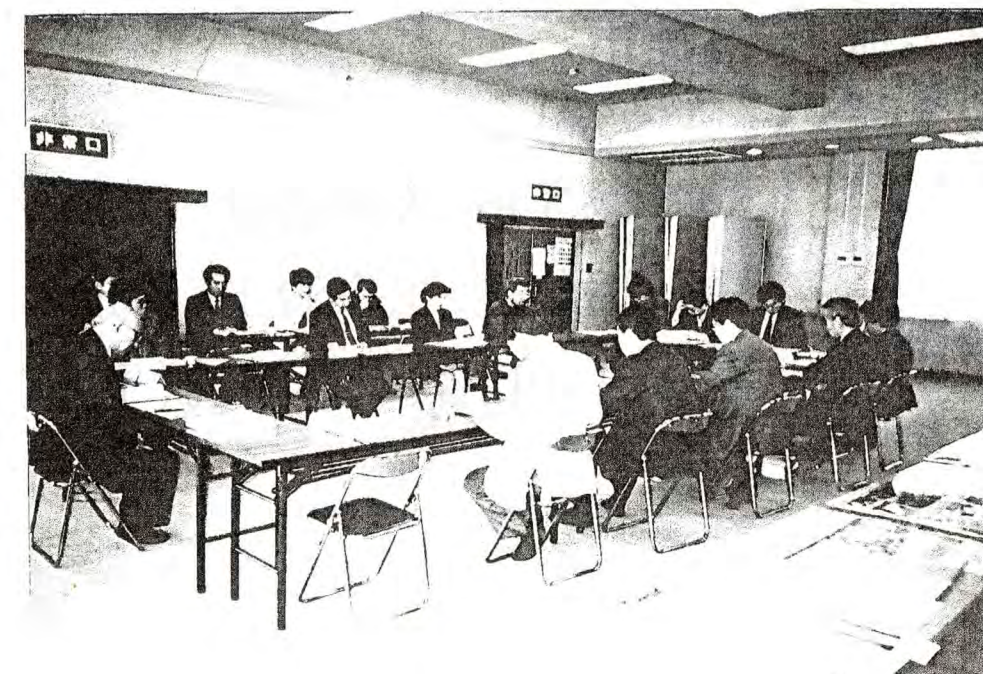
中央公園設計コン  
 一次審査通過作品  
 一般公開(島原市  
 アーケード内)



中央公園設計コンペ  
 一次審査風景

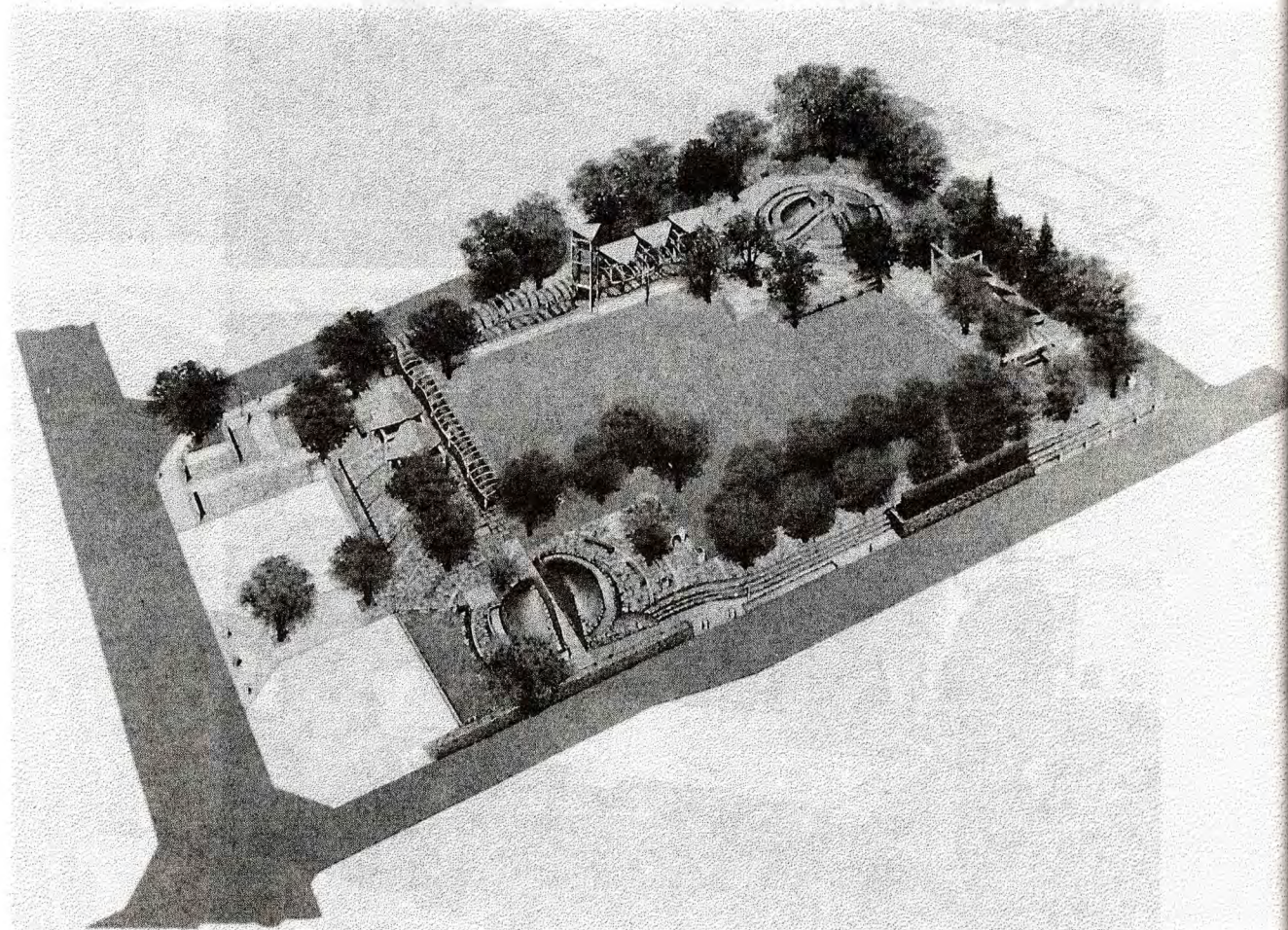


審査結果発表



最終審査風景

# 中央公園整備完成予定パース



事業主体：島原市

平成8年度 実施設計

平成9年度 工事着工(予定)

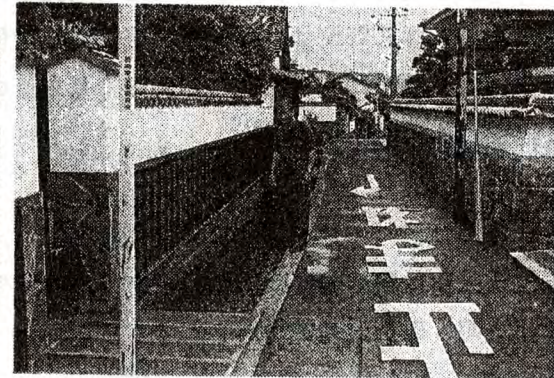
平成10年度 工事竣工(予定)

# 「鯉の泳ぐまち」守ろう

## 町内会が景観保全協定

### 建築物の高さ制限も

島原・下新町



住民同士で「鯉の泳ぐまち」地区街づくり協定が締結された島原市下新町町内会一帯の情緒あふれる街並み

【島原】水の都・島原を」と四年前に研究会を設けた「鯉の泳ぐまち」で知られる島原市下新町町内会（藤田良彦会長、五十七世帯）住民らが、景観保全協定「鯉の泳ぐまち地区街づくり協定書」を作成、締結した。清流を生かした街づくりの心を一つにして取り組む住民の姿に、大きな関心が集まっている。

「街づくり協定」を結んだのは町内の南北と東方にそれぞれ約五十メートルの水路が巡る。市の再開発計画に合わせて「環境に合った街づくり」

島内では長崎市が都市景観条例を制定しているが、住民同士の協定は珍しく、県都市計画課では「建設省に問い合わせても、全国でもほかにこうした例は聞いたことがないとのこと。非常にユニークな協定だ」と注目、期待を寄せている。

同協定は「湧（ゆ）水のまち島原にふさわしいまちなみ環境の充実を図る」とした「目的」をはじめ、「建築物等の整備に関する事項」「協定区域」など全十二条から成り、住民の三分の二以上の同意で締結（有効）としている。

条文は「塀などについて、は、生け垣や板塀等街なみと調和したものとする」、「一形状、塗料とも周囲との調和がとれるものとする」

また生活排水も「原則として湧水路に放流しない」として規制。現在、市が、下水道と水路を分けるための工事を、石畳整備と合わせて行っている。

町民の発案で二十年前に

なみ環境の充実を図る」とした「目的」をはじめ、「建築物等の整備に関する事項」「協定区域」など全十二条から成り、住民の三分の二以上の同意で締結（有効）としている。

条文は「塀などについて、は、生け垣や板塀等街なみと調和したものとする」、「一形状、塗料とも周囲との調和がとれるものとする」

また生活排水も「原則として湧水路に放流しない」として規制。現在、市が、下水道と水路を分けるための工事を、石畳整備と合わせて行っている。

町民の発案で二十年前に

始めた「鯉の泳ぐまち」づくり。市が整備した二カ所の休憩所（ポケットパーク）用地も住民が無償提供するなど、町民の高まるふるさとの愛情に支えられて実現した今回の協定。藤田会長は「協定後、また実際に建て替えのケースが出ていない。協定が試されるのはこれから」と話している。

街づくり事例地視察会 (ご案内)

島原中心市街地街づくり推進協議会の活動計画のひとつとして、視察会を下記日程で実施します。今年度は、山口県下松市と島根県津和野町です。下松市は市街地再開発事業を誘導した商店街活性化と住環境の整備を推進されており、津和野町は水路と建物等の地域特性を活かした街づくりで、いずれも成功事例地です。事例地の視察は、これからの街づくりを進めるのに重要な要素になりますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

- 視察日時 平成7年2月23日(木)～24日(金)
- 視察地 山口県下松市「下松駅南地区都市活力再生拠点整備事業」  
島根県津和野町「環境保存条例等」
- 視察行程
  - ・2月23日(木)
    - 集合時間 午前7時50分
    - 出発時間 午前8時00分
    - 集合場所 島原商工会議所
    - 視察地 山口県下松市 視察時間14:45～16:45
    - 宿泊先 山口勤労総合福祉センター笠戸島ハイッ  
下松市笠戸島14番地  
電話 0833-52-0150
  - ・2月24日(金)
    - 視察地 島根県津和野町 視察時間10:15～11:45
    - 島原着 19:00

視察研修行程表

月/日(曜)	行程	備考
2/23 (木)	島原 8:00 ⇒ 諫早IC 9:15 ⇒ 川登SA 9:50～10:00 ⇒ 古賀SA 11:20～11:30 ⇒ めかりPA(昼食) 12:15～13:00 ⇒ 徳山東IC 14:20	○視察地 山口県下松市
	下松 14:40 ⇒ 下松駅前(視察) 14:45～16:00 ⇒ 下松タウンセンター(視察) 16:00～17:00 ⇒ 下松(宿泊) 17:20	
2/24 (金)	下松 8:00 ⇒ 津和野(視察・昼食) 10:15～12:00 ⇒ 小郡IC 13:30 ⇒ 壇之浦PA 14:30～14:40 ⇒ 金立SA 16:40～16:50	○視察地 島根県津和野町
	諫早IC 17:50 ⇒ 島原 19:00	

(1) 第15671号

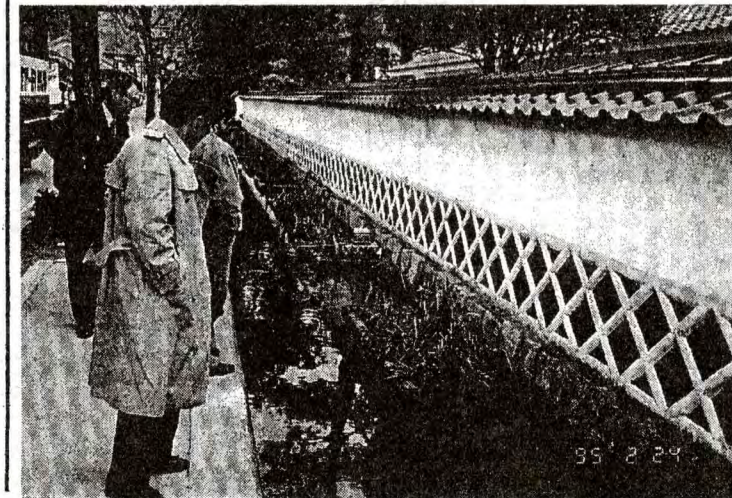
「鯉の泳ぐまち」地区は、街づくりと歩いている上  
うな、そんなまちである。  
昨年十二月、島原中心市  
街地街づくり推進協議会が  
発足、五部に分かれた研究  
部会(鯉の泳ぐまち地区協  
定研究会、水頭縦線研究  
会、中央公園研究会、核施  
設研究会、森岳地区街づく  
り協定研究会)がそれぞれ  
の固い結果と熱意が行政を  
いとも簡単なことで観光的

長 阿 徳 雄

探訪  
『  
くり推進協  
修会より』

夏はあろうが、そこに  
が住まなければ映画の  
トミタいなもので何の  
も価値もない、とは役  
課長補佐の説明であ  
る。これは現実には居  
ていないという現実をふ  
へ、居住する人々が快  
楽を創り出すのも、何  
も観光客のためではなく  
住民が楽しむためのもの  
である。と強調する。  
殿町一帯の電柱は地下に  
埋設し、目立つ看板は取  
はずし、街路灯には亀井家  
の家紋を描くなど、景観形  
成にも細やかな気遣いを見  
せている。  
なまこ壁の連なる裏通り  
の土蔵の中に骨とう店や美  
術館、白壁のコーヒー店な  
ど周囲の景観と調和した街  
並みの中に、観光地島原の  
修景整備を進める上で欠か  
せない素材をいくつも発見  
することができた。  
今後まちづくり推進協の  
なかで「鯉の泳ぐまち」が  
どのような形で商店街や中  
央公園と接続機能が果たせ  
るのか、また中央公園を核

P24～P48は  
平成7年2月の  
山口県下松・島根県津和野  
視察報告書(平7.3.31発行)  
より抜粋重複



とした「鯉の泳ぐまち」の  
ネットワーク化がどうす  
められて行くのか。具体  
な内容を検討する上で今  
ち地区協定研究会委員

島原新聞より抜粋しています

RESUME



下松駅南地区まちづくり推進協議会

会長 田中孝一良  
(銀座屋)

事務局 〒744 山口県下松市大手町  
(市役所内)  
TEL 0833-41-1800  
自宅 〒744 山口県下松市元町西  
TEL 0833-41-0410

P24~P48は  
平成7年2月の  
山口県下松・島根県津和野  
視察報告書(平7.3.31発行)  
より抜粋重複

湯外、森林太郎1862年石見の国津和野に生まれる

津和野町役場

企画財政課・企画係

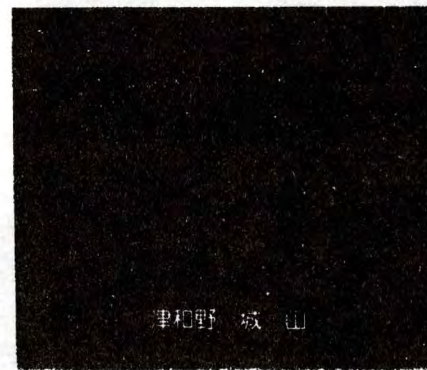
齋藤道夫

〒699-56 島根県鹿足郡津和野町大字後田口64番地6  
TEL (08567) 2-0650/FAX (08567) 2-1650

石川建築設計室

一級建築士 石川卓夫

〒699-56 島根県鹿足郡津和野町大字後田口277-6  
☎ & FAX (08567) 2-1637



津和野町役場  
商工観光課

課長補佐 山岡浩二

〒699-56  
島根県鹿足郡津和野町大字後田口64-6  
TEL (08567) 2-0650  
FAX (08567) 2-1650

〒699-56 島根県鹿足郡津和野町大字後田口64番地6  
電話(08567)2-0650

主任主事  
村田隆昭

街づくり事例地視察会 (ご案内)

島原中心市街地街づくり推進協議会では、年間活動のひとつとして事例地視察会を計画しております。

平成7年度は、山口県下松市と島根県津和野町を視察しましたが、今年度は、福岡県福岡市、柳川市並びに八女市を下記日程で視察します。福岡市は再開発による新たなまちづくりを、また柳川市は水を活かした街づくり、八女市は歴史的街なみを活かした街づくりで、地元では街づくり協定が締結され事業に着手されている事例地です。

つきましては、事例地視察の体験を活かして、中心市街地街づくりをさらに推進していくために、ご多忙の折り恐れいりますが、ご参加下さいますようお願いいたします。

- 視察日時 平成8年2月26日(月)～27日(火)
- 視察地 福岡県柳川市「街なみ環境整備事業」  
福岡県八女市「街なみ環境整備事業」  
福岡県福岡市「再開発事業」下川端東地区、高宮地区

○ 視察行程

・2月26日(月)

集合時間	午前8時00分	
出発時間	午前8時10分	
集合場所	島原商工会議所	
視察地	福岡県柳川市	視察時間 11:00～14:00 (昼食込み)
視察地	福岡県八女市	視察時間 14:30～16:30
宿泊先	福岡県福岡市	博多サンライトホテル (住所) 博多区祇園町2-21 (電話) 092-271-4321

・2月27日(火)

視察地	福岡県福岡市	視察時間 9:10～13:15 (昼食込み)
島原着		17:30

街づくり事例地視察会行程表

月/日(曜)	行	程	備考
平成8年 2/26 (月)	島原 → 多比良港(フェリー) → 長州港 → 柳川(視察・昼食) → 八女(視察) →	8:10発 8:45 9:10発 10:00着 11:00～14:00 14:30～16:30	○視察地 福岡県 柳川市 八女市
	八女IC → 太宰府IC → 福岡市(宿泊)	16:40 17:10 17:40着	
2/27 (火)	福岡市(宿泊) → 福岡市内(視察・昼食) → 太宰府IC → 川登SA(休憩) →	9:00発 9:10～13:15 14:00 15:20～15:35	○視察地 福岡県 福岡市
	諫早IC → 島原	16:15 17:30	



## 「そこにある素材を活かす」

—— 柳川と八女（街なみ環境整備事業）の例

森岳地区街づくり協定研究会

松坂 昌應

5つの研究会の中で、「コイの泳ぐ街」と私たち「森岳地区街づくり協定研究会」が考えている事業は『街なみ環境整備事業』であります。そういう意味で、この度の視察の初日（八女、柳川）は、すでに『協定』を結んで、大臣承認まで取っていて、いよいよ事業化と云う段階の事例なので、参考になりました。

以下、視察研修に参加できなかったメンバーのためにあらすじを報告いたします。詳しい資料として、先方から頂いたパンフレット、事業計画書、および質疑応答のテープなどは事務局にありますので必要に応じて請求してください。

林田観光バスに乗り込んだ一行は、予定通り島原商工会議所を後にして多比良港に向かった。多比良港のターミナルが建て替えられているのは知らなかった。船が横付けされたような斬新なデザインで、（森岳地区には似合わないけれども）面白いなあと思った。調べると設計者は地元の人で佐々木信明さんという人だ。要チェックですゾ。

噂に聞いたカモメ軍団がフェリーに付きまとい客の投げるパンくずをひょいと空中で受け取る様子は宣伝の仕方でも名物になりうらと思った。

バスの中で、自己紹介やら、資料の配付やらしているうちに、はや柳川の町に入る。さっそく柳川市役所に案内していただき、職員の方から説明をしていただいた。

### 柳川市の場合

柳川市は人口4万3千。農漁業が主幹産業。川下りが有名で観光も重要な位置を占める。ピーク時には入り込み数120万人。宿泊は1割に満たず、7～8%か。つまり通過型である。川下りの終点のキナタ地区（？）は、観光客が集まりはじめて商店が観光対応化してきている。通過型から宿泊型へと目指している。川下りの起点、柳河（中隅町）地区の商店は旧態然として、衰退傾向。観光客が入ってきても、公衆トイレも無い始末。

平成4年、行政から働きかけて、街なみ環境整備事業に着手。基礎調査をして、2年後の平成6年には、「まちづくり協定書」ができ、大臣承認を取った。対象地区は2カ所で、下流のオニド町（？）8軒は、町内会長が県のOBでわけが分かっているすんなりまとめてくれた。上流の中隅町15～6軒も、今すぐの問題ではないので、会議所青年部や主婦たち地区代表が回ってくれてすんなりOKだった。という。

ポイントは、「協定には、出来ないことは盛り込まない。」と云うことで、何か理想が

低くて、物足りない印象を受けたが、道路幅が十分あってセットバックなどの必要が無い柳川の事情だから、まず大臣承認ということで第1関門突破をめざしたのだろう。

協定内容を少し紹介すれば、

むこう10年間（更新あり）、新築改築のおりには、

- 屋根葺材及び色彩は、黒を基調とした瓦屋根とする。またはそれと同程度の仕上げを行うこととする。
  - 外壁は周辺の景観と調和したものとする。
  - 空調室外機や給湯機など建築設備類は通りから見えない位置に設けるか、または覆いをするなど建築物本体及び周辺の景観との調和に配慮する。
- （中略）
- 住宅の敷地、また駐車場や空地などにおいてもできるかぎり植樹・植栽を施し緑化に努める。

と、というような具合で、修景等に対する助成はないが、新築改築しない限り、こうした制限もなく、新築改築の時にもそれほどの制限になっていないので、すんなり協定書のハンは貰えたのだろう。

行政としては、川に面する道路の整備に助成を取りつけることが先決で、道路がそれらしく整備されれば、住民はそのイメージに合わせて、ゆっくりついてくるという判断なのか。

まず事業化と考えれば、[公]の部分が先行するのだから、住民が無理に理想を高くしてまもらないより、出来ることだけ盛り込んで協定を結び、[公]部分の整備状況を眺めながら、住民が自主的により高い部分を目指していけばいいのである。どの道紳士協定なのだから、住民が長く信頼関係をもち続けることが大切なのだ。

短い時間で、うなぎをかきこみ、かけ足で現地を見た。伝説に聞く広松係長の話は聞き出せなかった。（広松さんの努力と、それに呼応した住民パワーで、暗渠になってしまいつつあった柳川の水路が復活したと聞いていたが、そんな話を住民から聞き出す時間は取れなかった。）

柳河地区の該当地区に洋風の鉄筋ビル（写真館）があったので、協定にハンを押すに至った経緯を取材しようと試みたが、ご主人は不在で、高校生ぐらいの可愛らしい娘さんは、「まちづくり協定」のことも知らない様子だった。

川下りを体験する時間など、いよいよ取れなかったが、まあ1回ぐらいは船の上のコタツに入ると云うのも面白いかなあと思ったが、ガタ臭いドブ川で、二度目はもう結構という感じがした。北原白秋が出てるのは強みだなあ。



# 柳川市

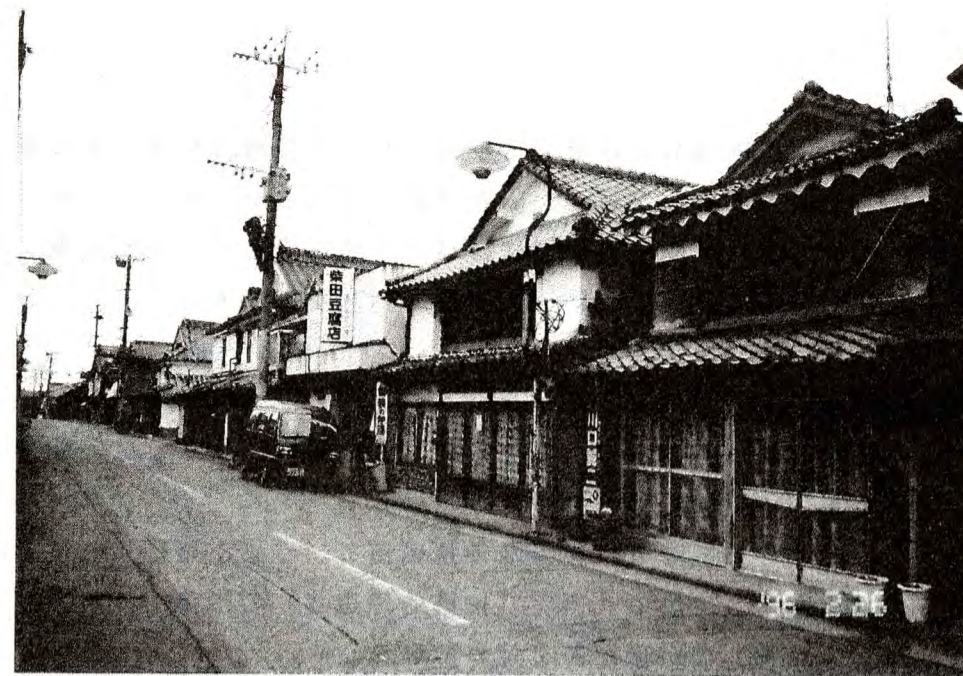
水路上流部 川下り風景



水路上流部  
後方が対象地



水路中・下流部  
白秋道路(散策)



# 八女市

伝統的に残る町屋群



右のような家が、左の  
ように改修される



往還わきの伝統芸能が  
行なわれる神社にて

八女に向かうバスから、1階部分だけセットバックして、2階は歩道の上にガングのよ  
うにオーバーハングしている商店街が見えた。合理的ではあるが、見た目は不自然で、格  
好は悪いなあと思った。わずか半間程の歩道にはバイクやら売台やらルール違反も多く、  
どこも大変だなあなどと思っているうちに、次の目的地八女市に入る。

#### 八女市の場合

八女市もまた、「街なみ環境整備事業」であるが、こちらは、かなり広範囲で、25年  
掛かりの速大な計画である。(対象地区に579世帯)

時代に取り残された町並みは、これは相当な骨董価値で、うまく整備すれば素晴らしい  
観光地にもなりうる要素をもっている。事実[伝統的建造物]の指定も4軒あり、旧往還  
沿いには130件(180棟)の町屋が軒を連ねている。

たぶん八女市は、観光地ではないんだろうが、市役所に案内されるや、助役さんはじめ、  
各課の課長クラス、住民側の代表者などそうそうたるメンバーでお出迎えをいただき恐縮  
させられた。「あいにく市長が不在で申しわけない」から始まり、同じ4万人クラスの柳  
川が、担当課の職員だけの対応だったことと比べてしまって落差を感じたのは私だけでは  
あるまい。(でも、柳川は、若くてきれいどころの女子職員がおいしいお茶をだしてくれ  
たが、肝心の八女茶の八女が、缶入りのお茶で興ざめとの意見もあった。)

こちらから押しかけておいて、対応に批評なんぞは失敬せんばんである。しかし、観光  
も主幹産業である柳川が、(挨拶は要らないけど)いわゆる視察団に対して、(建設部都  
市計画課の街なみ環境整備事業のパンフレットは良く出来ていたが、)柳川市の観光パン  
フレットの配布をしないのは何故か。いわゆる視察団は、絶好の観光宣伝隊ではないのか、  
ひょっとして、2度は来て貰えないと、最初からあきらめているのか。ひるがえって、今  
島原市役所には、災害関連の視察がかなり多いと聞いているが、ちゃんと「今度はゆっく  
り家族連れで観光に来てください」のもてなしはしているのだろうか。

まだ宿泊施設等、観光地化していないという八女に、また機会があったら訪ねてみたい  
と思ったのは私だけではない。現地視察が十分にできなかったのもあって、今回の視察は  
宿泊を福岡でなく八女にしたほうが良かったと、後で思ったのも私だけではない。

八女の場合、この度の事業はかなり優先順位の高い事業であることがわかる。担当課の  
職員だけでなく、市長助役各課長に至るまで良くこの度の事業の主旨を理解しているよう  
で、(まあそれは当たり前だけど)、さらに民間との連携がしっかりできているんだなあ  
と感じられた。行政が偉いのか、民間が偉いのか、たぶん両方とも偉いのだろうと思う。

八女の協定の内容は、柳川ともまた似たり寄ったりの程度のものである。違いがあると  
すれば、こちらはファサード(前面)修景などに補助金がつく点であろう。

両市とも人口規模などほとんど島原市に近く、大変参考になる事例であった。手配して  
くれた市職員の皆様ありがとうございました。

## ☆先進地視察レポート

### 「地区活性化における 市街地再開発事業」

核施設 中山千尋

福岡市は、人口127万、アジア拠点都市として、めざましい発展を遂げています。  
政治、文化、経済……九州の主要都市であり、市街地再開発事業完了を含めて8か所の  
市街地再開発事業を推進しています。市施行事業が5か所、組合施行が3か所、その中で  
今回「下川端地区市街地再開発事業(組合施行)」、「下川端東地区市街地再開発事業(組  
合施行)」の2事業を“福岡市都市整備局 都市開発部再開発課 田竈氏”から概要の  
説明を受けました。

下川端地区市街地再開発事業の計画概要は、敷地面積約15,900㎡、延床面積約  
153,800㎡、地下4階、地上13階、用途は百貨店、ホテル、駐車場、アジア美術  
館、店舗、住宅などです。総事業費約1,070億円の大規模市街地再開発事業です。  
その中で、権利者は業務部分900㎡、住宅部分15戸を確保。本事業がスタートしたの  
は、昭和55年の再開発準備組合結成から、設立までに15年の永い道程があったようで  
す。

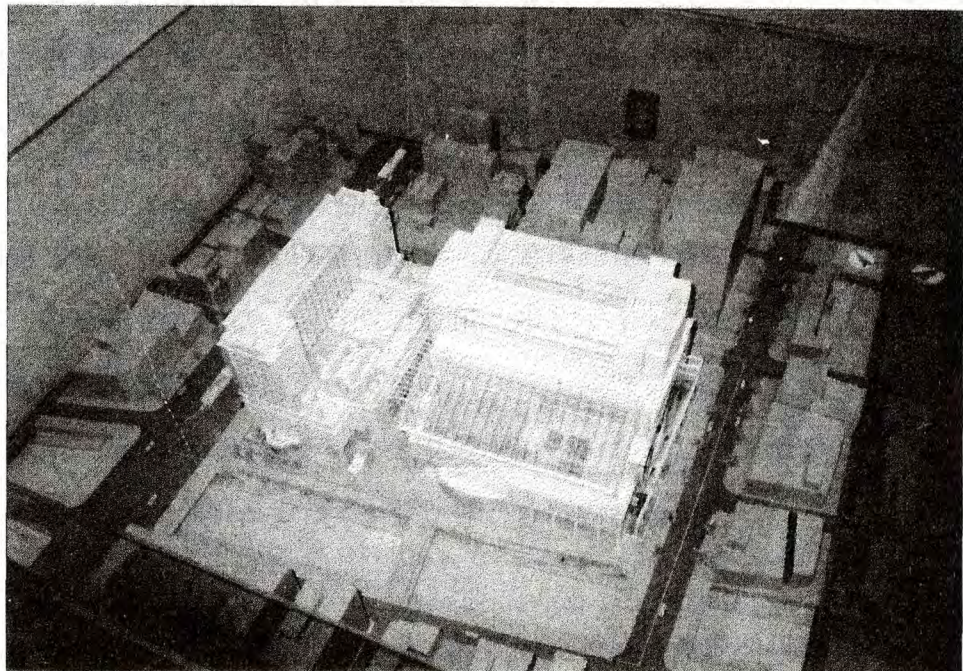
下川端東地区市街地再開発事業を行う地区は、古くから栄えた商店街であったが、近年  
は沈滞化して、隣接の下川端地区市街地再開発事業と連携して、一体感のある町づくりを  
行い、沈滞化する下川端地区の活性化、そして、市の都心部の均衡ある発展を目的として  
います。計画概要は、敷地面積約5,900㎡、延床面積約44,200㎡、地下4階、  
地上13階、用途は劇場、業務施設、商業施設、駐車場などです。総事業費約417億円  
です。本事業は、基本的には、商業者が自ら町づくりの気運がないと成功もないが、その  
ためには自分達の町は自分達で考え、住民による住民の為の再開発でないといけない。

やはりスタート時点では、組合員の方々は、まずは総論賛成、各論反対、頭の中では再  
開発を考え、活性化をやらなければと考え、いざ自分の所の話になると、やはり思い悩ま  
れ、なかなかスタートラインまでは、厳しさがあるようです。

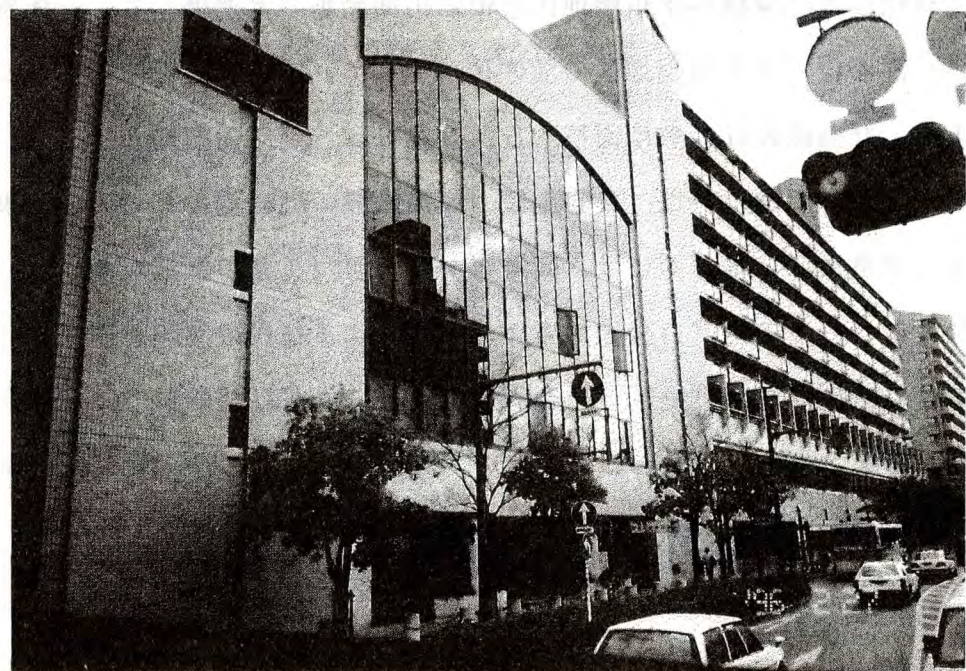
再開発事業は、基本的に市、組合、都市未来福岡事務所3者で再開発を運営し、いろんな組合員の相談に都市未来福岡事務所が当り、その内容は組合員の不動産の問題、出店とか移転の件、再開発での営業はどうするのかなどです。

再開発で街づくりをする場合は、地元権利者が多く残らないとビルの建設と土地となると、莫大な費用がかかり再開発事業費用の問題で難しくなるようです。やはり地区活性化、町づくりによる再開発事業は、地元の意気込み、組合員の意志の疎通、団結、自分達の町は自分達でという基本的な考えでいくべきだと思います。

我々核施設研究会は、今後下川端地区再開発事業など参考にし、国光屋跡地利用の早期実現に向けて、勉強し努力していかなければと思います。



下川端地区：模



高宮地区の再開発ビル(ピア高宮)

バーチャル・リアリティ

藤田昌彦

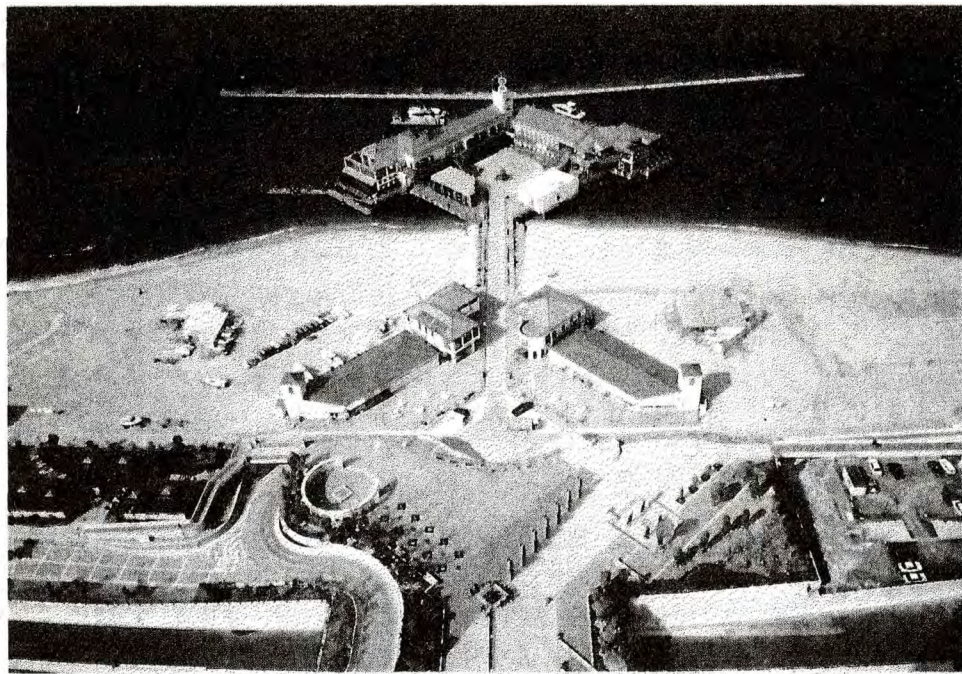
今回の柳川・八女の街なみ環境整備事業、博多の再開発事業の視察を終え印象に残る事は前者は古くなった環境の整備としては島原に住んでいた私にとって多少なりとも愚カを感じなくともエールを送りたい心境になりました。しかし問題は後者、博多だけなら私も全国的な過度な再開発事業(それに先は海外にも及んでいくような問題があります)には待たない!と言いたい。自然環境破壊が着々と進む整形美人の日本が私の意に反しどういじられようか失ったこっちありませんか。後のことを考えない無知無謀ともいえる欲ばりな発想には現にこちらまで迷惑した経験があるのでちと一言、二言。

本来、日本は長屋文化の国だと聞いております、これが都市の巨大なアミューズメントとその中味、Monoがあふれて飽和状態のこの国に又Monoが置かれるような積木遊びで散らかした5才児の子供部屋の中に入るといような気がします。思えば私が子供の頃一番楽しかった事といえば夏休みには澄みきった湯江の小川や長浜での水遊び、冬休みは積もった雪での雪合戦、それに毎日続けたハチヤビ一玉遊びでした。森林で楽しい思い出です。それが今では島原近辺の小川や海はドブみたくに汚く、冬も温暖化が都市熱かは知らないけど雪なんて積もったためもなく、最近の道路状況からしてハチヤビ一玉なんてもつてのほか!ファミコンビデオが巷に溢れ実体験が乏しかった子供の希薄になった人間関係からは学校などの現実の中で少しでも刺激を受けられたい様肉体的・精神的な弱さが露出し数々の校内暴力、果ては殺人にまで発展します。ちなみにこれは子供に限った事ではなくあのおれけおれいな宗教団体が世間を賑わし居るのは私たちの記憶に新しい事です。

この都市問題と相まって日本が世界に誇る特殊性として99%が同一民族で同一言語を話すというお家事情が挙げられます。この現実を真に実感としてとらえるチャンスのがあった人たち、知らない人たちがいくら再開発と言ったところであまりにも視野が狭く一人よがりです。又その代償行為としての再開発なる止めた方がいい。この国に本当の未来はやうてこないと思います。オランダやハワイはマスハインまでがこの日本にあるのか本当に不思議、究極のバーチャルリアリティです。

インターネットの普及等高度の情報化社会の波がやってきます、都市機能もそれについて行かぬはなりません。しかしそういう仮想現実の中で生活しても結局は数々のストレスにより人間性が失われるだけ、開発よりももっとも緑を増やす、自然を戻す大自然の中の都市の必要性を強く感じます。ここに環境に対する逸話があります;

英国の大金持ちが太平洋のある島にヨットで休暇に来た。やがて彼は島の唯一の住民にこう言われた、「どうして働かないの。働けば私みたいに豪華な生活ができるのに……」住民は言いました、「私はいつも楽しんでいる。」



福岡タワーからの風景

## 柳川、八女、島原の三市における街づくりの展望

長峯唯之

多くの地方都市がそうであるように、柳川、八女、島原のこの三市も、人工的、商業的  
面において、共通の問題を抱えていると思う。これらの問題を解決するために、様々な街  
で、様々な街づくりが推進されているようだが、その方法は大まかに分けて二種類あるよ  
うだ。

一つは、大阪や福岡などの大都市の中において、街を再開発する場合である。この場合  
の打開策としては、複合店舗、つまりショッピングモールという形がとられているようだ。

もう一つは、大都市から離れた地方都市の場合である。地方都市の場合は、大都市と違  
い、財政的に大きな後ろ盾がさほど期待できないため、自ずととられる手段はしほりこま  
れてくる。つまり、昔ながらの風土や景観をより良く活かした再開発方法である。

柳川、八女、島原の三市は、無論後者の方である。今回の視察で、この島原が今後進む  
べき方法は、ほぼ明らかになったと思う。そろそろ実行の時期が訪れたのではないだろう  
か。尤もこれからの行動には、より多くの困難がきまとうことは覚悟しなければならな  
いだろう。

八女市見学 について

高島 2丁目 町内会  
本田 正之

前文 (建物の写真)  
八女市の主要街は旧福島城の城下町である  
筑紫平野の中心。周辺に水量豊かな矢部川また八女茶の名産地  
女子適の街並みを生かした場所と思はれる

① 説明会

助役の御中挨拶あり 侍与名の自己紹介 紹介の立場  
から「街づくり事業」について 熱心に説明あり

島原側から十分な質疑あり

(2) 市内見学

係り5名の案内で主要な街を歩き伝統ある建物の所有者  
と市との協力態勢により修復工事が進んでいる状況の  
現場を見学する 江戸明治大正の和風建築群あり110棟  
について保存促進をなしている。途中貴重な古風な建築  
が目につく。造り酒屋、伝統工芸(提灯佛壇)の仕事場であり  
特殊な設計である

(3) 整備事業について 平成5年より発足 20年間で終了予定である  
長期間の計画がたてられている 伝統ある建物等の所有者  
が行う修復、復元には補助金の制度あり

(4) 人口は島原と同じ位である。 いづれも同じで「交通体系の  
変化、車社会 大型店舗のため 商店街(アーケード街)の空地  
空店舗が増加している。

以上大要を言及したがそれ以外土地のよき宝を失くすことが大七刀。  
島原はどうする。アーケード街の入口大七川の改修により橋美化など  
面目一新した。たまたまよくなる。吾輩吾輩5年の空白があった  
中央公園の緑化芝生、十分に水まきまきの公園作りを早急に

内外より人が日常集まる場所にした。

2/26~27日

高島 2丁目町内会

是夜 茂

先般は島原市の市街地整備(北)推進協議会の主催による

河川・八女・福岡視察を完了に答へてお礼の手紙を  
お礼申し上げます。

私達は高島2丁目町内会を代表して会長と私(副会長)の  
二人で参加させて頂きました。

柳川市に於きましては水(氾濫)の町として有名です。

私は水都として水害対策に対してはどのような対策を

にしているか! との説明をお求めたが 誠に貴重な  
説明を頂き、大変参考になりました。

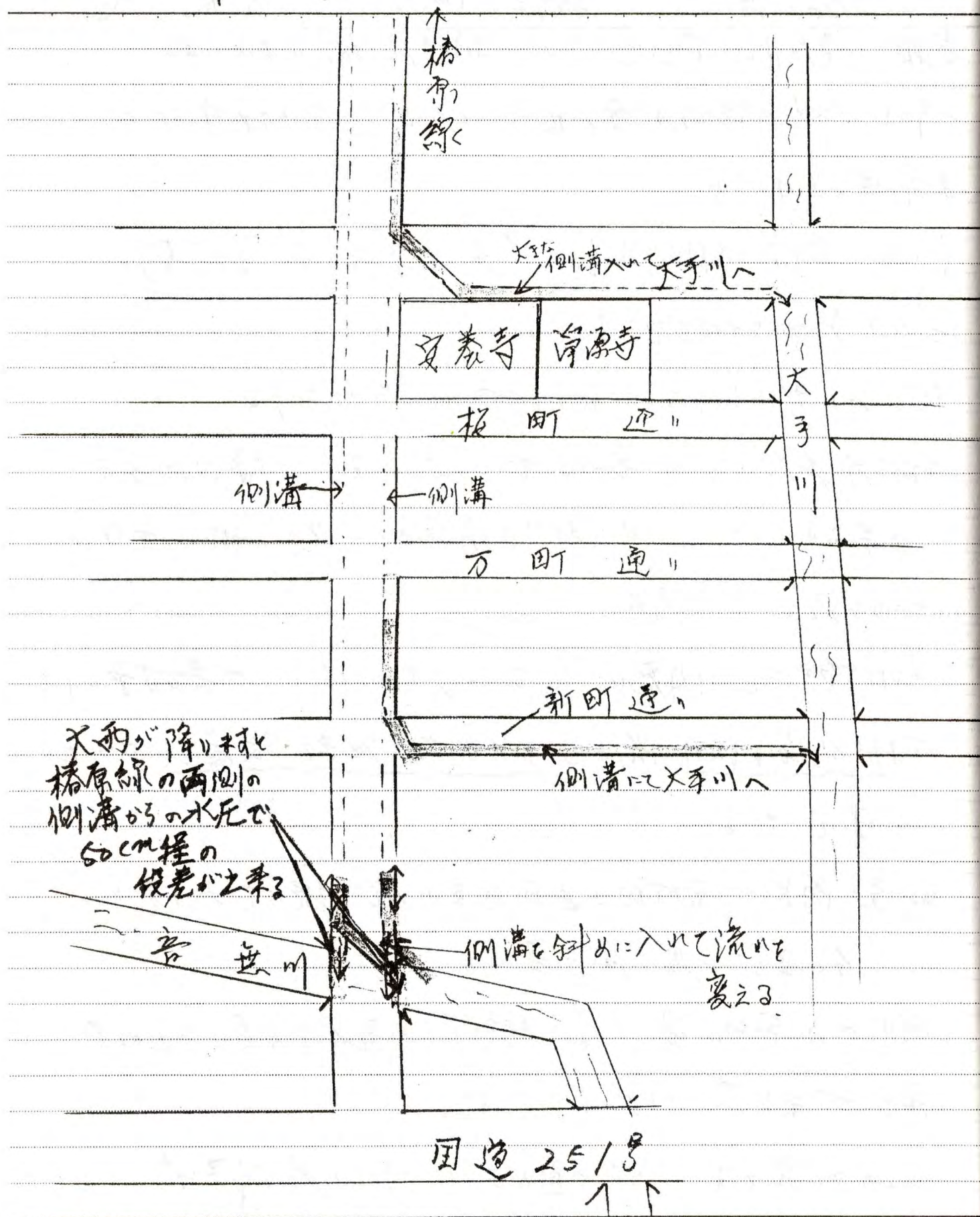
説明頂きました内容は フリー7(カリ坂)に水害対策として  
は排き水溝を設け 尚かつ 排き水ポンプまで設備に  
おられること。

私達の高島2丁目町内は毎年水害に会い続けておりました  
ので その事が一番の関心事でありました

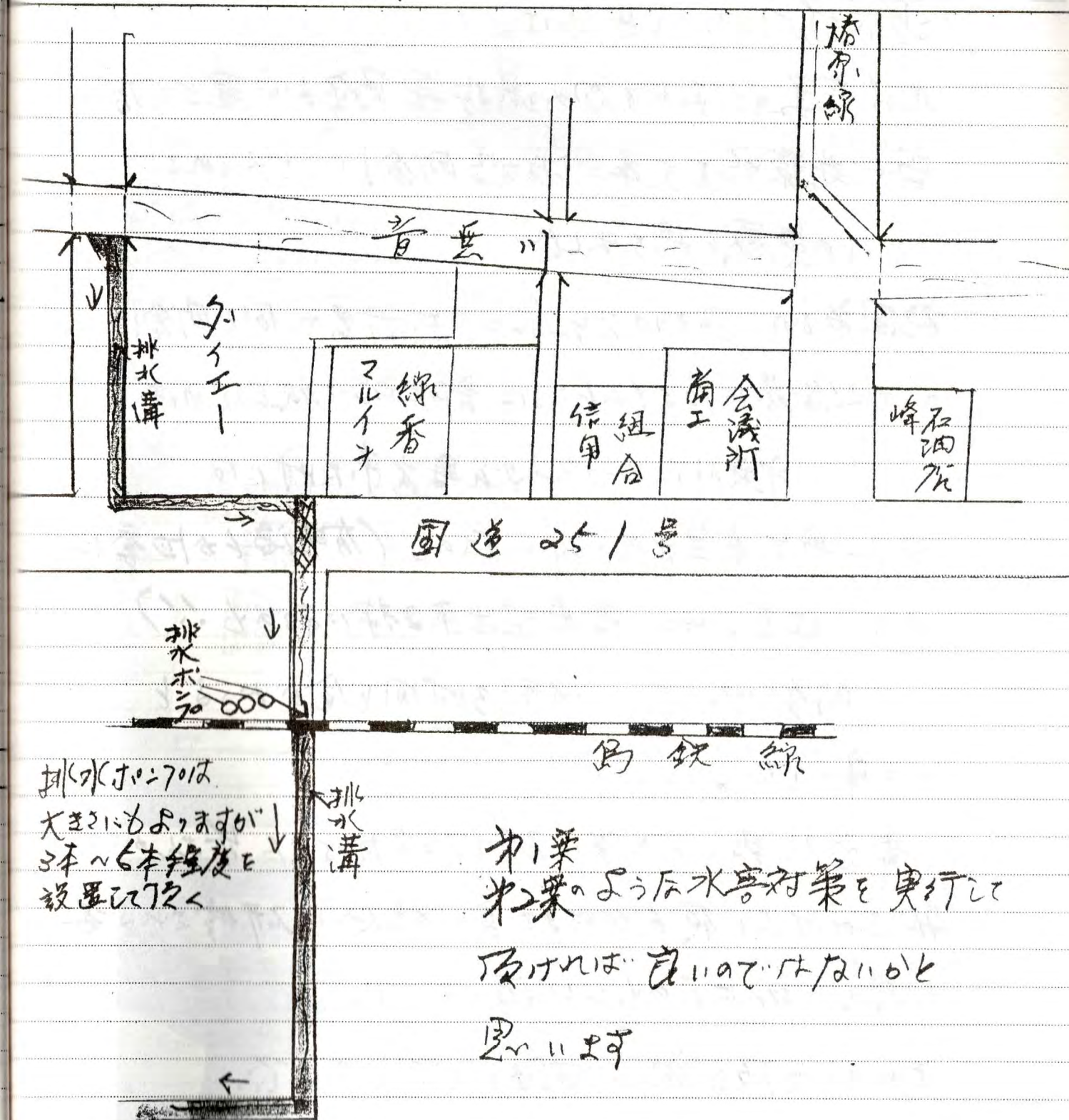
町内の水害対策 は 街づくりの基本だと思っております  
是非対策を考へてほしいのです

私の拙筆ですが 次の頁のような対策を考へました。

# 案1



# 案2



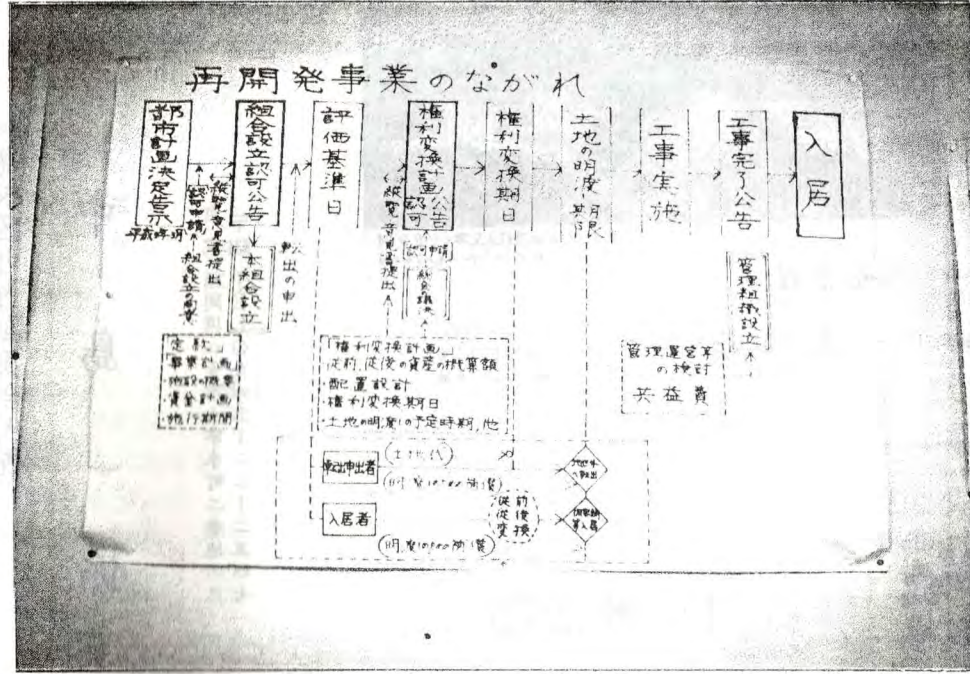
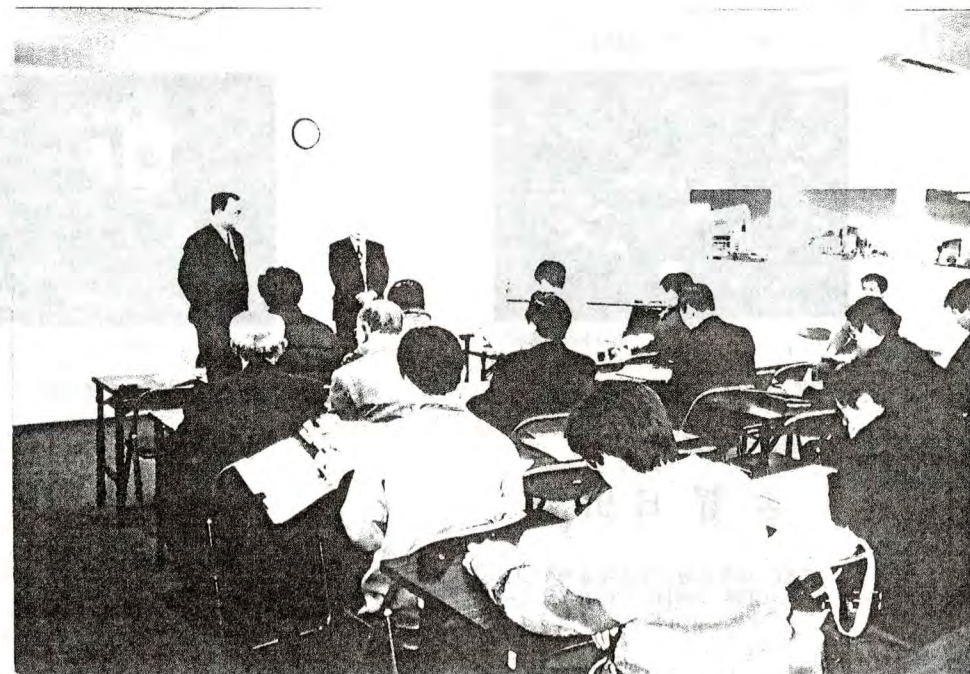
案1  
案2の排水溝対策を  
実行して  
頂ければ良いのでは  
ないかと  
思っています

次に訪内には八世市は  
 地場産業がふたふた初め激物等島原より豊土があり  
 古い建築物と大車に訪ながら町創りに見られる  
 との美観を誇りました

福岡市では又そのスケールの大きい計画で同じ町創りに  
 にはは！参考になるものとしては、部分的に取上げれば

水戸川にスーパースタム等大車村には  
 タワー号で展望出来る様にするも（有明海とか四季に  
 わたて紅葉とついで等展望出来る様にするも。）  
 町創りには一何時間と金がかると  
 いう事でした。

一番感心致した事は研修に参加した皆さんが  
 朝8.00時より夜6.00時まで実に熱心に研修される姿  
 に接し誠に下のもしい限りでした。  
 参加させて頂き誠に有難うございました。





# 柳川市



花しょうぶと城堀水門

柳川市 建設部

都市計画課長

古賀 日出海

〒832 福岡県柳川市大字本町87-1  
TEL (0944) 73-8111  
FAX (0944) 74-1374



白秋祭水上パレード(11月1日~3日)

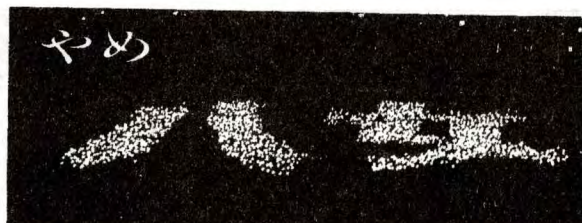
柳川市 建設部

都市計画課 計画係

亀崎 和博

〒832 福岡県柳川市大字本町87の1  
TEL (0944) 8111代  
(内線 254)  
FAX (0944) 1374番

# 八女市



市民参加による提灯人文字 H6.9.24  
(八女の祭り あいりごととカマキリ/はな)

八女市役所

企画調整室長 山口 龍一

福岡県八女市大字本町647  
TEL (0943) 1111番  
FAX (0943) 2186番



主任

牧口 健次郎

Kenjiro Makiguchi

八女市企画調整室 特徴あるまちづくり班  
〒834 福岡県八女市大字本町647  
TEL 0943-23-1111(代表)  
FAX 0943-22-2186

# 福岡市

福岡市都市整備局  
都市開発部 再開発課

主査(下川端地区推進担当)

だごもり  
田 籠 弘 道

〒810 福岡市中央区天神1-8-1  
TEL (092) 733-5481  
(092) 711-4430  
FAX (092) 733-5590

自宅 福岡県八女市大字本町二番地の三  
TEL 〇九四三二二二五五七

中島

保

八女市大字土橋町内会長  
福岡校区町内会長代表

松田久彦

自宅 〒834 八女市杉町四二五  
電話 (〇九四三) 2235八三

八女市伝統的町並み景観整備委員会会長  
福岡県観光アドバイザー(八女担当)  
八女市商工観光課嘱託(民芸担当)  
(財)八女伝統工芸館講師  
(社)日本民芸協団八女支部長

## 街づくり事例地視察会(ご案内)

島原中心市街地街づくり推進協議会では、年間活動のひとつとして事例地視察会を計画しております。

今年度は、熊本市の熊本駅前再開発ビルや新たな商店街づくりを目指している鹿児島県牧園町、並びに地域の創意工夫や努力により、地域の活力、地域の魅力を創出した施設整備で建設省の「手づくり郷土賞」を受賞されている宮崎県日南市を視察します。

つきましては、多くの事例地を視察し、その成果を活かしながら中心市街地街づくりをさらに進めていきますので、ご多忙の折り恐れいりますが、ご参加下さいますようお願いいたします。

- 視察日時 平成8年11月19日(火)~20日(水)
- 視察地 熊本県熊本市「再開発事業」熊本駅前ビル

宮崎県日南市「本町商人通り」「ふれあい通りふるさと公園」

- 視察行程

・11月19日(火)

集合時間	午前7時30分	
出発時間	午前7時40分	
集合場所	島原商工会議所	
視察地	熊本県熊本市	視察時間 10:00~10:30
視察地	宮崎県日南市	視察時間 16:00~17:30
宿泊先	宮崎県日南市	

(住所)  
(電話)

・11月20日(水)

視察地	鹿児島県牧園町	視察時間 13:00~14:00 (昼食込み)
島原着		18:30

## 街づくり事例地視察会行程表

月/日	行程	備考
平成8年 11/19 (火)	島原商工会議所 ⇒ 島原外港(7:30) ⇒ 熊本新港 ⇒ 熊本市(視察) ⇒ 御船IC ⇒ 途中休憩 ⇒ 人吉IC ⇒ 7:40出発 ループ橋 ⇒ えびの市(昼食) ⇒ えびのIC ⇒ 田野IC ⇒ 日南 ⇒ 飯肥(おび)(視察) ⇒ 日南市(宿泊) 12:40~13:40 13:50 14:40 15:40~17:30 17:45 ※さんしょう茶屋	◎視察地 熊本県熊本市 宮崎県日南市飯肥町 ◎さんしょう茶屋(昼食) 0120-35-0857(フリーダイヤル) ◎宿泊先 鈴木旅館 0987-22-2113
11/20 (水)	日南市(宿泊) ⇒ 飯肥(おび)(視察) ⇒ 都城市(昼食) ⇒ 都城IC ⇒ 途中休憩 ⇒ 松橋IC ⇒ 熊本新港 ⇒ 島原外港 ⇒ 島原商工会議所 9:00発 9:15~11:00 12:30~13:30 13:45 15:45 16:30 17:20発 ※リハ-サイドマック	◎視察地 宮崎県日南市飯肥町 ◎リハ-サイドマック(昼食) 都城市下川東4丁目 0986-25-7111

※熊本市 熊本駅周辺整備部開発事業課 (小畑) 096-323-8188  
※日南市 都市建設課 (酒井) 0987-23-1111

# 熊本駅周辺地域

## まちづくりだより

発行 熊本駅周辺地域  
まちづくり協議会  
平成8年5月22日  
事務局 熊本市開発事業課

### 熊本駅周辺地域まちづくり協議会とは

春日校区と古町・白坪校区の一部を含む熊本駅周辺地域の自治会、商店街、企業等49団体の代表者（次頁の表参照）で、今後の熊本駅周辺地域のまちづくりについて積極的に意見交換を行い、主体的な活動を進めるために発足いたしました。

昨年10月30日（水）に発足会議を開き会則を決め、運営委員及び議長を選出したあと、現在までに2回の会議と6回の運営委員会を開き、熊本駅周辺地域の将来計画の基本的方向に関する県や市の考えかたをきくとともに、今後のまちづくりのすすめかたについて意見交換を行っています。

### 運営委員からひとこと

#### \* 足立國功さん \*

これがまちづくりだ！というものはないと思います。そこに住んでいる人たちの熱意と知恵そして努力によってこそ、やってよかったホンモノのまちづくりとなるといえます。  
例えば新幹線、博多熊本間は24分つながります。いま博多小倉間は20分です。これなら城内の合同庁舎の駅周辺への移転は十分現実的であり、私たちの暮らしに根ざした身近なまちづくりの課題となります。そして新幹線関連の重要プロジェクトにもなっています。

#### \* 橋本忠夫さん \*

どうやって駅周辺の活性化を実現するかが問題で、あまりに多い要望にこたえる決定打は何かを、今は絞るべきであらうと思います。勿論、出来るものから進めるのも現在の段階では必要でせうが、あくまでも都市構造全体の一環が前提だと思います。新幹線の建設、鉄道高架の早期着工は最終的に辿りつく結論ではないでせうか。あらゆる提言が実現するために官民一体となって不退転の信念で取り組み、衆知を集め、駅周辺百年の大計に誤りなきようにしたいものです。

「激刺と未来へつなげまちづくり」

#### \* 稲葉晃さん \*

足が向き足が止まる街  
公共機関の誘致、  
何でも揃う  
ショッピング街。  
山と川、史跡と緑の  
観光公園、  
快適な居住環境。  
等々夢はふくらむ  
街づくり。計画に  
参加しましょう。

#### \* 松本守さん \*

熊本の片田舎といは  
れている春日地区の再  
開発のために皆さんと  
一緒に立ち上がりまし  
よう。  
もう議論の段階でな  
く実行の時期です。

### 稲葉議長からひとこと

いよいよ動き出した熊本駅周辺地域のまちづくりは、熊本市にとっても今世紀末から21世紀初頭にかけての最重要事業であり、県および九州のさらなる発展に大きく貢献するものであります。

今こそ周辺地域住民の永年の熱き想いを形にする為、決意を新たにスタートさせて行く大切な時です。熱意・誠意・創意をもって目標実現に向かって責任ある大胆な行動をして行く必要があります。

美しい自然に囲まれた副都心として、人々が生き生きと交流できるまちづくりを創造して行きましょう。

決意から実行の時です。皆様の絶大なるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### \* 河野隆さん \*

思えば静かに過去をふり返り、遠く1,135年前の平安時代に、思いを馳せるとき、肥後の国府が、今の出水町国府から、四神相応の地をとり、軍事的防備と、海運の交通に利便な、古町に移転した事であり、歴史的にも、文化的にも、二本木を中心として、肥後は栄えてきた事を物語る、幾多の史実が、証明しているところがあります。私達は、歴史の重さを痛感し、機能的に配置される、二本木の将来像に夢と期待をかけている。

#### \* 藪下恒彦さん \*

熊本の玄関口たる駅  
周辺整備促進を願う  
『我が住む町故に未来  
に夢を託して』  
環境整備は住む住民  
の積極的な参加と理解  
ある努力から生まれる

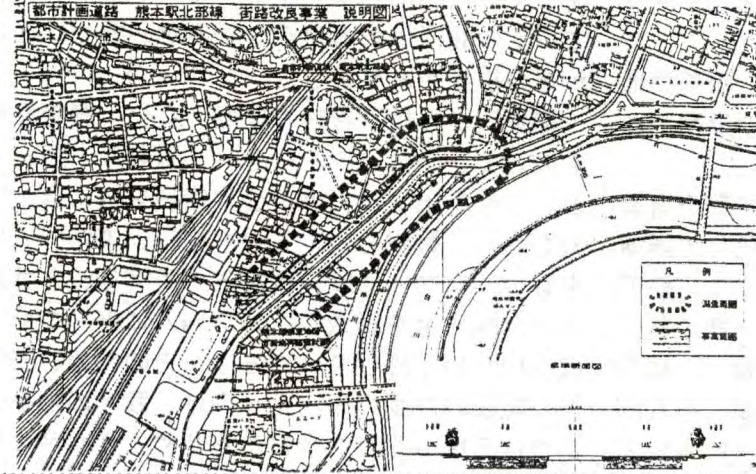
#### \* 中原勝さん \*

永い間の念願だった九州新幹線建設にともないます熊本駅周辺開発も、やっと動き出しました。熊本駅周辺まちづくり協議会も若きリーダー稲葉伸一郎氏を会長として発進しました。今後は後を振りむかず前進あるのみです。がんばりましょう。

#### \* 宮原辰男さん \*

私達、拡幅協議会は、これまで数十回に亘って、県道の拡幅優先実施を当局に強く陳情してきました。その甲斐あって、昨年9月県議会で土木部長から改良事業着手の表明がありまして、測量、物件調査をして用地買収に入る段階までできました。  
しかし、隣地との境界や川に阻まれ、後退が不可能な家が多く、其他色々な複雑な問題点もあります。が、県玄関口として活性化をめざす方向に精々協力せねばならぬと思います。要は町民のエネルギーがないと進まない住民参加の必要性があると思います。

●駅前道路については、先月24日に北岡神社で、県土木事務所により道路計画説明会が開かれました。今後、現地に幅杭が設置され、境界立会いなどがスムーズにいけば、10月頃には用地交渉に入りたいとの説明がありました。



(別表) 熊本駅周辺地域まちづくり協議会会員名簿 (H8.05.11)

団体名	職名	氏名
1 春日校区自治会連合会	連合会長	橋本忠夫
2 古町校区 " "	" "	河野隆
3 白坪校区 " "	" "	稲葉晃
4 春日校区第1町内自治会	町内自治会長	米村正之
5 " 2 " "	" "	吉野辰代
6 " 3 " "	" "	橋本忠夫
7 " 4 " "	" "	徳永次雄
8 " 5 " "	" "	平尾孝正
9 " 6 " "	" "	谷口武文
10 " 7 " "	" "	松本守
11 " 8 " "	" "	岡米聡太郎
12 " 9 " "	" "	高濱七十二
13 " 10 " "	" "	若杉敏清
14 " 11 " "	" "	松本成信
15 " 12 " "	" "	西坂福松
16 " 13 " "	" "	藤本純之助
17 " 14 " "	" "	西村矢也
18 " 16 " "	" "	上村義男
19 古町校区第1町内自治会	町内自治会長	塚野寛
20 " 2 " "	" "	黒田勉
21 " 4 " "	" "	藪下恒彦
22 " 5 " "	" "	杉本千恵子
23 " 6 " "	" "	成瀬清夫
24 " 7 " "	" "	大塚友弘
25 白坪校区第1町内自治会	町内自治会長	村山一善
26 " 2 " "	" "	母里全太郎
27 " 3 " "	" "	島岡道一
28 春日校区振興会	会長	足立國功
29 春日地域開発促進協議会	" "	松本守
30 二本木活性化推進協議会	" "	藪下恒彦
31 熊本駅前東地区市街地再開発準備組合	理事長	稲葉伸一郎
32 熊本駅前道路拡幅協議会	会長	宮原辰男
33 熊本駅前商店街振興会	会長	松本三喜雄
34 熊本駅前繁栄会	" "	稲葉伸一郎
35 熊本駅前商栄会	" "	上野富志春
36 熊本駅前繁栄会	" "	濱崎和一
37 二本木繁栄会	" "	前田繁俊
38 古町旅館組合	理事長	中原勝
39 二本木大通商栄会	会長	真芳郎
40 九州電力熊本支店	企画調査課長	山下政夫
41 西部ガス熊本事業本部	熊本事業総括部長	近藤秀一
42 N.T.T.熊本支店	企画部長	吉川幸一
43 月星化成株式会社	総務課長	高木義智
44 九州産業交通株式会社	自動車部営業課長	日高悦雄
45 日本通運株式会社熊本支店	総務担当課長	田上謙三
46 株式会社熊本ファミリー銀行	熊本駅前支店長	田上義晴
47 株式会社肥後銀行	熊本駅前支店長	柞木昭二
48 熊本第一信用金庫	熊本駅前支店長	松本賢一
49 熊本信用金庫	二本木支店長	岩崎正守

(\*印は名簿重複者)

出会いとふれ合いの副都心づくり



### 今後の協議会の活動方針

半年間の意見交換の結果、今後、協議会では、①より多くの情報を集め、②熊本駅周辺地域をめぐるさまざまな動きを地域の皆さんに、もっと広く伝え、③専門家も交え、もっと多くの人と意見交換を行う必要があるとの認識の一致を見ました。

そこで、運営委員会では、当面の具体的な行動として、前回の協議会(3/27)で次の三つの企画を提案いたしました。

1. まちづくり情報コーナーの充実及び活用  
⇒\*熊本駅周辺整備に関する行政資料の備付け  
\*他都市資料の収集・整理  
\*地域のまちづくりに関する会議等の開催
2. 熊本駅周辺地域まちづくりだよりの発行  
⇒\*熊本駅周辺地域住民への回覧等(季刊)
3. 熊本駅周辺地域パネLDィスカッションの開催  
⇒\*5/11パネLDィスカッション;音羽会館

熊本駅周辺まちづくり協議会 開催経緯

月日	開催項目
10/30	●熊本駅周辺まちづくり協議会発足会議 ・趣旨説明 ・会則案説明 ・運営委員選出 ・議長選出及び議長あいさつ ・基調報告
10/30	○第1回運営委員会 ・鹿児島本線沿線まちづくり協議会開催と基本計画策定委員会について ・今後の運営委員会開催について
11/17	○第2回運営委員会 ・熊本駅周辺整備をめぐる最近の状況 ・基本計画策定委員会の状況 ・熊本駅周辺地域のまちづくりに関するアンケート調査について ・熊本駅周辺整備部事務所移転及び「まちづくり情報コーナー」の設置について
2/19	○第3回運営委員会 ・熊本駅西側地域アンケート調査結果中間報告 ・今後のまちづくり協議会の運営について ・他地区のまちづくり事例紹介
3/13	○第4回運営委員会 ・運営委員会先進地視察について ・パネLDィスカッションの開催について ・「まちづくりだより」について ・第2回協議会の運営方法について
3/27	○第5回運営委員会 ・第2回協議会の次第について ・パネLDィスカッション実施方法について
3/27	●第2回熊本駅周辺まちづくり協議会 ・熊本駅周辺地域の基本計画について ・協議会の今後の活動強化方策について
3/28 /29	○運営委員会先進地視察(福岡市) ・香椎副都心土地区画整理事業 ・下川端住吉1丁目市街地再開発事業
4/15	○パネLDィスカッションプレトークン グ ○第6回運営委員会 ・駅周辺地域の基本計画説明(熊本県)
5/08	○第7回運営委員会 ・「まちづくりだより」の発行について
5/11	●熊本駅周辺地域パネLDィスカッション

## 熊本駅周辺地域まちづくりパネルディスカッション

去る5月11日、音羽会館3回会議室において熊本駅周辺地域まちづくり協議会、熊本駅前東地区市街地再開発準備組合、熊本市の共催で「熊本駅周辺地域まちづくりパネルディスカッション」を開催いたしました。

当日は、まちづくり協議会の会員、駅前東地区の組合員や市関係者など、約百名の出席がありました。

熊本大学の両角教授からは「熊本の都市構造と熊本駅周辺地域のまちづくり」と題して講演をいただきました。東京などと比較して、鉄道や車を気軽に(30分以内)使って買い物や文化を楽しむ生活が定着している熊本の魅力、福岡の都市形成の経緯から考えて、熊本都市圏も副都心を論ずる規模となっており、熊本駅周辺地域がその役割を担う条件を持っていることなど、たいへんわかりやすいお話でした。

パネルディスカッションでは、両角先生からは駅を中心にまわり(阿蘇、花岡万日山等)を見て歩き回れるまちづくり、建物と建物のすき

まを楽しめる都市デザインが、一方、嶋出氏からは、今後の経済活性化への呼び水として土地代金の回収を当面考えず、未利用地を「チャレンジマーケット」や「フリーマーケット」として一定の間提供するような試みが必要ではないかとの提案がありました。

稲葉氏からは、春日の自然・文化・歴史を基本にして、出会い・ふれ合い・温もり・賑わいのステージを創出するため、公共施設を核に自主開発を進め、景観をつくる親水施設、情報テラトをもつパルク、体験学習などの集客施設と共にぜひ合同庁舎を誘致し、コンベンションにとって熊本はいいという評判をつくらう、そのため、国県市の施設の計画の確定化へ向け、我々の熱意をぶつける場づくりを今日から始めよう、今でなければできないとの呼びかけがありました。

最後に、富士川氏からは成功するかどうかわからない今の段階での皆さんの「時間」の先行投資も事業のうちであり、是非こういう機会には参加いただきたいとの助言がありました。

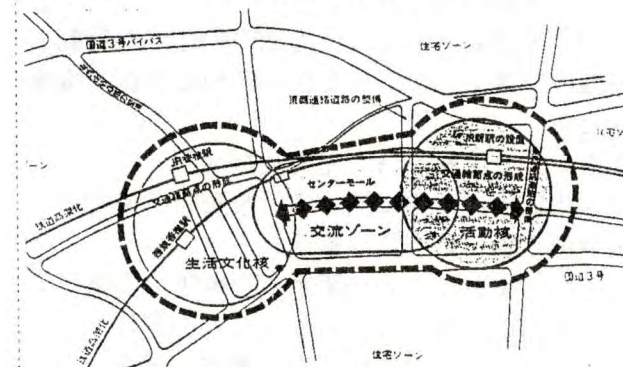
## 今、福岡が元気で

(運営委員会先進地視察報告)

運営委員会では、熊本駅周辺地域のまちづくりを円滑に進めるためには、まちづくりの事業手法や他都市で問題になったこととその解決方法などを積極的に学び、今後の活動に生かす必要があるとの認識のもと、3月28、29日の両日福岡市での事例について視察を行いました。

当日は、香椎副都心整備について住宅都市整備公団九州支社福岡特定再開発事務所を、下川端及び住吉地区の再開発について福岡市再開発課を訪ねました。

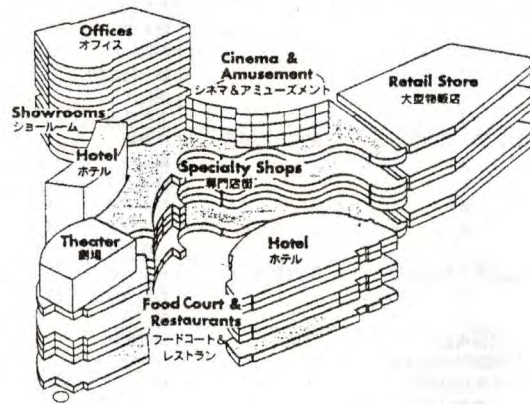
### ●香椎副都心土地区画整理事業概念図



約66ha、総事業費約660億円、平成13年工事完了をめどに急ピッチで作業が進んでいます。

### ●住吉地区市街地再開発事業

キャナルシティといったほうが有名です。



URBAN THEATER「都市の劇場」という名にふさわしく「日本初」のさまざまな仕掛けが取り入れられています。

今、福岡では、時代を先取りした夢と関係者の地道な努力が実りつつあります。

詳しくは、熊本駅周辺整備部2階のまちづくり情報センターに資料を備えておりますので、お気軽にお訪ね下さい。

## 熊本市からのお知らせ

### 熊本駅周辺整備の基本的方向について

平成7年度、県市において「熊本駅周辺整備及びJR鹿児島本線鉄道高架化に関する基本計画策定委員会(委員長:村橋立命館大学教授)」を設置し、委員会を3回、幹事会を5回開催する中で、この度「整備の基本方向」として議論を取りまとめました。

(主な内容)

- ・熊本市の将来構造
- ・熊本駅周辺地区整備の方向
- ・上熊本駅周辺地区及び沿線地区について
- ・今後の課題

平成8年度には、この「基本方向」にそいさらに具体的な計画策定のために、「(仮)鹿児島本線沿線地区まちづくり計画策定委員会」を設置し議論を深めていくことにしています。

今後の計画づくりには、ますます地元の意見が大事になることから、熊本駅周辺地域まちづくり協議会の積極的な活動が期待されます。

なお、「整備の基本方向」についての報告書は、6月上旬には熊本駅周辺整備部で閲覧できます。

### 熊本駅周辺整備部 大橋部長あいさつ

熊本駅から周囲をながめると、木々の燃えるような若葉が映える季節となりました。

お蔭をもちまして、部が設置されて一年が経過した訳ですが、昨年5月の新幹線熊本駅整備調整事業起工式に始まり、熊本駅周辺整備及び鉄道高架化に関する基本計画策定委員会の発足・計画の策定、当まちづくり協議会の発足、私どもの部の熊本駅前への移転など熊本駅周辺整備に向けての新たな第一歩を踏み出すことができました。

本年は、更に具体的に行動する「動」の年にしたいと考えており、地域の皆様との膝をつきあわせた対話を心がけ、熊本駅周辺整備をはじめとするプロジェクトの実現のため、一步一步階段を登っていきたく思っておりますので、なにとぞ、皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 九州新幹線建設促進総決起大会に1万1千人

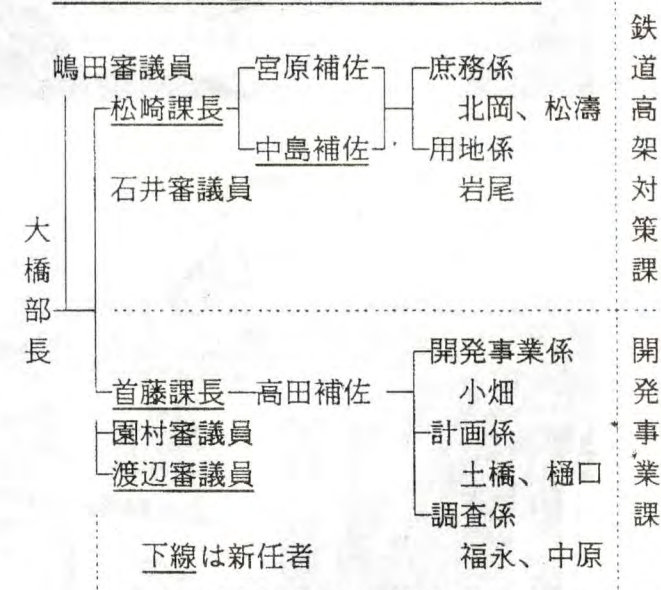
現在、整備新幹線については、全国の未着工区間の着工順位等を決める見直しが始まっており、本年中に国の結論が出されることになっています。

そこで、大変重要なこの見直しにあたり、九州新幹線博多～八代間の優先順位の獲得へ向けて地域の熱意を訴えるため、去る5月17日、九州新幹線建設促進総決起大会が開催されました。会場の水前寺体育館には、熊本、鹿児島、佐賀、福岡の四県から国会議員をはじめ約1万1千人が参加し、建設へ向けた熱気が満ち溢れました。

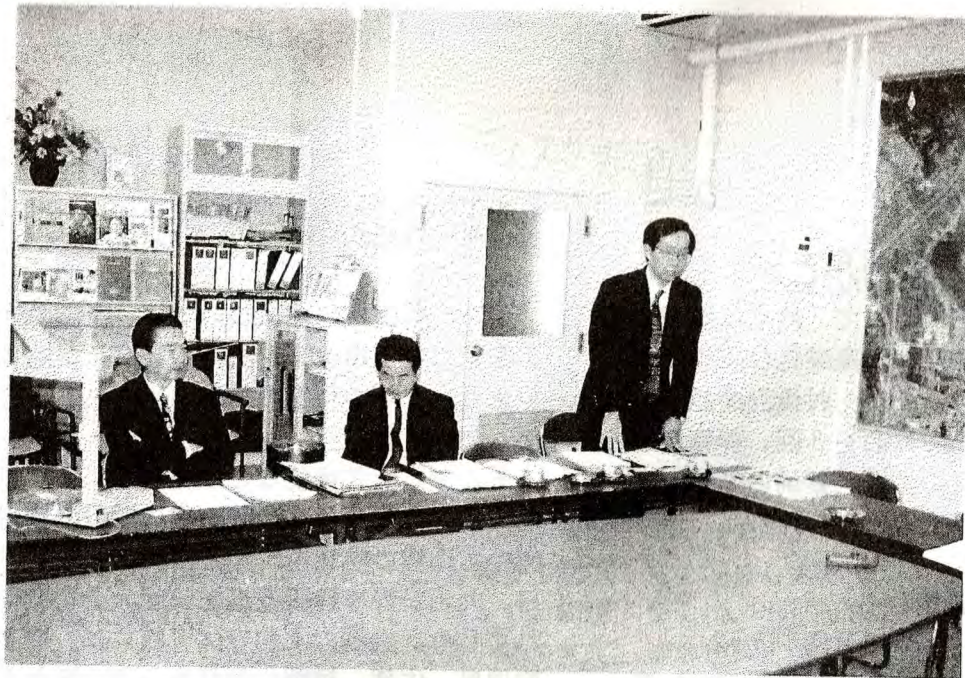
大会に先立ち、熊本駅前で開かれた出発式には、熊本駅周辺地域の企業や住民約600人が集まりました。

三角熊本市長と稲葉熊本駅周辺地域まちづくり協議会会長の決意表明、石橋西部ガス事業本部長の音頭でZ-KANを行った後、市長を先頭に、荒木市議会議長や地元の荒木県議、田尻市議の参加も得て、駅前から本山車庫まで行進し、バスを連ねて会場へ出発しました。

### 熊本駅周辺整備部のスタッフ紹介



たいへんお世話になりました(4月人事異動)  
東 課長(開発事業課長 → 総合防災課長)  
野田補佐(開発事業課 → 区画整理課)  
佐藤補佐(鉄道高架対策課 → 都市計画課)



熊本市都市整備局  
熊本駅周辺整備部  
開発事業課

挨拶をされる福永卓巳氏  
(調査係長)

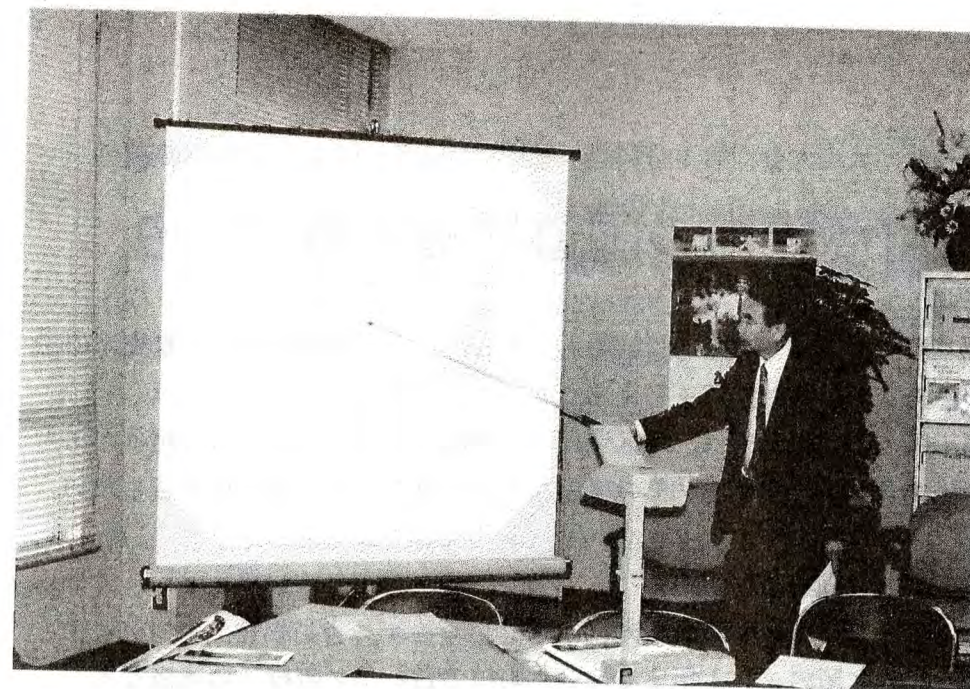
左から首藤朝幸課長、  
小畑茂生開発事業係長



説明を受ける「島原中心市街  
街づくり推進協議会」のメン



事務所の外観



説明者:首藤朝幸(課長)



事務所の玄関

## 飫肥本町商店街の国道拡幅と町づくり

### 1. はじめに

本日の飫肥本町の事例は、歴史的景観をもった商店街が、国道拡幅により大半の伝統的建造物を撤去して、新たに建て替えてしまった話である。

ただし、建て替えるに際しては、地区住民の自発的な申合せによる取り組みがあった。事業完了後13年を経た現在、その後の本町がどうなっているかを報告したい。

### 2. 日南市の概況

位置：宮崎県南部（日向灘に面する）

面積：294.29㎢（山林面積が広大、飫肥杉）

市制：昭和25年4ヶ町村、31年までに3ヶ町村の合計7ヶ町村（地区格差大）

人口：昭和31年62,918人、平成8年1月47,562人（過疎進行）

### 3. 飫肥城下町の歴史と特徴

伊豆に出自を持つ伊東祐兵（すけたけ）が豊臣秀吉から天正15（1587）年に飫肥の地を与えられ、以後明治に至る380年間、支配することとなった。

なお、飫肥藩初代伊東祐兵（すけたけ）の娘は、御当地犬山城主の次男の成瀬正武に嫁いでいる。

飫肥城下町は、江戸時代前期の絵図にみられる地割りが現在まで残されている。したがって、街路に面した各武家屋敷の石垣、生け垣、門がよく保存されている。

飫肥城下町の特徴は、至る所で飫肥石の石垣が見られることに尽きる。その石垣と生け垣、門に囲まれた武家屋敷は、周囲の山々や酒谷川の清流と相まって、歴史的な景観をよくとどめた町並みを形成している。

そのため、昭和52年には、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

今日事例発表する本町通りの商店街は、飫肥城下町における江戸時代の初めからの商人町である。幕末の大火ではほぼ全焼するものの、飫肥杉などの旧飫肥藩の特産品を取り扱う商人の町として、また南宮崎の政治・経済の中心地の商店街として、昭和30年代まではおおいに栄えた。

しかし、輸入材の増加や高度経済成長期の過疎化などにより、地方小都市の御多分にもれず、商店街の活気がなくなってきた。

### 4. 本町通りの拡幅に至る経過

本町通りを通過する国道222号線は幅7㍍しかなく、大型自動車の離合も困難な道路であったため、昭和45年に、城下町の外周を迂回するバイパスが計画された。

それに対して、危機感を抱いた地元住民が「本町通り拡幅期成同盟会」を結成。市議・県議・国会議員を使った陳情を繰り返し、昭和48年には国・県が拡幅に決定した。皮肉なことにその直後から飫肥の武家屋敷の調査が行われ始めている。

昭和49年には文化財保存都市宣言をおこない、飫肥城復元促進協力を結成している。昭和51年から54年にかけて、藩校の振徳堂の修理、大手門の復元、歴史資料館と書院造りの御殿である松尾の丸の建設を市民の寄付で行っている。

しかし、一方で、歴史的景観をもった町並みとの評価が高かった商人町の取り壊し

工事が昭和51年から始まった。

翌52年には、本町通りを除く飫肥城下町が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。そのためもあって、白壁造りの商家を取り壊しが始まって間もなく、失われるものの価値に気付いた本町通りの商店街の人達は、道路拡幅後に新築する商店街を城下町にふさわしいものに造り上げようと模索しはじめた。

昭和53年に「本町通り町並み研究会」を結成し、自主的に次のような申合せを取り決めた。

1. 家は日本風に統一しましょう。
2. 家は溝から1㍍さげましょう。
3. 軒は溝まで出しましょう。
4. 軒の高さをきめましょう。
5. ケバケバしい色をさげましょう。

この申合せの結果、現在の本町商店街が出来上がった。

### 5. 本町通り国道拡幅工事の概要

工事期間：昭和51年～昭和58年

工事延長：889.7㍍

工事内容：旧道の幅員約7㍍を両側に拡幅して、歩道を含む16㍍道路にした。

本町通り両端の橋梁を整備（2ヶ所、110㍍）

対象戸数：約250戸（うち商店90戸）

工事費：道路改良費 25億2千6百万円

橋梁整備費 4億7千4百万円

補償内容：用地買収 8000㎡

補償家屋 141軒

補償金額 約24億4千4百万円

### 6. 関連事業

- ・片側電柱と直角配線、平成7年から自治体管路方式で地中化
- ・郵便局の和風建て替え
- ・宮崎交通待合所の和風建築
- ・和風街灯の設置
- ・昭和58年商家資料館開館（商家の移築）
- ・平成元年交通標識の小型化及び半減（55%撤去）
- ・平成5年飫肥郷土芸能館建設
- ・平成5年愛宕トンネル完成（市道楠原戸高線）
- ・平成7年飫肥まちなみデザイン推進事業

### 7. 本町通り新商店街への評価

昭和59年 魅力のある町づくり賞（建設大臣）

“ 潤いのあるまちづくり賞（自治大臣）

昭和62年 手づくり郷土賞（建設大臣）

昭和63年 美しい都市づくり賞（経済同友会代表幹事）

平成7年 全国地域づくり推進協議会会長賞・地方都市整備賞（国土庁）

## 8. 本町通り新商店街の現状と課題

### (1) 経済効果からみた結果論

- ・約90戸の商店のうち、現在約20戸が閉店
- ・後継者がいる商店は5戸程度
- ・新店舗建設時の借金苦
- ・住民の高齢化（高齢化率27%）
- ・売上の減少（昭和50年と現在）

### (2) 原因

- ・他地区の大型店舗やスーパーマーケットとの競争力不足
- ・後継者不足
- ・地区人口減少と高齢化
- ・道路拡幅による通過地区化
- ・観光客向け業種への転換失敗
- ・観光駐車場と飲肥城由緒施設から離れている

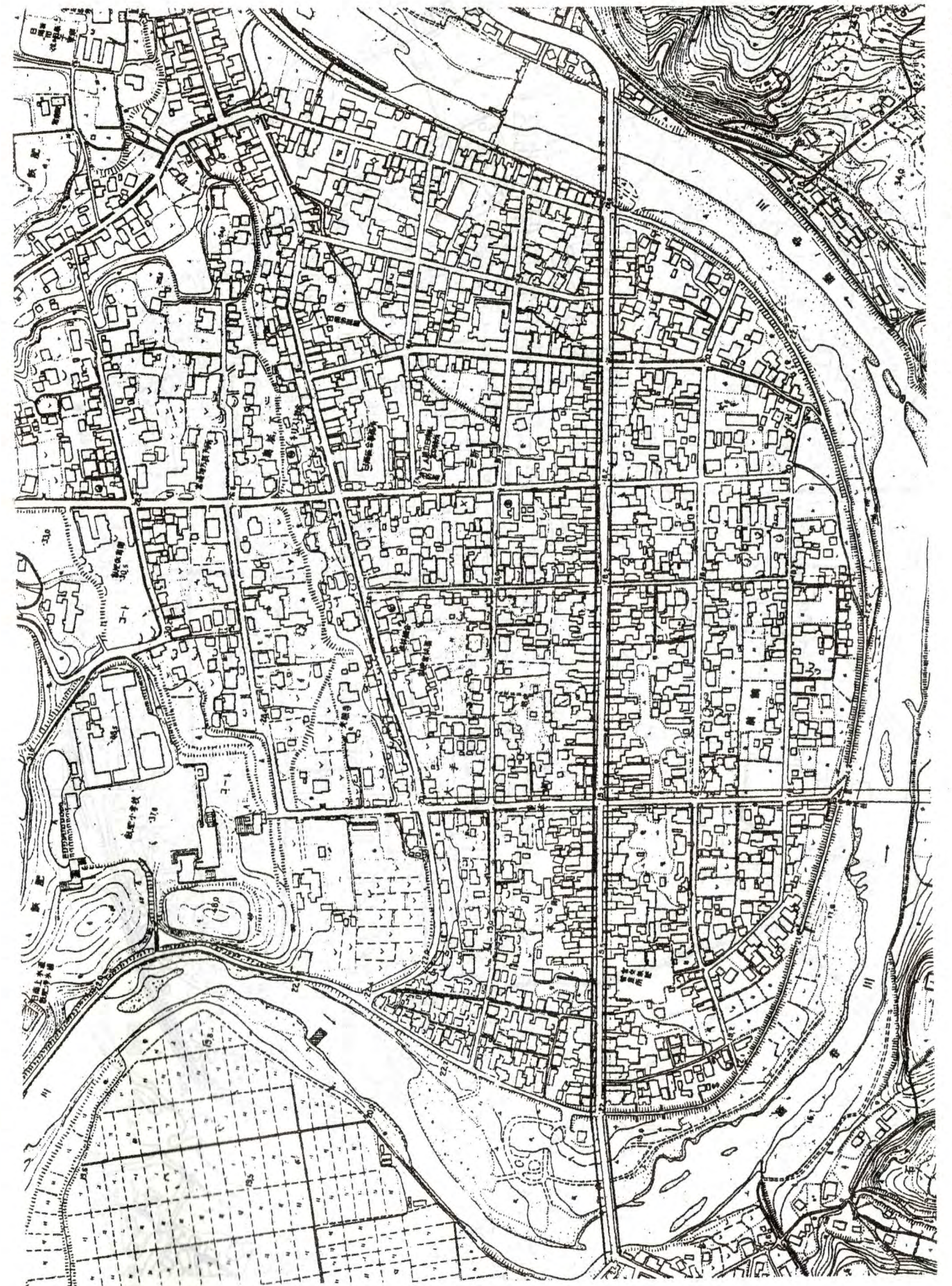
### (3) 問題点

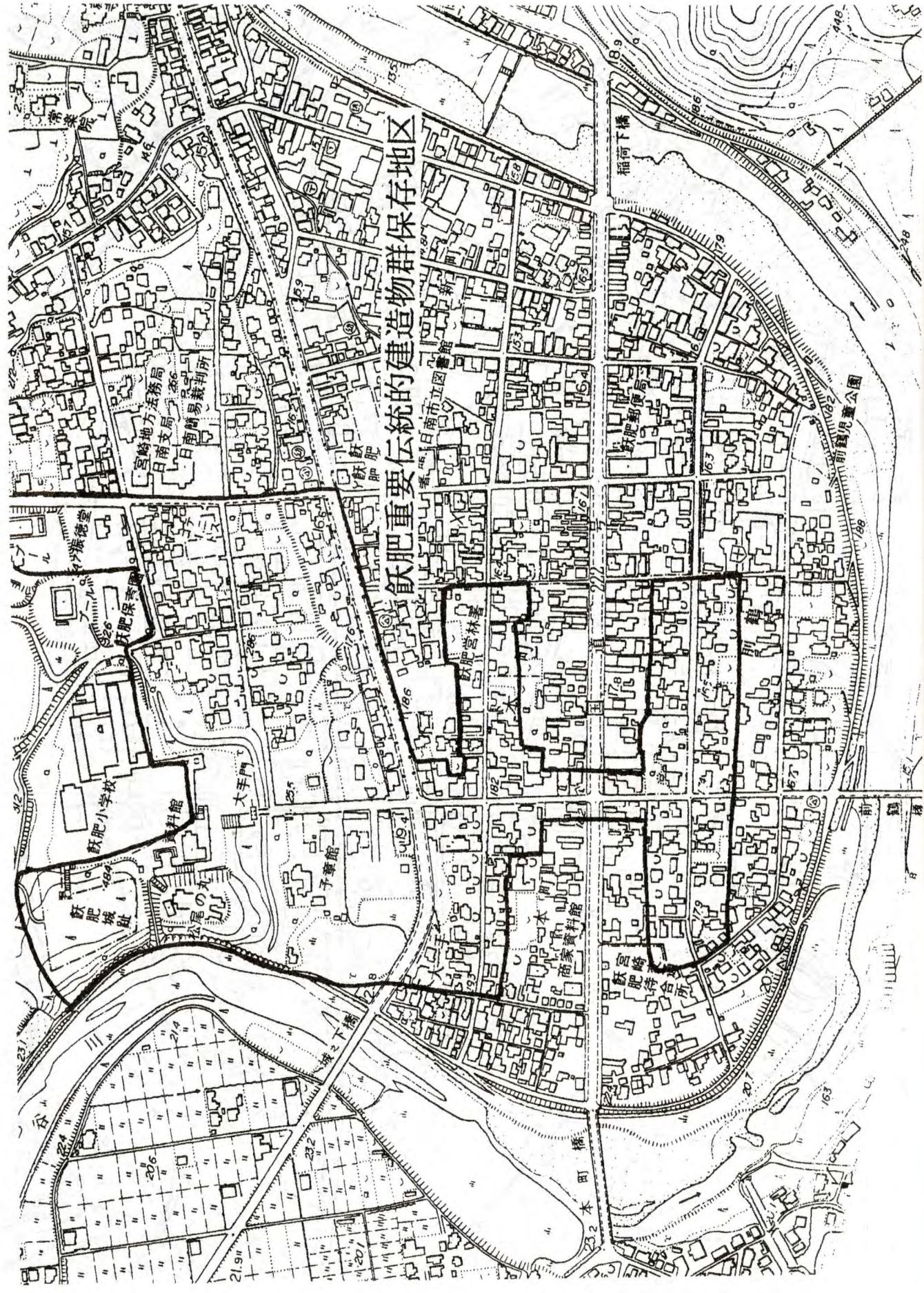
昭和40年代においては、歴史的景観の保存と商店街の活性化は、二者択一の問題であった。ましてや、大都市から遠く離れた九州南端の地では、伝統的建造物群としての町並み整備が商売になるという発想はしにくい状況であった。

しかし、道路拡幅の選択をした直後にその価値に気がついたため、あらたに統一景観の形成を自主的に行ったことは、その成果の是非はともかく、高く評価されよう。

今後は、従来の地域商店街としての機能回復にはほとんど期待できないため、観光産業としての商店街として再生することが残された方法なのである。

その場合、九州南部の日南の人と自然と歴史的景観がいかに素晴らしいか自覚して、それらを十分に活かした方法で商売しなくてはならないと考える。そのためには、他地域からの人材の移入を図るとともに、地域のコミュニティを維持、発展させるため、伝統ある泰平踊りなどの伝承や本町商店振興会などの世代交代を図ることが必要である。





本町通町づくり経過

- 享保 3 (1718) 年 飲肥大火 (212戸焼失) 鎮上馬場長兵衛から出火
- 慶応 2 (1866) 年 飲肥本町大火
- 昭和 45年 4月 国道222号線バイパス  
 { バイパス — 3 億 }  
 { 本町拡幅 — 14 億 }
- 本町通り拡幅期成同盟会  
 (会長 藤浦 謙一市議)
- 昭和 47年 6月 新町通りに世話人会
- 7月 県知事に陳情 (市長、市議、県議、区民)
- 本町研究会 毎月1回、本町組泰平踊
- 本町全戸の参加で集会、話し合いの習慣
- 昭和 48年 8月 本町拡幅内定
- 9月 武家屋敷の調査
- 昭和 49年 10月 県知事より昭和49年度着工内示
- 4月 拡幅調査に1000万円
- 7月 昭和50年から本格工事開始決定
- 昭和 52年 5月 伝建地区選定
- 6月 本町通り商店振興研究会  
 横山啓サケンケイ設計事務所「本町通りの未来図」  
 井上伝一郎の試作  
 日吉メガネ店  
 山口商店
- 九電に地下ケーブルを要請
- 昭和 52年 5月 木曾 妻龍の視察 (小林 俊彦氏)
- 昭和 53年 3月 商工会議所の先進地視察 (龍野、黒川地区)  
 萩、津和野

昭和53年 9月 本町通り町並み研究会

会長 平部 典俊 他17名

申し合せ事項

1. 家は日本風に統一しましょう。
2. 家は溝から1メートルさげましょう。
3. 軒は溝までだましましょう。
4. 軒の高さをきめましょう。
5. ケバケバしい色は避けましょう。(白、黒、こげ茶)

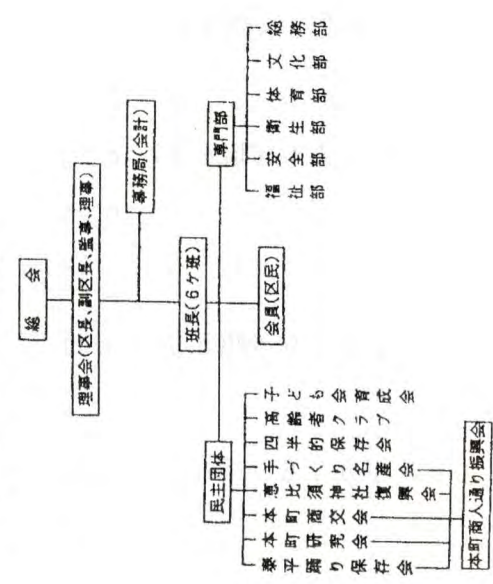
昭和54年 2月 本町視察団、青年会 倉敷  
 高山、京都、角館のスライド依頼

昭和58年 5月 商家資料館オープン

本町関係表彰受賞記録

受賞年	受賞名	受賞者
S59	魅力ある町づくり賞	建設大臣
"	源いのあるまちづくり	自治大臣
S60	社会奉仕賞	日南ロータリークラブ会長
"	町づくりの功績に賞状	日南市教育委員会
S62	手づくり博士賞	建設大臣
S63	美しい都市づくり賞	経済同友会代表取締役
H元	花いっぱい運動表彰	日まもいづくり推進委員会
"	宮崎銀行ふるさと振興基金	宮崎銀行頭取
"	博多緑化地域環境美化	宮崎県知事

コミュニティ—組織図



## 飫肥町並み保存史

1970 (昭45)	4	本町通り拡幅期成同盟会
1971 (昭46)		本町研究会発足
1973 (昭48)	4.23	吉野方バイパス開通
	8	本町通り拡幅内定
1974 (昭49)	8.5	飫肥城復元推進委員会発足
	10.24	飫肥城復元促進協力会設立総会
	12.12	文化財保存都市宣言
1975 (昭50)	1.11	飫肥城復元募金委員会発足
		国道222号線本町拡幅工事開始(～55)
1976 (昭51)	5.12	振徳堂落成式
	7.20	財団法人「飫肥」城下町保存会発足
1977 (昭52)	5.18	日南市飫肥伝統的建造物群保存地区選定
1978 (昭53)	7.2	大手門・歴史資料館落成式
		飫肥城下まつり
1979 (昭54)	7.31	松尾の丸落成式
1982 (昭57)	6.16	飫肥城復元促進協力会解散
		飫肥水郷整備
		大手・横馬場通電柱移転
1983 (昭58)	3.30	大手・横馬場通街灯工事
	5.1	商家資料館開館
		豫章館屋根補修工事
1985 (昭60)		旧伊東伝左衛門家修理工事
1989 (平元)		道路標識改善事業
1992 (平4)		酒谷川災害復旧助成事業完成
1993 (平5)		愛宕トンネル完成
		国際交流センター小村記念館
		飫肥郷土芸能館
1994 (平6)		飫肥まちなみデザイン推進事業(～7)

## 「自分達の町は自分達の手で」

飫肥城下、5万1千石の小藩

半円状に流れる酒谷川の清流は飫肥城下の3方を取り囲み、一段と高い北側の丘に築かれた飫肥城の外堀の役割をはたしている。城に近い高禄の侍屋敷、中級侍屋敷と町の中央東西に走る商人町、そして南側下級侍屋敷と、江戸時代からの城下町の形態が今もそのまま残っている。商人町から大手門へ登りつめるとあたりは石垣に囲まれた武家屋敷、そして空堀に囲まれた城跡が数百年の歴史を静かに語りかけてくれる。島津と伊東との幾度かくりかえされた戦いの歴史、“つわものどもが夢の跡”のたたずまいを存分に見せている。小学校時代は城壁と石段、飫肥杉の木立にかこまれた学校へ、雨の日は滝のように流れる石段を番傘を差して登ったものである。史実では飫肥城は平山城であった。昭和49年、当時の日南市長河野礼三郎氏の提唱によって飫肥城と大手門の復元がなされた。また昭和52年5月には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。一方、商人町は享保3年(1718)と慶応2年の2度にわたる大火にみまわれているが、家老平部喬南の六鄰荘日誌にはその大火の様子が記されている。

その後、明治・大正・昭和へと、歴史の流れは車社会をも変え、道路拡幅による商人の3度目の町づくりに取り組む事になった。

昭和25年頃まで県南の政治・経済・教育・文化の中心として栄えた飫肥城下は、昭和25年1月の近隣町村合併による日南市誕生とともに、諸官庁他九州電力等行政の中心が市中央の吾田地区に移転し、飫肥の斜陽が進んでいった。その頃はまだ当地方特産品“飫肥杉”の切り出しも盛んであった。しかし、その後の社会や経済情勢は荷馬車による木材搬出をトラックに替え、バスも大型化が進み、8メートルの道幅では商人町の道路も狭くなり、交通の往来にも危険を伴うようになってきた。やがてどこからともなく酒谷川対岸のバイパス新設説が流れ、一気に斜陽化の加速が心配されるようになった。しかし明治・大正・昭和と形成された町並みは、熊本大学の堀内清治教授による町並み調査で賞賛を受け、歴史的文化遺産として、その保存説を唱えるむきもあった。

現道拡幅かバイパスか、地区住民は厳しい選択を迫られた。結局“現道拡幅で活性化を”との声が多く、昭和45年4月に“国道222号線本町通り早期完成期成同盟会”が発足し、本格的な陳情活動が始まった。陳情に陳情を重ね、昭和49年ようやく拡幅調査費壹万圓が決まり、東側2軒からの改築工事が始まり、前進を見はじめたが、途中、オイルショックに遭遇し、工事予定も一進一退し、まさに一喜一憂の中で陳情がくり返し続けられた。

昭和53年、飫肥城復元完成もなあって、“城下町にふさわしい町並みを”を合言葉に「本町通り町並研究会」の発足となった。各会代表を含めた区3役各班2名の委員を選出し、総勢17名による拡張工事予算獲得のための陳情と並行して岡山県倉敷市等の視察を行うなど、町並研究委員の活動が始まった。また、建築設計士や高校の美術の先生などに町並みに関する意見を求め、統一された風致美を念頭に論議



に論議を重ね、地区民にわかりやすい呼びかけを図る事になった。そこで出来上がった5つの申し合わせ事項は、

- 1、家は日本風に統一しましょう。
- 2、家は溝から1メートルさげましょう。
- 3、軒は溝までだしましょう。
- 4、軒の高さをきめましょう。
- 5、ケバケバしい色を避けましょう。

この申し合わせ事項を地区内の回覧やあらゆる会合の場で呼びかけた結果、徐々に町づくりのムードが高まっていった。しかし、少しずつ姿を消していく昔の町並みは新しい夢とは裏腹に我家の消える一抹の寂しさを感じさせた。

昔からの姿、取りこわされる前の町並みを何かに残しておこうと、当地の高校生が連日一軒一軒の家をスケッチし、先生の指導のもとで版画の制作に取り組んだ。出来上がった100メートルにも及ぶ旧町並みの版画は正に感動であり、貴重な文化遺産となった。町並研究会では10万円の予算をくみ、町並みの完成までを町並有姿録として8ミリビデオに残すことになった。

さて、このような町住民の意志統一の習慣は、宝永年間から伝わる武芸18番を型どった泰平踊りの継承方法にその原点があるのかも知れない。各戸から必ず一人参加して、高年・中年・若年者が泰平踊りを通じて円陣を組んでの話し合いの習慣が伝統的なものとして今日まで残り、商人町の古くて新しい町並みや町づくりりに大きな役割を果たしているのではないだろうか。こうした伝統の中から、近代において明治の外交官小村寿太郎侯を生み、“ナンジャモンジャゴケ”で有名な、世界的植物学者でコケ博士こと服部新佐博士を生んでいる。

5つの申し合わせ事項は地区民の間にも浸透し、委員にもいろいろな相談が多くなってきた。薬屋さんや床屋さん、酒屋さんなど、みんなに和風造りの設計による町づくりの環が広がっていった。しかし、町づくりが進むにつれ、難題が増えてきた。電線や電話線の埋設、橋の高欄・街灯・街路樹など、委員がひとつひとつ関係当局をお願いして回った。こうして歴史的な町並みに合った景観づくりに一段と拍車がかげられた。とりわけ飫肥郵便局は、町の中央に位置しており、郵政当局に陳情した結果、白と黒を基調にした和風局舎が実現した。また局長さんの音頭で、明治5年創設の日向国飫肥郵便取扱役所跡に明治時代のポストを模した記念碑を建立していただき、訪れる人々に風情と歴史を感じてもらえるようになった。こうした景観づくりが進む中で“この家だけは残そう”と、ある古い商家の保存活動が始まった。この商家は取壊し間際であったが、市への陳情が実り、所有者の寄贈により市有地に移転して、商家資料館として生まれ変わる事になった。この資料館には、道路拡張によって取り壊された各家から集められた大ソロバン、はかり、枡、大福帳等の商人町ゆかりの品々が展示されている。また、この家は明治時代には正誼館と名づけられ、本町青年の集合研修の場として、あるいは泰平踊りの練習場として使われていた。飫肥杉の巨木を生かした構造は正に貴重な文化財そのものである。生まれ変わった商人通りでは、この他、灯籠風の街灯、商店の看板のれん、バス停のスタンド、ゴミ収集の案内板にいたるまで、景観にマッチしたデザインに工夫がなされた。

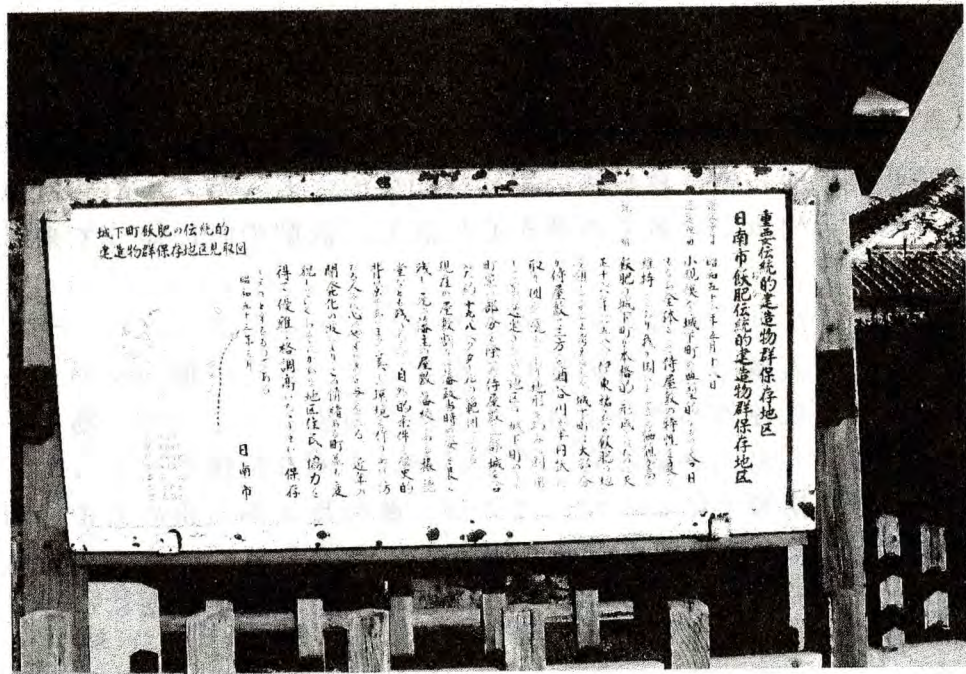
スライドによる勉強会の他、特に倉敷等の視察は印象的であった。1泊2日の強行軍だったが、帰りの夜行列車では多くの夢を心に託し、飫肥の町に帰って来た思い出は決して忘れる事ができない。

今はそれが現実のものとなり、町並みの完成とともに若人達を中心に“飫肥城下まつり”や“十五夜大綱引き”等の祭りを復活させ、新しい趣向を加えたイベントをくり広げている。私達の小さい頃は、十五夜の前夜、「十五夜の薬をくれたもんせ!!」と言いながら町内を駆け回ったものだ。そんな記憶をたどって、まずは綱の編み方から古老の指導で始まった。今では、薬の長さから集め方まで何もかも違う。時代が流れ、人集めも大変である。しかし、久方ぶりに、古くて新しい町並みで、大人も子どももワッシュイワッシュイと大綱を引く声が夜空にひびき、十五夜の大綱引きが甦った。

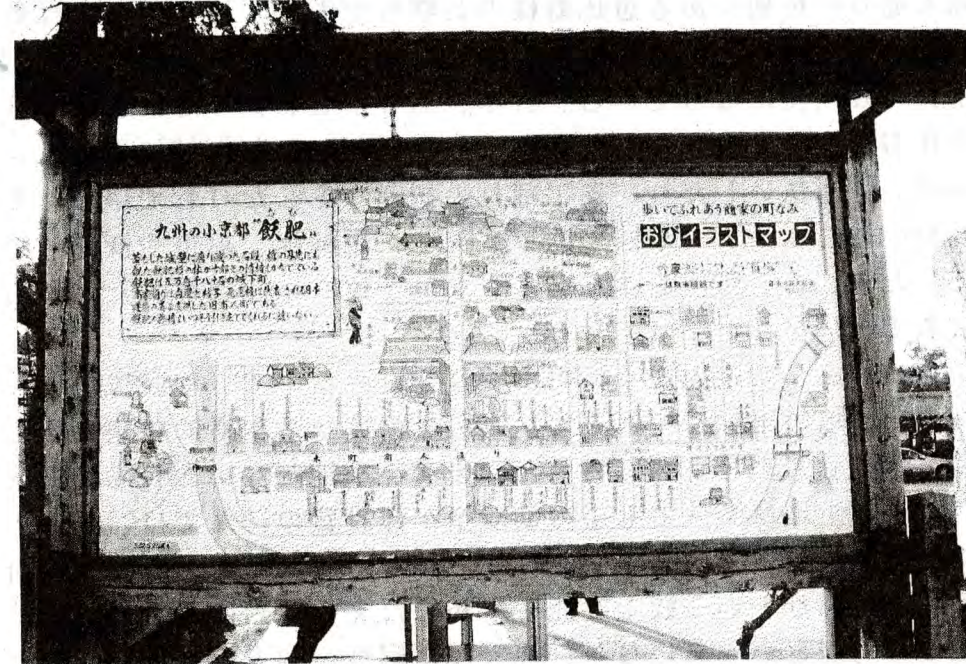
秋の大綱引きが終わると、年明けて、商人町の一年は“恵比寿まつり”から始まる。1月10日は商人通りの角地にある恵比寿様のお祭りである。棟札によれば寛政年間の記録が残っている。商人町の旦那衆が、商売盛繁家内安全を祈願し、今も昔も変わらないお正月の風物詩になっている。近年、もう少しお祭りをにぎやかなものにしようと“恵比寿神社復興会”をつくる事になり、新たにお火焚処を設け、古いお札や鬼神棒を焼いて厄払いしたり、泰平踊りの初踊りをしたりしている。その他、ぜんざいや焼酎の無料コーナーや四半的コーナー、鬼神棒、福笹や飫肥杉で作った絵馬等を販売したところ、年々お参りも多くなり、遠くは鹿児島あたりから福笹を買いにこられるようになった。

町並みの復興からはじまった商人通りの町づくりを進める中で、地区民が待ち望んだのは、“寄り合いの場の確保”であった。過去に何度か“本格的な集会場を”と話が持ち上がったが、立ち消えとなっていた。まず、土地がないと有効な助成制度が受けられないこと、土地はあっても市の助成金が建設費の10%では、一戸当たりの負担が大きくなるため、気運が盛り上がらなかった。しかし、助成制度の研究をしているうちに、泰平踊りという郷土芸能を生かした文化活動によるコミュニティーセンター助成なら可能という事になり、地区民に図り、個人の土地をお借りすることになって、平成5年9月に飫肥郷土芸能館として私達の永年の夢が実現した。

私達の町づくりも第二段階をむかえたが、休むことなく、新しい展望に立って「自分達の町は自分達の手で」を合言葉に、その焰をいつまでも灯し続けたいものである。今、町並みには、みなさんの協力で、文学碑も3基ほど建立できた。本年度当初の本町商人通り振興会では、コケ博士で有名な服部博士の研究を日本はもとより、世界に知っていただく手だてはないものかと飫肥郷土芸能館で話し合っているとところである。



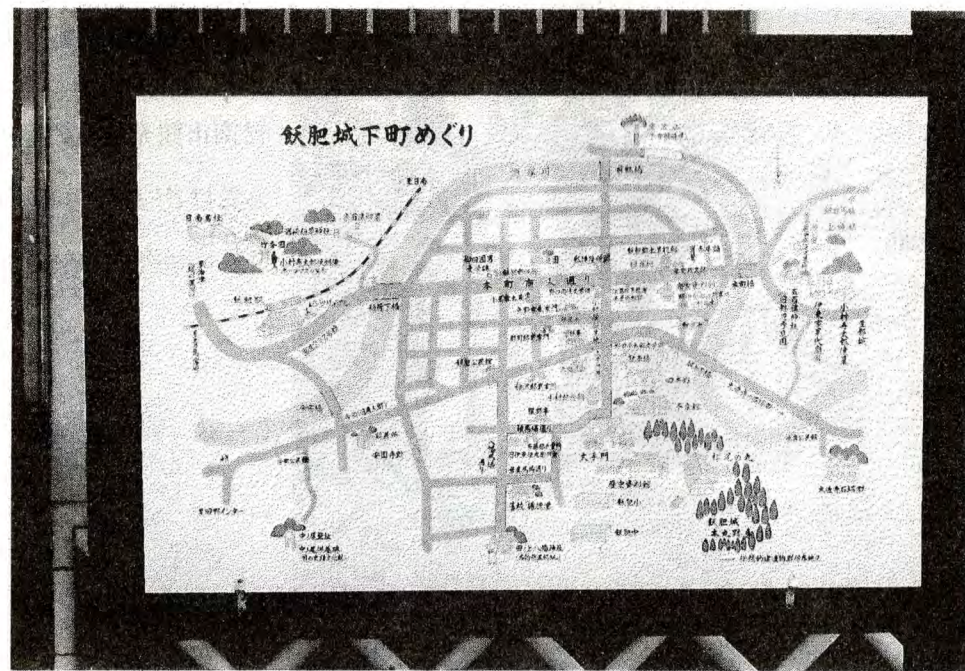
重要伝統的建造物群保存地区  
(日南市<sup>おひ</sup>鉄肥)



位置図



鉄肥城大手門を望む



位置図



観光案内板



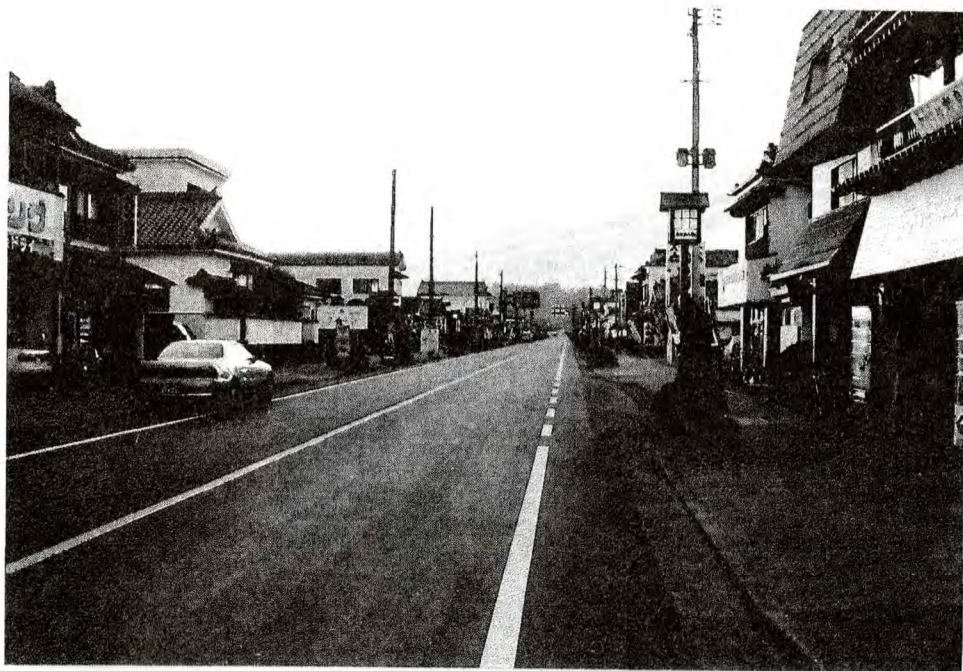
本町商人通りから  
鉄肥城 へ向かう通り



鯉の泳ぐ武家屋敷通りの街な  
日南市観光協会の担当者から  
を受ける「島原中心市街地街づ  
推進協議会」のメンバー



稻荷下橋から本町商人通りを望む



本町商人通りの街なみ  
日本風の家々が建ち並ぶ



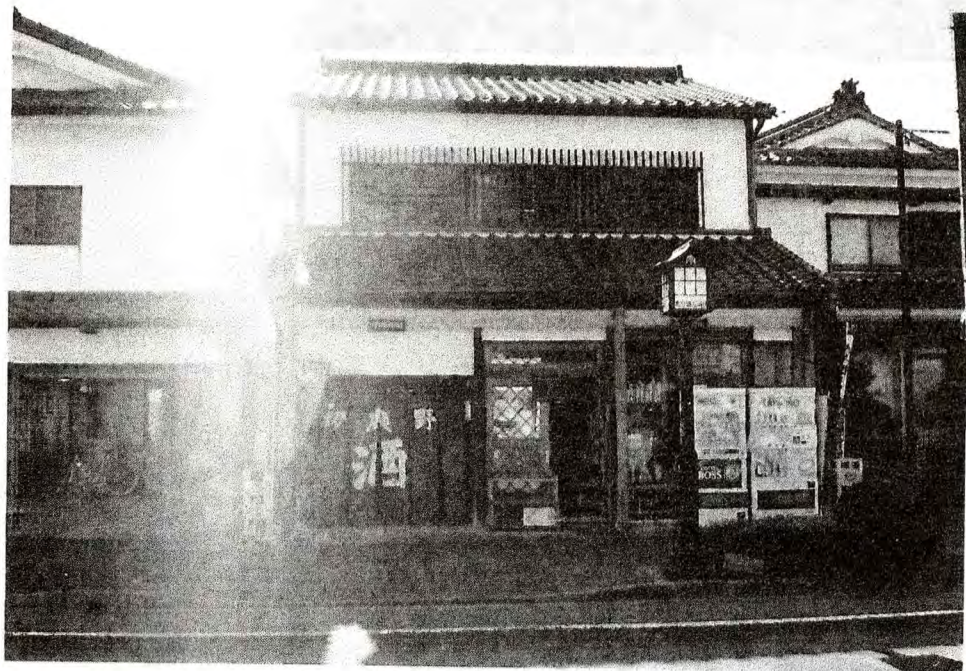
本町橋から本町商人通りを望む



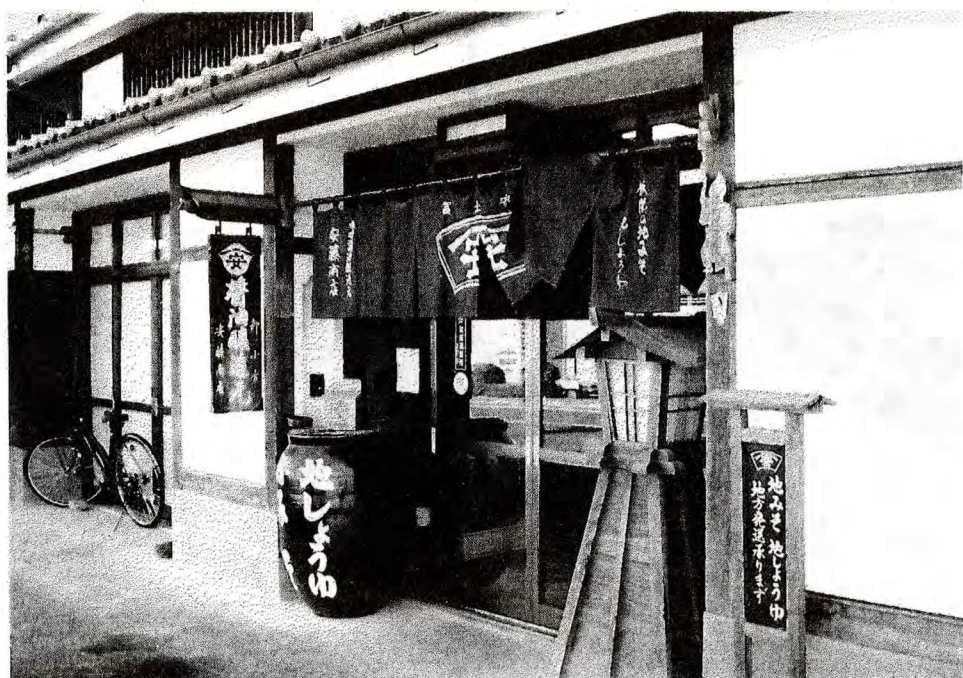
本町商人通りの街なみ



商家資料館



初鹿野 酒店



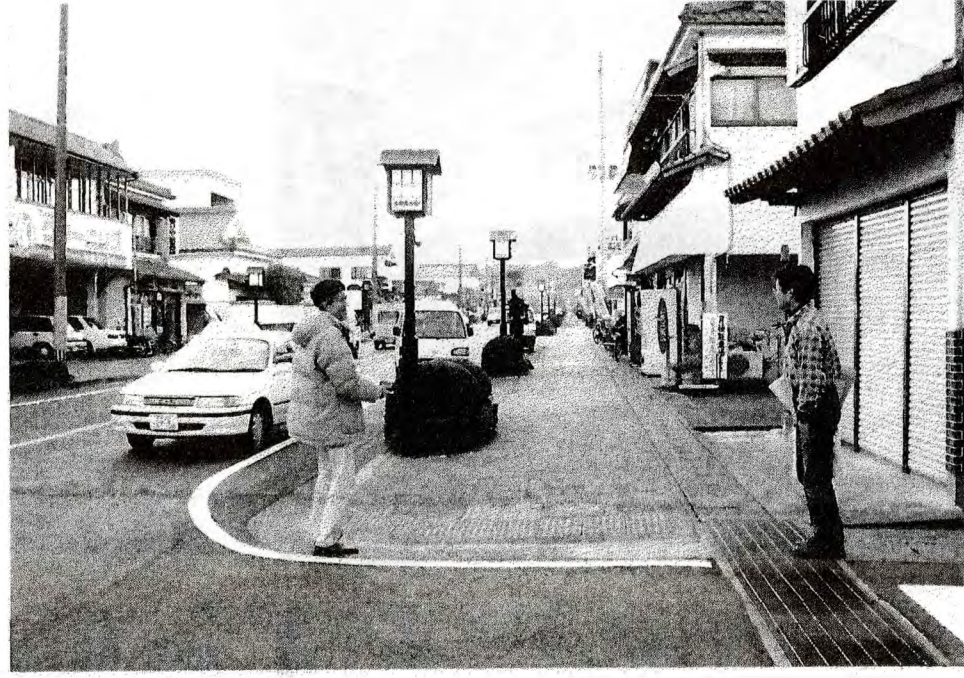
「本町研究会」の事務局の  
安藤さん宅



地区住民の話合いの場と  
なっている郷土芸能館



金物店



統一された照明灯

日南駅西弁分線  
中央児童公園  
事業説明書

太陽と海  
みどりの山々  
歴史と文化のかおる都市



☆☆☆☆☆ 目次 ☆☆☆☆☆

1. 計画の背景	1
2. 位置図および空間構成図	2
3. 事業の概要	3~6
① 日南駅西弁分線	3~4
② 中央児童公園	5~6
4. 工事の概要	6~7
① 日南駅西弁分線	6
② 中央児童公園	7
5. 整備計画図	8

# 1. 計画の背景

1

本市は、昭和25年1月1日に4ヶ町村が合併後誕生し、県南の中核都市として発展してきた。

昭和30年には、日南海岸が国定公園の指定を受け、昭和49年に鉄肥城由緒施設等の整備が図られ、昭和52年には、鉄肥地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けるなど、「観光地・日南」として全国的に脚光を浴びるまでになった。

しかし近年では、恵まれた自然環境と観光資源が十分に生かされず、さらに、経済の高度成長に伴う産業構造の変化から、大都市圏への若者の人口流出が続いたことにより、市全体が沈滞気味で活力に乏しい状況にあった。

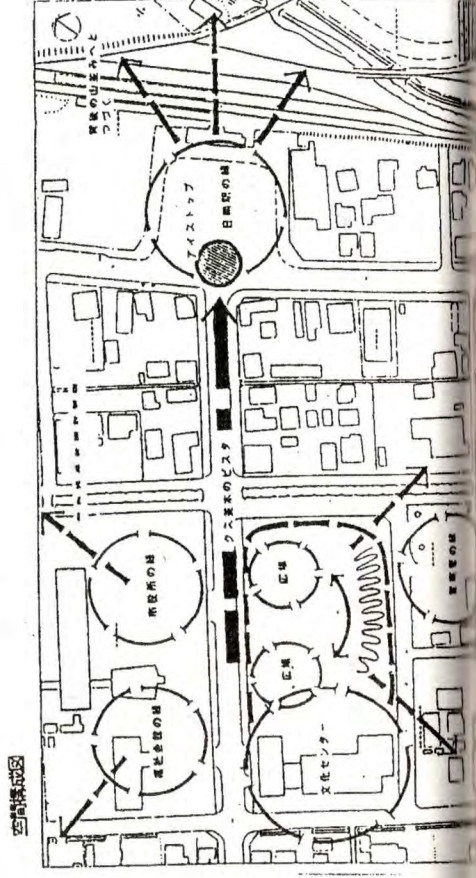
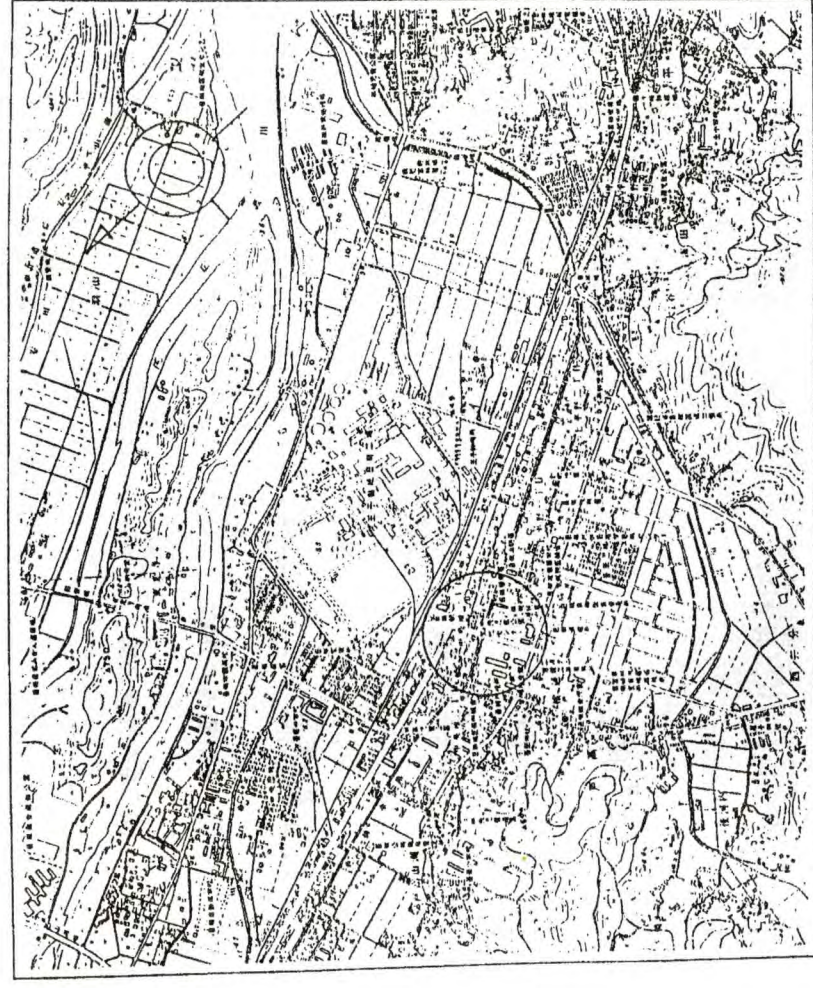
昭和63年7月に、本市を含む3市5町の13万3,000haが、わが国で最初の総合保養地域整備法（リゾート法）に基づく特定地域として設定され、宮崎・日南海岸リゾート構想が承認され、平成元年に市制40周年を迎えたことから、日南市の商・工・行政の中心地で、玄関口である都市計画道路日南駅西弁分線の景観整備を図ることとなり、続いて、平成2年度から中央児童公園を一体的に整備することとなった。

本計画の整備により、市民の「まちづくり」への関心が高まってきたこと、今後の活性化への起爆剤となることと思われる。



# 2. 位置図および空間構成図

2



# 3. 事業の概要

3

## ①日南駅西弁分線 建設省都市局 街路事業（地方道路整備臨時交付金Aタイプ、街路緑化）

本事業は、国道222号～日南文化センター間を、緑豊かな潤いのある街路として整備した。市民の憩いの場となるよう、中央児童公園・市庁舎・文化センターと一体となった整備により、快適な歩行者空間の創出と従来のイメージを払拭して日南市の顔となっている。特に、照明により演出された夜間の景観は、今までにない街なみの美しさを際立たせ、市民の景観への啓発がなされている。

本事業の整備に際しては、NIT・九州電力の協力により、無造作に立ち並ぶ電柱の撤去から広々とした道路空間が確保され、また警察の協力により信号の照明柱との一体化、交通標識の簡素化が図られたことから、よりグレイドの高い景観が創られた。

全体計画としては、永く市民に親しまれるよう「白」を基調とした色合いで、落ち着いた雰囲気醸し出し、所々に、市の特色及び特産品を取り入れている。

(a) 歩道舗装に、市の木である鉄肥杉を、擬石平板により描き、歩行者の目を楽ませている。

(b) 起終点歩道部には、市の木（鉄肥杉）、市の花（ツワブキ）、市の鳥（カワセミ）を描いたレリーフ平板を組み込み、更に、本路線が街路事業により整備したことを広く市民に報せる文を掲載し、今後のまちづくりについて理解が深まるよう配慮した。

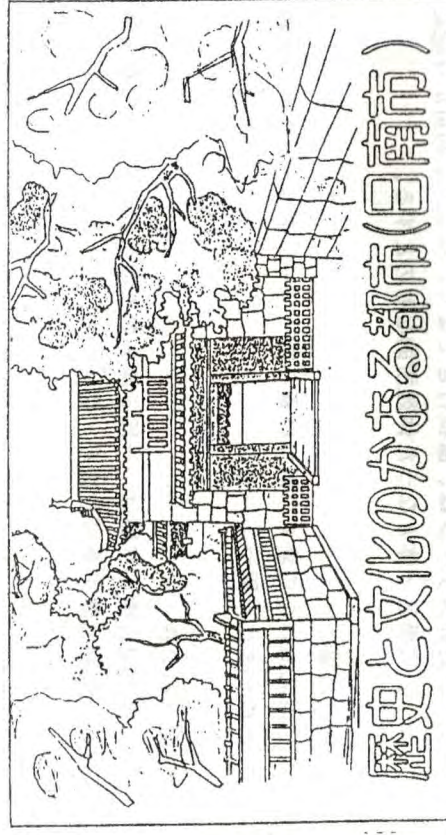
(c) 国道222号交差点歩道部には、歩行者に配慮し、周辺地図を掲載したサインを設置し、利便性向上を図った。

(d) 植栽帯・植栽株には、市の特産品である鉄肥石を使用し、特に公園側は、花壇式の植栽帯が、表面のコブ出し仕上げによりアクセントをつけている。また、車止めにも鉄肥石を使用し、表面の先ノミ仕上げにより繊細な柔肌感をだしている。

(e) 照明は、全体計画から、シンプルなデザインとし違和感の無いよう配慮し、夜間の景観向上が図られた。また、信号との一体化により、すっきりとした道路空間ができ、交差点の巻き込み防止効果を発揮している。

(f) 植栽は、ツワブキ（市の花）をはじめ、クちなシ・ツツジにより、歩行者の目を楽ませ、クスノキにより将来、緑に包まれた緑道となるよう計画している。

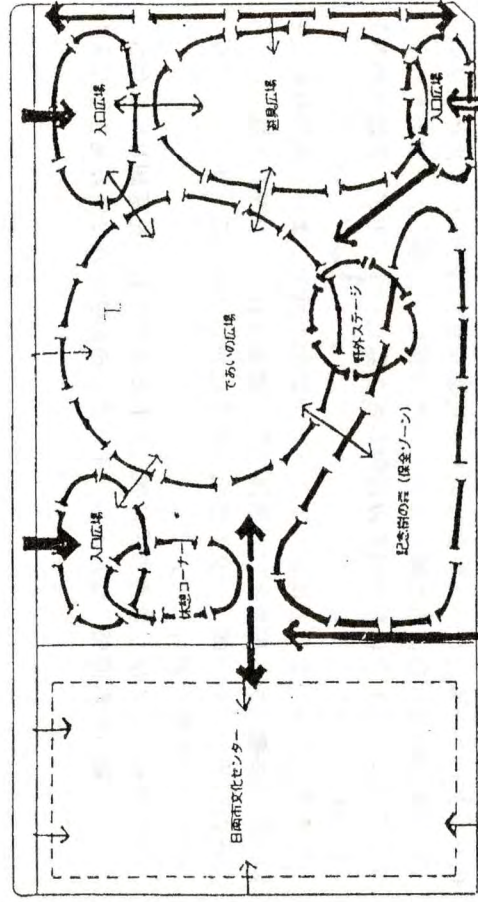
(g) 車道部は、老朽化したコンクリート舗装をアスファルト舗装に打ち換え、区画線をすっきりとした交通形態にした。また、利便性向上として道路標識を設置し、殺風景な裏面を景観への配慮から、観光名所の「鉄肥城大手門」を描き一歴史と文化のかおる都市—という市のシンボルテーマを表現した。



②中央児童公園（ふれあい通りふらさと公園）  
起債事業（地域づくり推進事業）

本事業は、日南駅西弁分線の整備計画に運動し、今まで閉鎖的であった公園を、多目的で利用し易く、利用者に優しい公園に生まれ変わるよう整備した。

日南に生きづく歴史、風景を大切に新しい街づくりの出発点から、日南市らしい明るい開放的な空間とし、広く市民に親しまれる風景づくりを行なうことを基本に、ゾーニング計画を設定している。



(a) 遊具広場

地域住民の憩いの場となり、子供達が安全に遊べる場所、港・船をモチーフしている。

(b) 出会いの広場・野外ステージ

開放的な広がりを見せ、広く市民に活用される場所で、波・波紋のように広がる芝生広場（海をイメージ）は、イベント時に客席となる

また、野外ステージは、屋根付きでなく、多目的な利用が可能になるよう、広場と一体となった休憩所的なものとする。

(c) 入口広場

ふれあいの広場で、新しい通りのイメージをつくるため、街路歩道との一体化を図っている。

(d) 記念樹の森

既設記念樹の空間は、一部を除き記念樹の広場とし、現在まで培われた公園の歴史及び景観を大切にしている。

4. 工事の概要

①日南駅西弁分線

・路名	都市計画道路日南駅西弁分線
・延長	L=265.0m
・幅員	W=20.0m
・総事業費	178,400千円 (補助=146,000千円 単独=32,400千円)
・事業期間	平成元年度～平成3年度
・請負業者数	5業者
・工事内容	車道舗装 (7x7x7) A=2,639㎡ 歩道舗装 (舗) A=1,928㎡ 車道照明 (H=10m) n=2基 歩道照明 (H=4m) n=22基 高木植栽 (く) n=36本 車止め (鉄肥石) n=92基 歩道高欄 (H=1m) L=12m

②中央児童公園（ふれあい通りふらさと公園）

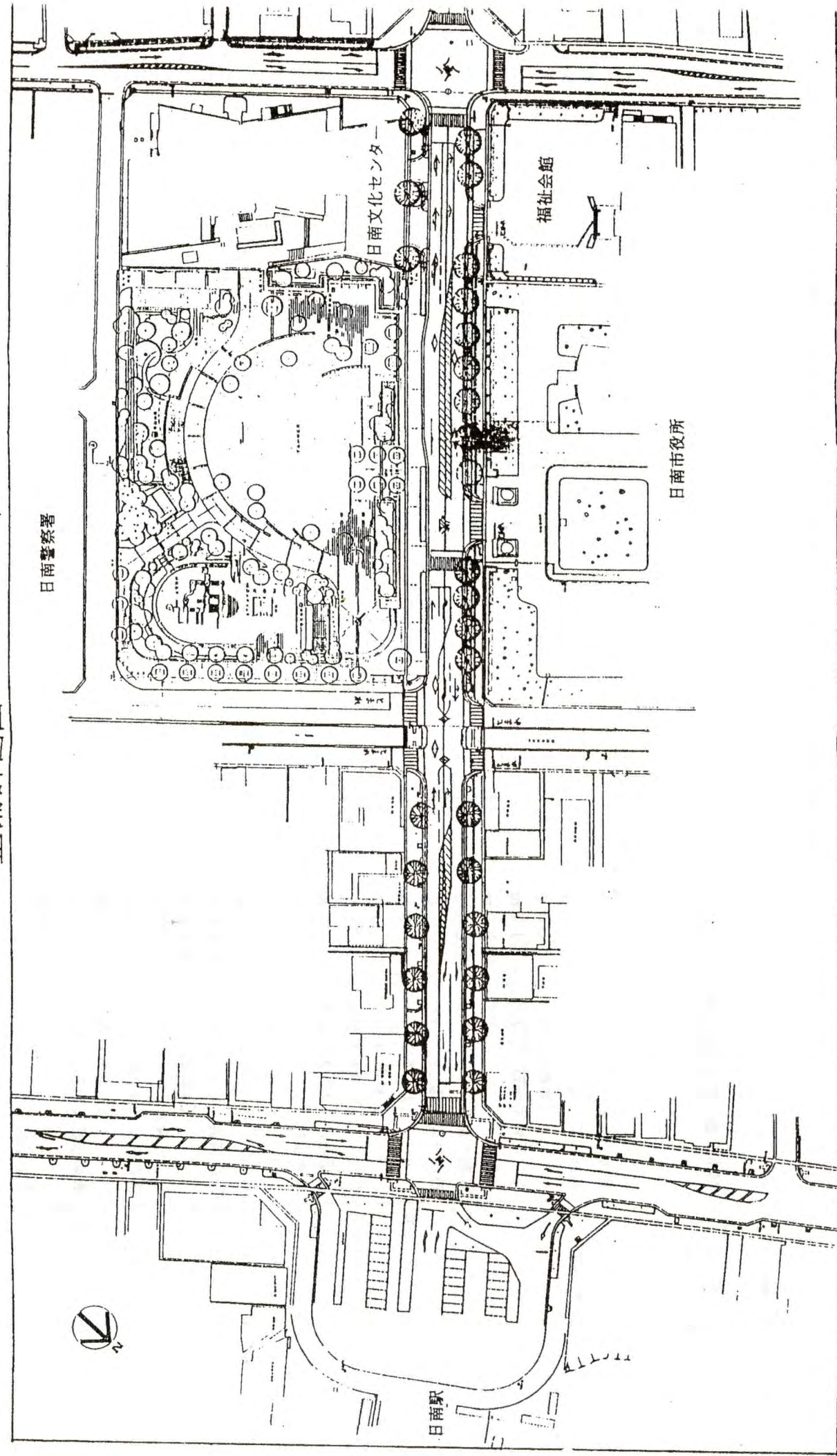
・公園名	都市公園・中央児童公園
・面積	A=0.78ha
・総事業費	193,000千円
・事業期間	(但し、平成4年度の100,000千円見込み) 平成2年度～平成4年度
・工事内容	園路舗装 (舗) A=730㎡ " (真砂土) A=554㎡ ベンチ兼用緑石 1=117m 御影石緑石 1=206m 鉄肥石積み A=100㎡ 遊戯施設 (緑) n=1基 " (アソビ) n=3基 " (砂場) n=1基 " (ホップホップ) n=1基 便益施設 (水飲み) n=2基 高木植栽 (く) n=18本 " (ピロー) n=3本 " (バーム) n=5本 園路舗装 (レンガ) A=1,536㎡ " (御影石) A=230㎡ レンガ緑石 1=222m 休養施設 (休憩所) n=3箇所 " (ベンチ) n=5箇所 便益施設 (トイレ) n=1基 照明 n=12基 高木植栽 (さくら) n=12本 " (ケヤキ) n=2本 " (スギ) n=3本

実績

予定

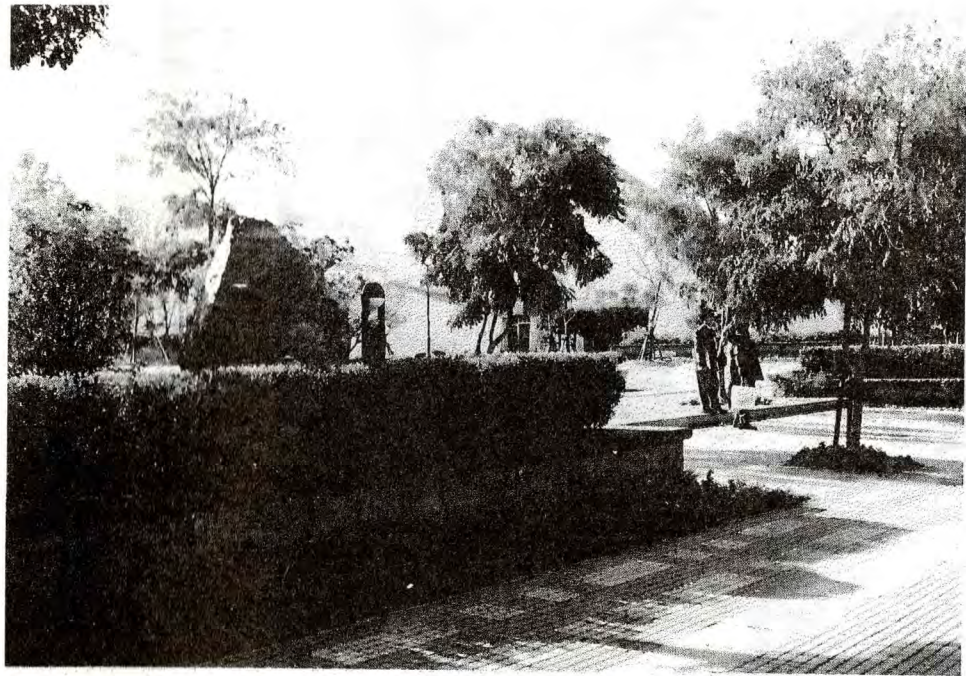
日南駅西弁分線・中央児童公園

整備計画図

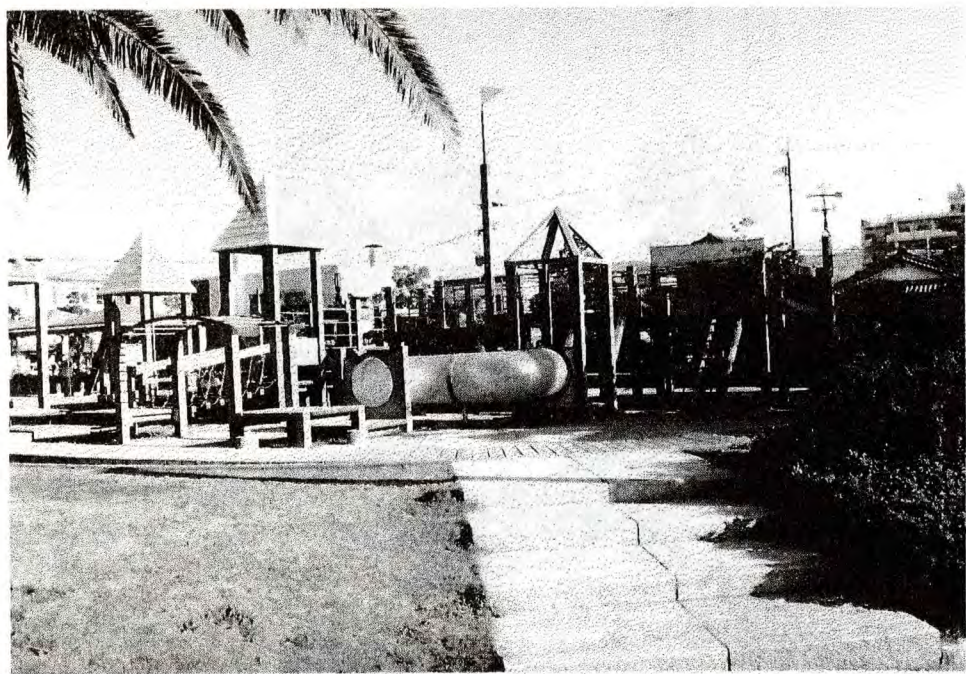
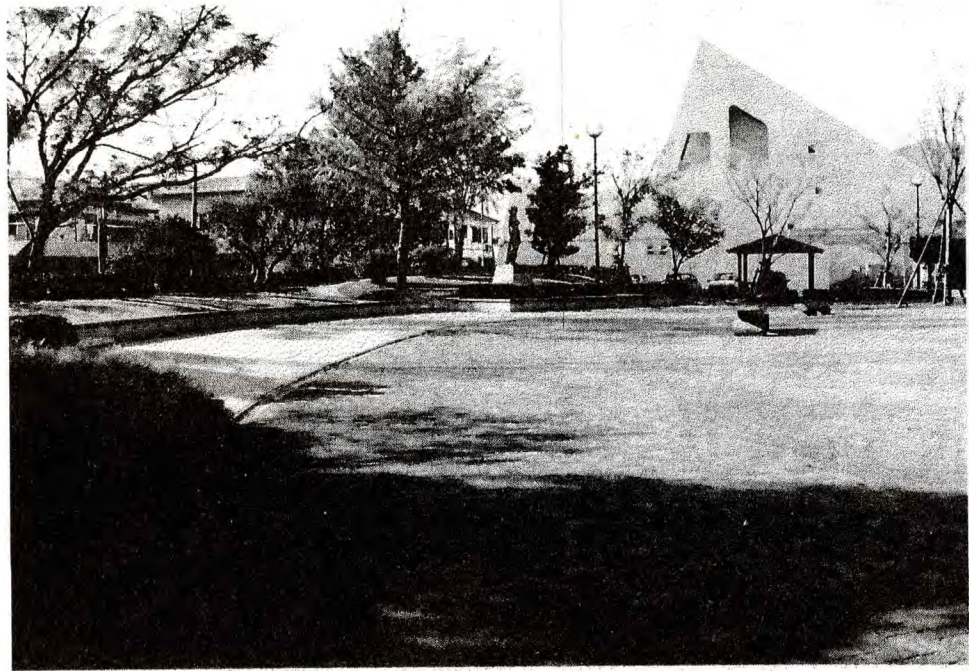
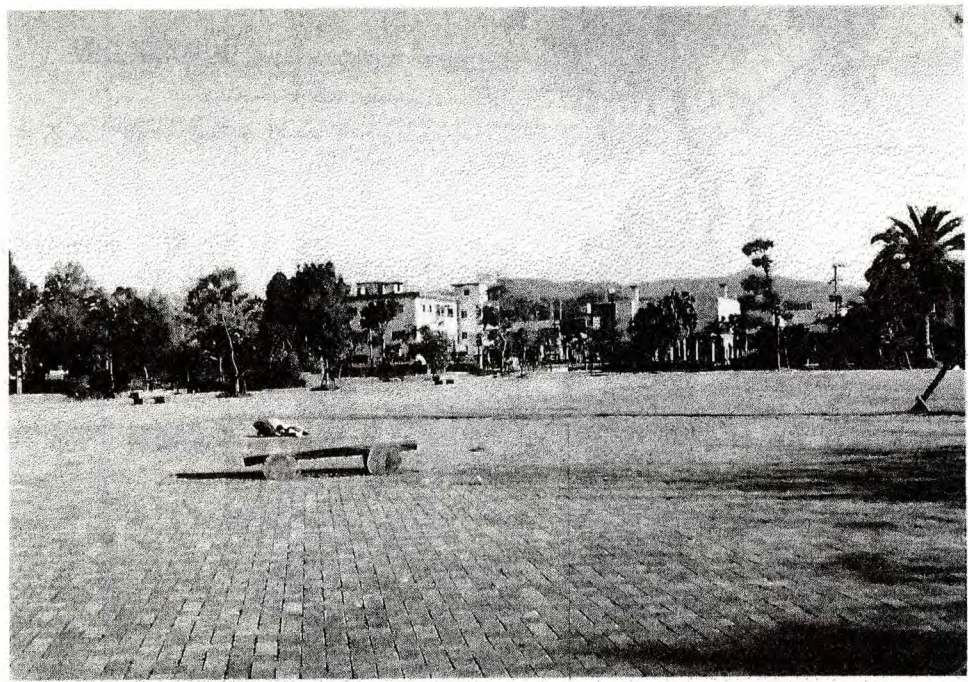


中央児童公園  
(ふれあい通りふるさと公園)

位置：日南市役所前  
 公園面積 A=0.78ha  
 総事業費 約193百万円  
 事業期間 平成2年度～4年度







出会いとふれ合いの副都心づくり



熊本市都市整備局  
熊本駅周辺整備部

開発事業課  
課長

首藤 朝幸

〒860 熊本市春日1丁目15-25  
▲096-323-8188 fax.096-323-8052

出会いとふれ合いの副都心づくり



熊本市都市整備局  
熊本駅周辺整備部

開発事業課  
開発事業係長

小畑 茂生

〒860 熊本市春日1丁目15-25  
▲096-323-8188 fax.096-323-8052

出会いとふれ合いの副都心づくり



熊本市都市整備局  
熊本駅周辺整備部

開発事業課  
調査係長

福永 卓巳

〒860 熊本市春日1丁目15-25  
▲096-323-8188 fax.096-323-8052

ホテルニューオータニ熊本  
総支配人室 総務課

本田 耕一



〒860 熊本市春日1丁目13番1号  
TEL (096) 326-1111 (代表) (096) 326-1050 (直通)  
FAX (096) 326-0800



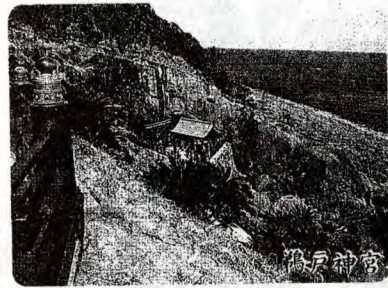
NICHINAN の旅  
観光ダイヤル0987-23-6666

日南市役所

都市建設課 計画係

酒井 康光

〒887 日南市中央通1丁目1番地1  
TEL (0987) 23-1111 代  
FAX (0987) 31-1191



NICHINAN の旅  
観光ダイヤル0987-23-6666

日南市役所

総務部 企画課

企画調整係  
濱中 伸太

〒887 日南市中央通1丁目1番地1  
TEL (0987) 31-1116  
FAX (0987) 23-1853

にちなん



広島東洋カープ日南キャンプ  
日南観光ダイヤル☎(0987)23-6666

日南市観光協会

事務局 次長 田中 芳

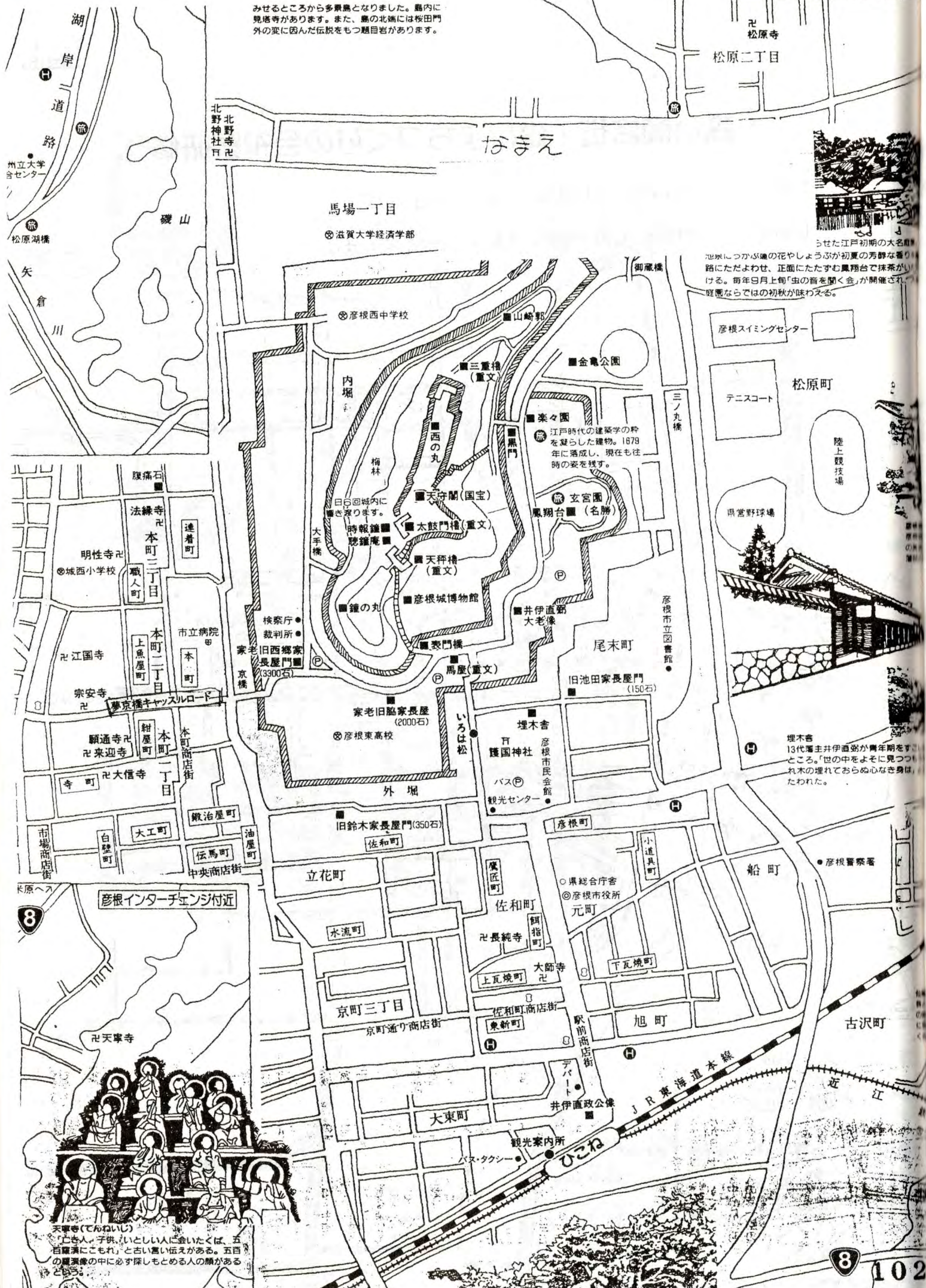
〒887 宮崎県日南市中央通1丁目1番地1  
TEL (0987) 23-1111 代  
(内線 3338)  
FAX (0987) 23-1853

# 森岳商店街・森岳まちづくりの会視察研修

日時 平成7年 6月24日(土) 25日(日)

目的地 滋賀県(長浜・彦根) 大阪(玉出商店街) ほか





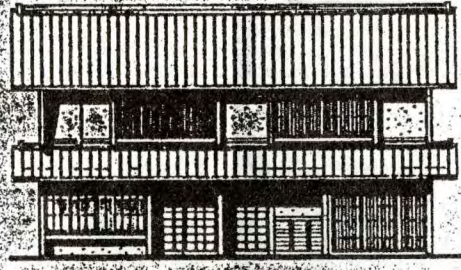
みせるところから多岐となりました。境内に見る寺があります。また、東の北端には松田門外の裏に因んだ伝説をもつ題目岩があります。

池原につかぶらぬの花やしよぶが初夏の芳醇な香りをたたよわせ、正面にたたずむ鳳舞台で抹茶がけける。毎年白月上旬「虫の音を聞く会」が開催され、庭園ならではの初秋が味わえる。

埋木舎  
13代藩主井伊直弼が青年期をすごしたところ。「世の中をよそに見つづれ木の埋れておらぬ心なき身は、たわれた。」

天寧寺(てんねいじ)  
「亡き人、子供、いい人に会いたくは、五百羅漢にこもれ」と古い言い伝えがある。五百の羅漢像の中に必ず探してもめる人の顔があるといふ。

民芸品と駄菓子  
**たかさご**



北村久雄  
〒522 滋賀県彦根市本町2丁目2番3号  
☎(0749)22-6879  
FAX(0749)24-0985



下町ルネサンス  
**玉出まちづくり株式会社**

専務取締役  
**藤原節男**  
Fujiwara Setsuo

〒557 大阪市西成区玉出中1丁目13番6号  
TEL 06-651-8001 FAX 06-656-0232



下町ルネサンス  
**玉出まちづくり株式会社**

常務取締役  
**法西一雄**  
Housai Kazuo

〒557 大阪市西成区玉出中1丁目13番6号  
TEL 06-651-8001 FAX 06-656-0232

表参道商店街(振)

理事長 **小倉勝彦**

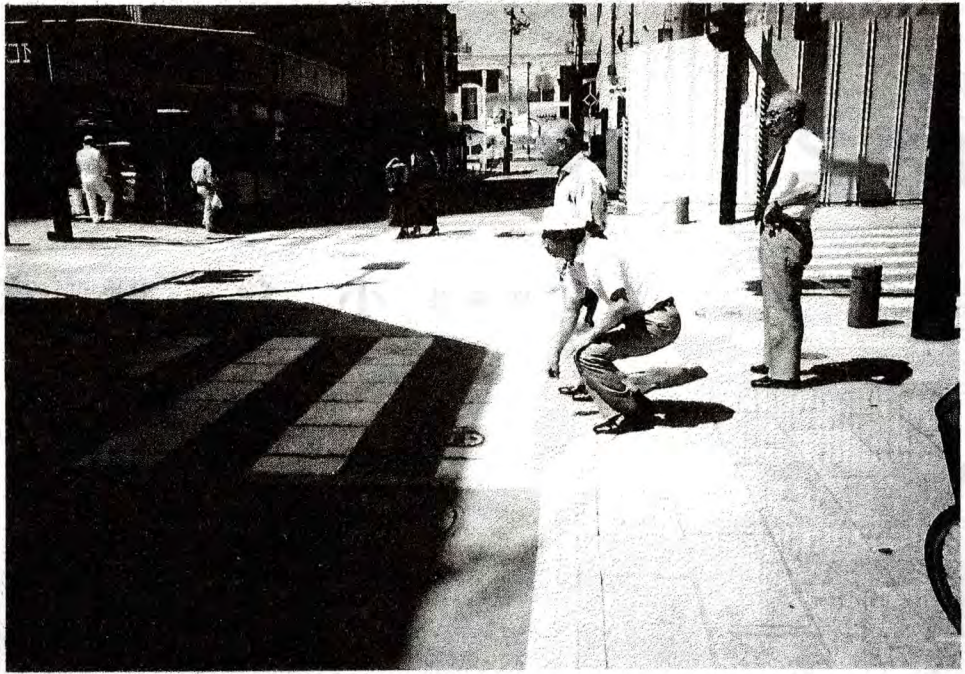
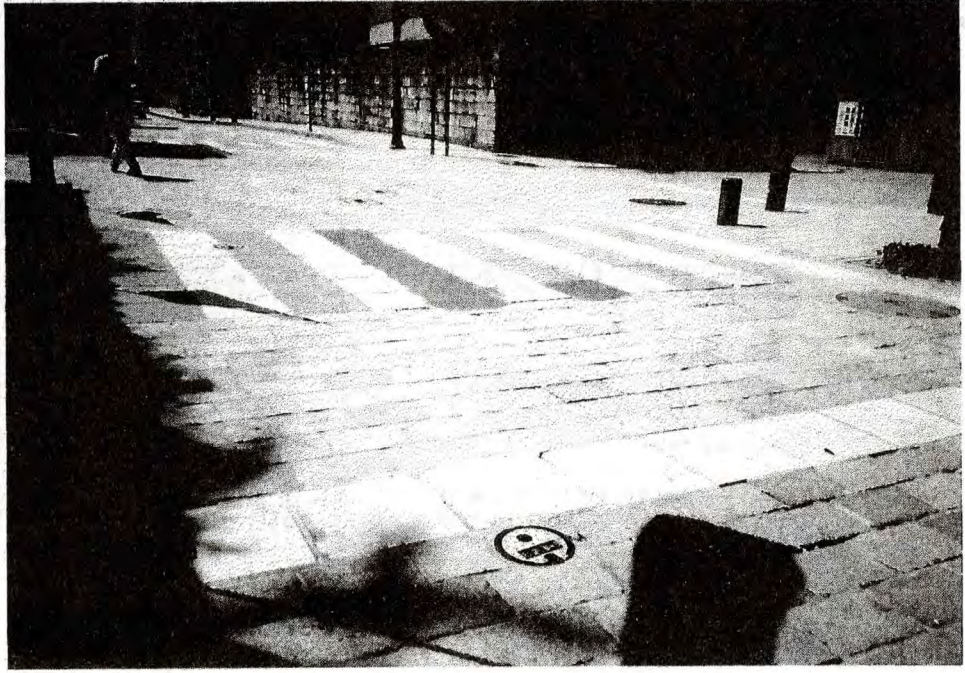
長浜市元浜町18-15  
TEL/FAX (0749) 62-0372

**おぐに花店**  
フラワーアレンジメント  
花鉢、観葉植物  
フラワーギフト全国配達システム

店 舗 大阪市西成区玉出中1丁目14-14  
☎557 658-3873

副理事長  
**法西一雄**

事務所  
大阪府西成区玉出中一丁目十三番六号  
電話六五二一八〇〇一・六五二一八〇〇二  
大阪府西成区玉出中一丁目十六番九号  
電話六六一五五五五



街づくり事例地視察

日時 平成8年9月21日(土)  
 場所 長崎市内  
 目的 石畳舗装を視察し、今整備する鯉の泳ぐまち  
 施工に活かす

1995年(平成7年)3月25日(土曜日)

街づくり講演会

藤田都市研所長を講師に

島原中心市街地街づくり推進協議会は二十九日午後七時半から豊丘公民館三階大ホールで「街づくり講演会」を開催、多数の来聴者を呼びかけている。参加費無料。

都市の活性化二十一世紀に向けての地方都市「島原市」の繁栄には魅力ある商店街づくりが必要となる。地域の特性を生かした街づくりには地元自ら参加して自分たちの手で進めるといふ共通の認識と、実際に取り組む必要性があることから、市街地再開発事業や商業近代化計画に携わり街づくりの先駆者である島原市問題経営研究所所長の藤田邦昭氏を招き、同氏が「店の魅力、街の魅力」の演題で講演する。

藤田氏は再開発コーディネーター協会常務理事、全国商店街振興連近代化研究会委員(社)コミュニケーション・マートセンター研究会委員などを兼務、主な著書に「実践としての都市再開発」などがある。

島原新聞より抜粋しています

1995年(平成7年)3月28日(火曜日)

街づくり講演会

とき/3月29日水 午後7:30より  
 ところ/豊丘公民館 3階大ホール  
 主催/島原中心市街地街づくり推進協議会  
 後援/長崎県・島原市・島原商工会議所

<講師プロフィール>

藤田 邦昭

1927年大阪市船場生まれ、1947年福岡高等専修学校卒、日本住宅公団、アール・アイ・エー建築総合研究所を経て都市問題経営研究所所長、(株)再開発コーディネーター協会理事、全国商店街振興組合連合会近代化研究会委員、日本商工会議所近代化研究委員会、日本ユニティ・マートセンター研究会委員、大阪大学講師、一級建築士、主な著書「都市再開発—街づくりの現場から」



無料参加

あ、未来の島原を

21世紀に向けた地方都市の繁栄するに、地域の特性を生かした島原の街づくりの先駆者として知られている藤田邦昭先生をお迎えして街づくり講演会を開催致します。ぜひ、ご参加下さい。







# 店の魅力!!街の魅力

藤田邦昭(神戸市問題研究所)の講演から(7)

## 新時代に適したものを みんなが知恵を出し合い

遊覧船のある街は、何の最もないガラス工芸品を街に持って来て地元の集団で売り出し、今「大衆」の名前をつけて特産品として売り出すべく売れるんですよ。理言が徹底的にやっただけで、神戸「ヨコヅナ」普通のヨコヅナですが、これがまたよく売れる。「神戸ヨコヅナ」と名前をつけただけで値段もあがるんですから、そういうところが、何故か、ここ(島原)の水と物産を二つ以上組み合わせるといふように、だいたい考えられないの。

では、日本で「何故」都市の発展が必要か、については、それは産業構造が変わって来ているから、今から二百年前、第一次産業から第二次産業に変わり、農業や漁業などから製造業に移っていたフランスのナポレオンが象徴的ですが、命で街をつくらせてくれた貴族の土地、庶民の土地を取り上げて、そこに第二次産業にあつた街づくりをやった。

では、日本で「何」が起つてくるかという、第二次産業から第三次産業に変わるとしている。世の

中の人をこれを産業の器柄化なんて言っていますが、実はそうではない。製造業によって生計を立てていた時代から、「第三次産業」を中心に展開して情報を業め、交通を便利にするなど、そういうことにより都市が維持されていく時代に変わってきているのだ。

そうすると、第三次産業、つまり企業にお勧めの街が、活しやすいような街

づくりをしていかなければ、その街は捨て去られる時代になってきている。

第二次産業から第三次産業に変わった時は、一次産業に対する補償をしないで、二次産業に変わった日本では大名の土地、貴族の土地、商人の特権をすべて取り上げ、「新しいヨーロッパ文明」に追い付け、追いつき、二次産業にまわし、街づくりを行っていた。

しかし今日、二次産業から第三次産業に変わる場合、単純なことでできるわけがない。やっつけてはならないことも、そんな中に出てきた重要な問題が一つ、「それ(産業)が変わること」に対して権利を補償すること。みんなが言い出した「営業権」がある。土地、建物の権利がある」と主張を始めた。

街中は当然のことながら、土地、建物の権利を高く、そんな補償を出しておれば、それは不動産が合いませんから、第三次産業(は)移行できなくなる。その結果、何が起つたか、単純な話が一戸外型やロードサイド型の店、客員の多いところへビルを建てよう、といったこと、補償しろ、

と言った結果、街中が買われて、空き店舗が横行し、当たらぬことなど、ではこれから何が必要かというと、従来の貴重品や土地、建物の権利を、かに消費者が有効に使うこと、できるか、と、ことだ、新しい時代に、たものに移していくこと、ついで、みんなが知恵を出し合えばならぬ、という「補償しよう」という社会主義を思われているが、そうではない。補償し、たないのだから、だから当事者が合意をむしり、悪い方をし、等、それは良いことだし、まはればはかの人に、また、貴重な人や物性を、かたづけ、みんなが知恵を出し合い、悪意を、くることが、まあ、それ、(つ)

# 店の魅力!!街の魅力

藤田邦昭(神戸市問題研究所)の講演から(8)

## 既存のもので「特性」を 水が良ければ水で稼ごう

近くにあるもの、すぐに使えるものに手を加える。地元にある既存のものを二つ三つ組み合わせ、独特なものをつくる。物産から商品にして、売り方について工夫すること、あまり難しく考えないで、「水が良ければ水で稼ごう」「野球が良ければそれを利用してスポーツ用品を売ろう」「お土産さんがあればそれを」。

島原の街を見てみない。これだけの古い街で、これだけ波乱に富んだ街で、やることは、いっばい、あの何もしないで、役所の真田」なんて言っている場合じゃない。役所ができることには限界がある。

従ってみんなが肩を並べて役割分担をすること。「努力して」なんて、なきさしいことを言っているではダメ。役割の分担をハッキリさせることが重要なんだ。「地元商店街はこれをやるから、役所はこれを分担してください」というように。

そしてやるようになったら、役所は「地元で計画書を出してくれればやっていきますよ」といって、言っているのはダメ。商店街も「役所のほうで契約をしてくれれば、それを検討しましよ」というのもダメ。自ら立ち上がる人に対してだけみんなが応じてくれる、そんな時代なんだから、現に国の方針も自ら努力する人に対してだけお金を貸す、というように変わってきている。

「いまある資源をどうしたら有効に使えるか」ということからまず始める。それからまた、ものを見る目、小さいことにも気を付けなければならぬ。

二十一世紀、日本の人口は減少する。よって「努力している街」「自分たちのストック(この場合、街に蓄えられているもの)を生かしている街」だけが見事に生き残る。時代は第三次産業に移行し、街の再開発が必須になってきており、街の魅力づけは不可欠なんだ。

難しいことがいっぱいですが、「大学に入れたんで、すつてね、たいへんでしたわ」なんていふことはきょうからでもできること。お金もかからない。そういうことの一つ一つが、街を楽しくしていく。

街中の注意書き一つにしても、そう、「三三三ベンチするな」なんて書くのが島原。この街の雰囲気

を、それを検討しましよ」というのもダメ。自ら立ち上がる人に対してだけみんなが応じてくれる、そんな時代なんだから、現に国の方針も自ら努力する人に対してだけお金を貸す、というように変わってきている。

「いまある資源をどうしたら有効に使えるか」ということからまず始める。それからまた、ものを見る目、小さいことにも気を付けなければならぬ。

二十一世紀、日本の人口は減少する。よって「努力している街」「自分たちのストック(この場合、街に蓄えられているもの)を生かしている街」だけが見事に生き残る。時代は第三次産業に移行し、街の再開発が必須になってきており、街の魅力づけは不可欠なんだ。

難しいことがいっぱいですが、「大学に入れたんで、すつてね、たいへんでしたわ」なんていふことはきょうからでもできること。お金もかからない。そういうことの一つ一つが、街を楽しくしていく。

街中の注意書き一つにしても、そう、「三三三ベンチするな」なんて書くのが島原。この街の雰囲気

を、それを検討しましよ」というのもダメ。自ら立ち上がる人に対してだけみんなが応じてくれる、そんな時代なんだから、現に国の方針も自ら努力する人に対してだけお金を貸す、というように変わってきている。

「いまある資源をどうしたら有効に使えるか」ということからまず始める。それからまた、ものを見る目、小さいことにも気を付けなければならぬ。

二十一世紀、日本の人口は減少する。よって「努力している街」「自分たちのストック(この場合、街に蓄えられているもの)を生かしている街」だけが見事に生き残る。時代は第三次産業に移行し、街の再開発が必須になってきており、街の魅力づけは不可欠なんだ。

難しいことがいっぱいですが、「大学に入れたんで、すつてね、たいへんでしたわ」なんていふことはきょうからでもできること。お金もかからない。そういうことの一つ一つが、街を楽しくしていく。

街中の注意書き一つにしても、そう、「三三三ベンチするな」なんて書くのが島原。この街の雰囲気

を、それを検討しましよ」というのもダメ。自ら立ち上がる人に対してだけみんなが応じてくれる、そんな時代なんだから、現に国の方針も自ら努力する人に対してだけお金を貸す、というように変わってきている。

「いまある資源をどうしたら有効に使えるか」ということからまず始める。それからまた、ものを見る目、小さいことにも気を付けなければならぬ。

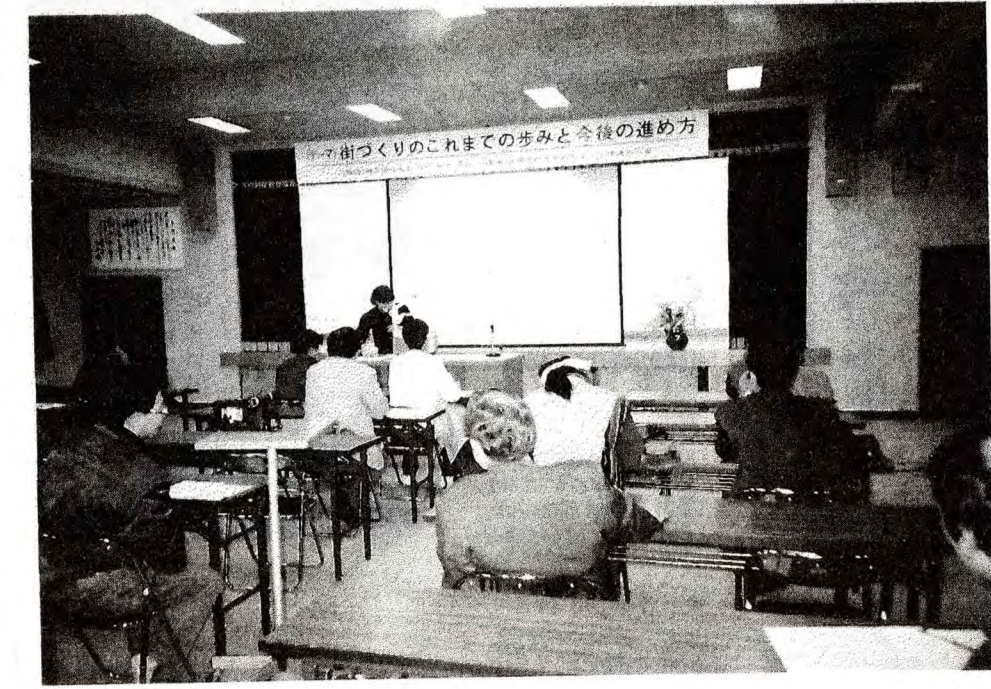
二十一世紀、日本の人口は減少する。よって「努力している街」「自分たちのストック(この場合、街に蓄えられているもの)を生かしている街」だけが見事に生き残る。時代は第三次産業に移行し、街の再開発が必須になってきており、街の魅力づけは不可欠なんだ。

難しいことがいっぱいですが、「大学に入れたんで、すつてね、たいへんでしたわ」なんていふことはきょうからでもできること。お金もかからない。そういうことの一つ一つが、街を楽しくしていく。

街中の注意書き一つにしても、そう、「三三三ベンチするな」なんて書くのが島原。この街の雰囲気







開会挨拶を行う「島原中心市街地街づくり推進協議会」の「吉田耕理」

日時：平成9年2月8日(土)

講師の「柳沢 厚」先生と講演会場の様子

「街づくり講演会」

- ◇ 日時 平成9年3月7日(金) 19時30分～21時30分
- ◇ 場所 森岳公民館大ホール
- ◇ 主催 島原中心市街地街づくり推進協議会(社)長崎県建築士会島原支部 げんごろう倶楽部 島原復興青年会議
- ◇ 後援 長崎県・島原市・島原商工会議所 長崎新聞社・讀賣新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・西日本新聞社 島原新聞社・ケア・ケーブルテレビジョン島原・しまばら通信社(順不同)

- 1 開会
- 2 挨拶 島原中心市街地街づくり推進協議会 会長 古瀬 亨
- 3 講師紹介
- 4 講演 テーマ 「市民参加型まちづくりの可能性」 復興から創造へのワークショップ 九州芸術工科大学芸術学部工業設計学科 講師 藤原 惠 洋 先生
- 5 意見交換
- 6 閉会

☆講師紹介 藤原 惠洋

- 1955年(昭和30年) 熊本県生まれ
- 1979年(昭和54年) 九州大学工学部建築学科卒
- 東京芸術大学大学院(建築理論専攻)修士課程をへて
- 東京大学大学院博士課程(建築学専門課程)終了
- 千葉大学助手をへて
- 現在 九州芸術工科大学 講師(造形論・造形史講座)

メ モ 欄

ちよつと緊張な島原を...



ちよつと緊張な島原を...



「これは、私にとって、人生の大きな転機です。これからは、新しい道に進みます。その道は、決して平坦なものではありません。しかし、私は、この道に、誇りを持って進みます。そして、この道で、自分の可能性を、最大限に発揮します。そして、この道で、自分の人生を、最大限に充実させます。そして、この道で、自分の人生を、最大限に輝かせます。」

### 新春対談

**世紀末の生き方**

「この時代は、まさに激動の時代です。私たちは、この激動の中で、どのように生き抜いていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**故郷・近代・アジア**

「故郷は、私たちの心の故郷です。そして、近代は、私たちの時代の故郷です。そして、アジアは、私たちの世界の故郷です。そして、私たちは、この故郷を、どのように愛護していくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**恋秘めた感受性守ろう**

「恋は、私たちの人生の大きな喜びです。そして、感受性は、私たちの人生の大きな宝です。そして、私たちは、この恋と、この感受性を、どのように守っていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**手応えの他者との出会いを**

「人生は、出会いの連続です。そして、他者との出会いは、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この出会いを、どのように受け止めていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」



藤原 恵洋氏



森崎 和江氏

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」

**自分の探しの方法**

「人生は、探しの連続です。そして、自分の探しの方法は、私たちの人生を、大きく変えることがあります。そして、私たちは、この探しの方法を、どのように見つけていくのか、それが、私たちの最大の課題です。そして、この課題を、どのように解決していくのか、それが、私たちの最大の使命です。そして、この使命を、どのように果たしていくのか、それが、私たちの最大の責任です。」



開会挨拶を行う「島原中心市街地街づくり推進協議会」の古瀬亨会長

日時：平成9年3月7日(金)



講師の「藤原 恵洋」先生



講演会場の様子

躍り出た二代目旅館主

東海道新幹線が開業し、東京オリ...

辞めて、妻の実家「玉の湯旅館」の経...

きか、活発な議論が続いた。これからは...

がない、という点で一致し、自然志向...

町費で作られた。牛のしりをアップで...

この時代、表舞台に飛び出したのが...

中谷健太郎(こやたけたろう)や溝口...

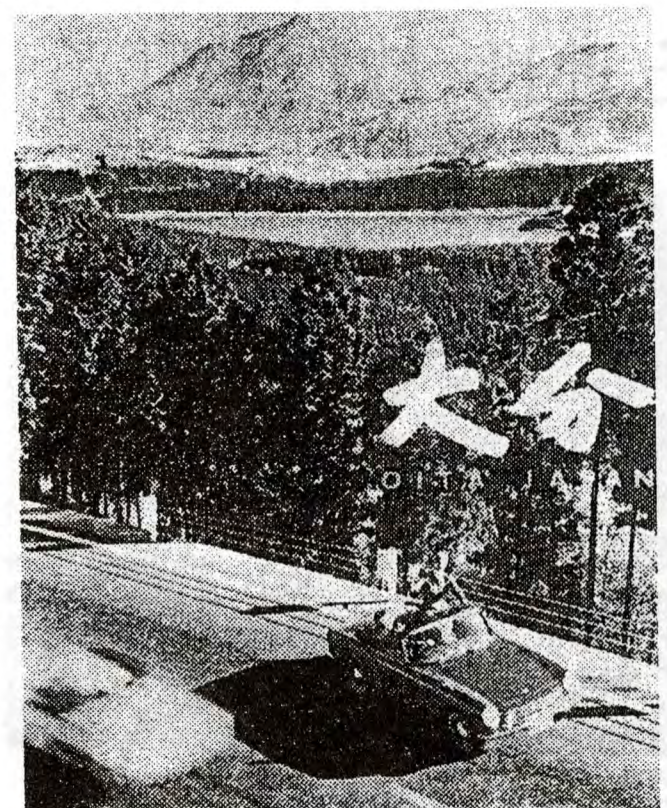
折しも、中谷たちを元気づけるでき...

折しも、中谷たちを元気づけるでき...

信を得た」といふ。やまなみハイウェイ...

50年の軌跡

H.7.4.27 50



開通したやまなみハイウェイをアピールする大分県の観光...

湯のまち奮戦記

①

由布岳の山肌を覆う新緑、南側の湯...

同時に、水没する温泉の将来につい...

観的な見通しを示している。財界の大立者...

して語る。「自宅そばの旅館に、二年...

たのは自衛隊だった。合併前の由布院町時代...

計画を立てたのは、国でも県でもな...

『湯布院町誌』に記載された当時の...

運動にのめり込んだ岩男は、五五年...

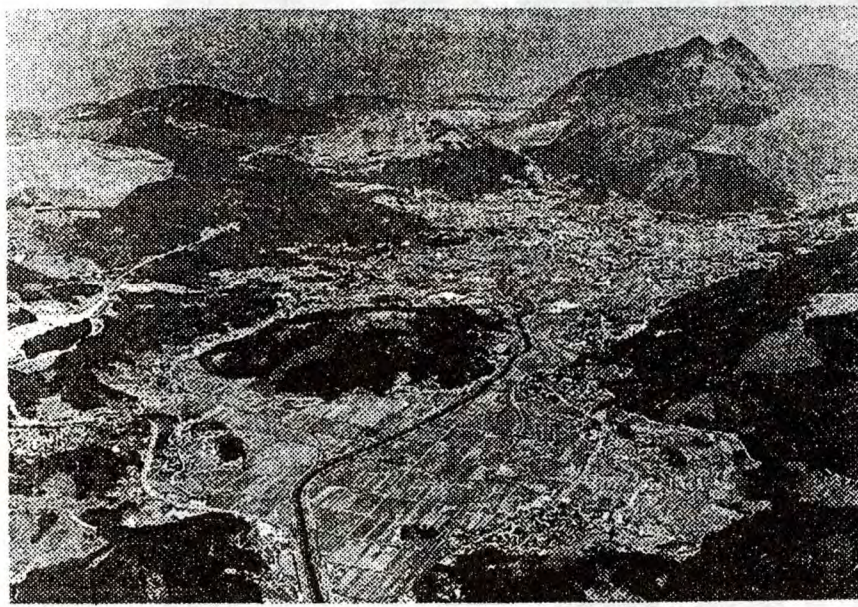
結局、岩男は町長を五期十九年務め...

湯布院町が温泉保養地として今日の...

50年の軌跡

H.7.4.26 49

振興策、ダムより自衛隊



由布院盆地の全景。40年前、ここを沈めるダム計画が...

岩男の当選によって、ダム構想は立...

「良くも悪くもワンマン町長だった...

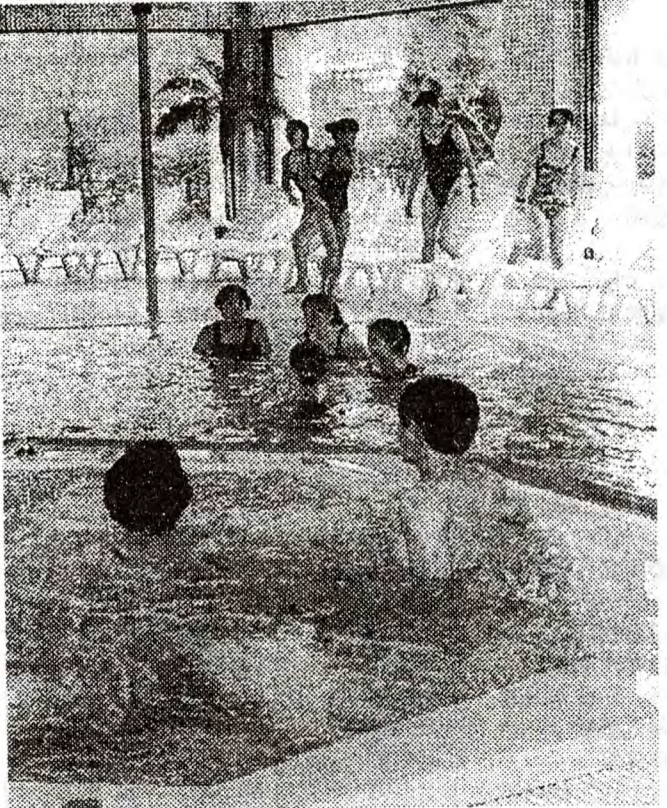
知恵集め町づくり続く

一九八二年、大分県湯布院町は「クアハウス（温泉保養施設）」論議に明け暮れた。八一年に環境庁の国民健康温泉地の指定を受けたことから、町が目玉になるクアハウスの建設に動き出したのだ。

町長は、ワンマン型の故岩男頼一が七四年一月に退き、柔軟型の清水喜徳邸などに代わっていた。「行政のメンツなど気にせず、町民主導こそ本場の町づくり」という考えの持ち主。「民間でプランづくりを」という機運が盛り上がった。

もともと「温泉保養施設」の発想を湯布院に持ち込んだのは、中谷健太郎（六）と溝口薫平（六）、故志手康二の二代目旅館主の三人組だった。七二年夏、三人は五十日間のヨーロッパ旅行に出かけた。「明日の由布院を考える会」の代表として、町づくりの参考にするためだ。

ドイツで見たいくつかの温泉地とクアハウスは、歡樂のためではなく、保養のために利用されていた。帰国した三人組は、とりつかれたように「クアハウス」を訴えて回った。



温泉浴を楽しむ家族連れや若い女性ら。大分県湯布院町川上の健康温泉館「クアージュゆふいん」で

清水自身も、七八年に団長としてドイツを視察。「クアオルト（温泉保養地）構想」を打ち出した。十年越しの夢を目の前にして、中谷らは「五十人委員会」を結成。「百日シンポジウム」と称して、八二年六月から十月まで、どんな施設がふさわしいか、夜ごと意見を戦わせた。

「百日シンポ」には、計画に携わる立場にいた現町住民課長の長谷川弘（五）も参加した。「行政と民間の垣根を取っ払って個人の資格で発言した。帰宅は毎晩、午前様だった」と懐かしむ。このときは、財政事情から実現しなかったが、八六年に「クアオルト構想推進委員会」が、清水と交代した町長の吉村格哉（五）に、改めてクアハウスのあり方を答申。九〇年四月、健康温泉館「クアージュゆふいん」として実現する。

クアハウスに注がれた町民のエネルギーは、町づくりにも向かう。八四年一月、福岡市の開発業者が出してきた「会員制宿泊施設」の事業計画を見て、溝口は目をむいた。町中心部に九階建てのホテルを建てるというのだ。湯布院には、今も五階建てまでしかない。

由布院温泉旅館組合長として折衝にあたった溝口は「一年間話し合い、四階に抑えてもらった。『自慢の由布院が見えなくなる』『氏神の六所宮のこ

神木より高い建物は建ててはいけないことになっている」といったクレームが切り札になった」といふ。これを機に、町は八四年五月、「住環境保全条例」を制定。大規模な建物を建てる場合には、高さや色合いを事前に町と協議するように定めた。九〇年には「潤いのある町づくり条例」も制定する。

湯布院の町づくりを見てきた大分県知事の平松守彦（七）は「行政主導や補助金依存でなく、自分たちのアイデアでやってきた」と高く評価する。「一品運動」の提唱者として、自慢の種でもある。中谷らが火をつけた運動の成果ともいえる「クアージュゆふいん」は、一万二千平方メートルの敷地に、温泉棟、レストラン、研修棟などが並ぶ。町と土地信託を結んだ三井信託銀行が約十二億円をつくらせた。

だが、利用客は当初見込みを下回っている。中谷は、運営面で「食べ物や音楽、絵などで楽しい出会いを演出すれば、もっと利用客が増えるはず」と注文を付ける。湯布院の町づくりは、これからも続く。敬称略（社会部・三輪 節生）

50年の軌跡

52

H7.4.29

湯のまち奮戦記

「実は、集落の共有地の放牧地をゴルフ場に売ろうかという話が持ち上がって、困っちゃうんじゃないか。何か面白い方法はないじゃろか」

大分県湯布院町で牛を飼っている近藤和義（六）が、まちづくりリーダーの中谷健太郎（六）にこんな相談をしたのは一九七一年のことだった。近藤は小学校時代の同級生の中谷に誘われ、発足したばかりの「明日の由布院を考える会」に加わっていた。

「経営不振で、うちの集落でもゴルフ場で働けばいい」と、売りたい人がおっつてなあ。こんままじゃ、牛を飼えんことなる」「どげすりゃ、売らんで済むか」「牛を増やすよりほかにねえ。けど農協から金を借りたら、秋に米代から

引かるる」中谷の答えは「都会の人の金を持ってくればいい」。二十万円を五年間出資して、雌牛のオーナーになってもら

う。農家は、生まれた子牛を売って二十万円を返済する。出資者には、利息代わりに農産物を送る、というアイデアだ。自然保護のため土地を買い上げる英国のナショナルトラスト運動などにヒントを得たという。こうして七二年から「牛一頭牧場運

動」がスタートした。近藤の呼びかけに応じた農家は七戸。「見知らぬ人が二十万円も出してくれるならうか」と安かった。試みは大きな反響を呼び、やがてオーナーは百人を超えた。ピクニックに来るオーナーとの交流が広がり、観光イベント「牛食い絶叫大会」も生まれた。

故田中角栄の「日本列島改造論」に象徴される七〇年前後、日本中が開発ブームにわいた。湯布院町も渦に巻き込まれ、観光客を呼び込むやまなみハイウェイが、同時に乱開発も招きかねない状況にあった。

旅館主の中谷や、溝口薫平（六）からは改めて「野放図な開発から町を守らなければ、自分たちの目指す温泉づくりも不可能」と悟った。その機関車役を果たしたのが、七一年三月に結成された「明日の由布院を考える会」だ。会長には、岩男頼一町長の実弟で、病院長を引き継いだ岩男彰（六）が担ぎ出された。

「考える会」の端緒は、七〇年夏に隣の別府市で持ち上がったゴルフ場計画だった。町内でも、五期目を迎えた岩男町長が七一年、別荘地開発をもくろむ大手デベロッパーに町有地を売り、中谷らとの間に溝ができた。

50年の軌跡

51

H7.4.28

都会と連携、放牧地守る



「牛一頭牧場運動」のアイデアで、ゴルフ場開発から守られた放牧地。1982年、大分県湯布院町並柳で

「考える会」は、自然を守る運動のほか、地域おこしにも力を注いだ。特産品づくりを試み、農家に朝市を提案した。町並みを美しくするため、案内標識のデザインも統一した。

しかし、湯布院の試練は続く。七三年の第一次石油ショックと、七五年の大分中部地震。うちひしがれた気分をはね返そうと、中谷のアイデアで七五年八月、「ゆふいん音楽祭」が生まれた。翌七六年には「湯布院映画祭」も開いた。このころから、湯布院の名は全国に浸透していった。

牛肉も、今やすっかり湯布院名物になった。旅館やレストランで出される肉料理に客が舌つづみを打ち、土産品としても好評だ。

近藤は「牛一頭牧場運動を始めた二十三年前、うちで飼っていた親牛は八頭でした。今では三十五頭。子牛を含めると五十四頭います」と、胸を張った。（敬称略）

# 島原中心市街地街づくり推進協議会会員名簿

鯉の泳ぐまち地区研究会							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	F A X	備考
委員長 副委員長	藤田 良彦	藤田時計店 (株)吉田正八商店 島原振興局	新町2丁目	63-0035	63-0035	63-5415	
	吉田 耕三		高島1丁目	62-4107	63-6464		
	林田 兼文		新町2丁目	63-0111	63-1171		
	島崎 徳雄	山崎本店酒造所 ひらかた商店 (有)若林勇商店 しろはと工社	新町2丁目		63-3464		
	西田 正剛		新町2丁目	63-0333	62-6580		
	山崎 重裕		白土町	62-2175	62-2175		
	平沼 利久		中堀町	62-3478			
	若林 久展	荒木社会保険労務士 市役所	新町1丁目	62-3978	62-3978	62-6835	
	上田 久寛		西八幡町	62-2817	63-6830	62-2817	
	荒木 敏夫		高島2丁目	62-7685	62-7685	63-2787	
	山北 好一	林田米屋 水屋敷石川邸	新町2丁目	63-1111	62-2009		
	内島 哲蔵		新町2丁目		63-7577		
	林田 敏幸		新町2丁目	62-2440	62-2440		
	石川 俊男		新町2丁目	62-8555	64-4817	62-8555	
	宮崎 幸蔵			新町2丁目	62-7226		

森岳地区街づくり協定研究会							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	F A X	備考
委員長	猪原 信明	猪原金物店 (株)光永商店 (有)わかば写真館 安藤電機店 平野食堂 (有)上田宝飾時計店	上の町	62-3117	62-3117	62-3118	
	光永 建一		上の町	62-2291	62-2291	62-2466	
	松坂 昌應		上の町	62-4414	62-4414	62-4412	
	安藤 直樹		上の町	62-2912	62-2912	64-2824	
	平野 昭彦		上の町	62-2508	62-2508		
	上田 文夫		上の町	62-3688	62-2186	62-3688	
	宮崎 東三		上の町	62-3396	62-3396	62-3013	
	本村 州三		上の町		62-3980		
	島田 論一		島田菓子店	上の町	62-4740	63-6626	63-6626
	小川 泰一		月光堂	上の町	63-6755	63-2933	63-2933
	村本 雅一	(有)村本組	上の町	62-6970	64-4455		
	三原 一仁		上の町		62-3873	63-6966	
	林 正邦		上の町		62-4631	63-3211	
	長濱 七郎	インテリアBOX	上の町	63-7799	64-6633	64-6633	
	山村 和秀	山村塾	上の町	63-2845	63-2845	63-2845	

水頭通り研究会							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	F A X	備考
委員長	長池 要七	(株)長池屋	中堀町	62-4500	62-4500	64-3602	
	荒木 至	万年亀酒店	加美町	62-4439	62-4439	62-4439	
	橋本 英明	(株)第一不動産	白土町	64-1122	63-1266	64-1122	
	水本 洋	水本電器	中堀町	64-0056	63-5310	64-0882	
	林田 三人	中堀町町内会長	中堀町		62-5501		
	北尾 純次	北尾茶舗	中堀町	62-4463	62-4463		

中央公園研究会							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	F A X	備考
委員長	鹿田 信雄	(有)美乃本店	中堀町	63-3030	63-2079	63-3913	
副委員長	柴木 久春	(資)めがねのエイキ	堀町	63-0659	63-0659	63-0659	
副委員長	草野 未江子	草野たばこ店	高島二丁目	63-1822	63-1822		
事務局	兼田 忠和	アビーロード	中堀町	63-7800	63-7812	63-7812	
	白山 真一郎	(資)白山履物店	中堀町	62-2714	62-2714		
	山崎 和彦	サザレ	中堀町	64-5122	63-4322		
	前田 公男	前田組	寺町	62-2364	62-2364		
	佐々川 伸一	(有)東洋電気商店	坂上町	62-5412	63-5094	63-3441	
	松下 英爾	市役所	高島一丁目	63-1111	62-5522		
	田浦 省吾	田浦省吾事務所	上の町	64-4035	63-7352		
	広瀬 朗	(資)広瀬商会	下川尻町	62-2108	62-2108	62-7406	
	珠林 信男	珠林組	弁天町一丁目	62-2891	62-2891		
	元島 和枝	全日本観光サービス	元船津町	63-1030	62-3807		
	松田 文彦	(株)大和屋	萩原一丁目	63-3355	63-6622	62-2870	
	森脇 久夫	森脇製材所	高島二丁目	62-3055	63-2781	63-6333	
	本多 正明	本多燃料店	中堀町	62-2807	62-2807		
	大塩 千代子	大塩屋	新町一丁目	62-2405			

核施設研究会							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	F A X	備考
委員長	中山 千尋	(有)ホムールグループ	中堀町	63-5111	63-5111	63-7888	
副委員長	城島 真一	カメラの城島	堀町	62-2413	62-2413	62-2413	
副委員長	兼田 雅和	(有)兼田商店	万町	64-2002	64-2002	62-5196	
事務局	金子 博之	(資)金子書店	堀町	62-4548	62-4548	64-0915	
	北村 正保	レディースファッショングラス	堀町	63-6615	64-2866	63-6615	
	森川 智光	(有)横浜屋	堀町	62-2963	62-2963	62-4374	
	山内 勲	(資)山之内 眼鏡店	万町	62-3003	62-3003	63-4930	
	三浦 富雄	(資)丸美屋	万町	62-3679	62-3679	62-3679	
	森川 美智春	横浜電気店	万町	62-3730	62-3730	62-3730	
	石川 俊男	水屋敷	万町	62-8555	64-4817		
	藤田 昌之	藤田屋ファミリー豆本家	上の町		63-1100		
	内田 憲一郎	(有)内田自動車整備	西八幡町	62-2528	62-2528	64-2400	
	稲田 勝裕	稲田農園	上の原二丁目		62-4603		
	入江 敏昭	自営業	北原町		63-1497		
	佐藤 勝亮	(資)佐藤電装	弁天町二丁目	62-2649	62-2649	62-2809	
	石橋 一朝	東洋興産	高島一丁目	63-6446			

島原中心市街地街づくり推進協議会事務局							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	FAX	備考
事務局	大野 友道	大野会計事務所	弁天町二丁目	63-3131	62-7846	63-0679	
	北村 正保	レイズファッショングラス	堀町	63-6615	64-2866	63-6615	
	吉田 耕三	(株)吉田正八商店	高島1丁目	62-4107	63-6464		
	兼田 忠和	アビーロード	中堀町	63-7800	63-7812	63-7812	
	金子 博之	(資)金子書店	堀町	62-4548	62-4548	64-0915	
	松坂 昌應	(有)わかば写真館	上の町	62-4414	62-4414	62-4412	
	山村 和秀	山村塾	上の町	63-2845	63-2845	63-2845	
	末永 節夫	島原商工会議所	高島二丁目	62-2101	63-4124	62-2393	

島原中心市街地街づくり推進協議会							
役職	氏名	事業所名・勤務先等	所在地・住所	事業所	自宅	FAX	備考
会長	古瀬 亨	ミッキーシューズ	中堀町	62-4560	62-6120		

## 会 員 名 簿

### ◎商店街、婦人会関係

	氏名	住所		氏名	住所
	※姫田 英治	城内一丁目	理事	※荒木 至	加美町
	高原 清子	古丁		宮崎 好申	白土町
	増田 澄	江戸丁		※山崎 重裕	〃
理事	猪原 信明	上の町		橋本 英明	〃
	松坂 昌応	〃		栄木 久春	堀町
	香川 東	〃		金子 博之	〃
	平野 照彦	〃		城島 真一	〃
	安藤 直樹	〃	会長	古瀬 亨	中堀町
会計	光永 建一	〃	理事	中山 千尋	〃
	葛蒲 佳生	中町	理事	鹿田 信雄	〃
副会長	宮崎 好弘	万町	理事	長池 要七	〃
	松下 勝	〃		坂本 周一郎	〃
	兼田 雅和	〃		白山 真一郎	〃
	山内 勲	〃		伊達 修治	〃
	安藤 光宣	萩原一丁目		水本 洋	〃
	藤田 昌之	新町一丁目	理事	石川 莞爾	〃
	若林 久展	〃	監事	平沼 利久	〃
監事	西田 正剛	新町二丁目	理事	前田 孝弘	弁天町一丁目
	寺田 ナル子	〃		本田 喜意子	〃
理事	吉田 耕三	高島一丁目		佐藤 勝亮	弁天町二丁目
	石橋 一朝	〃	理事	村中 浩子	〃
理事	草野 未江子	高島二丁目	理事	※吉岡 要	湊道二丁目
	反田 和子	〃		有馬 等	〃
	前田 公生	寺町	理事	伊藤 官治	広馬場町

◇48名(町内会と4名重複、氏名の前に※記入)



◎町内会関係

	町内会名	町内会長		町内会名	町内会長
理事	森岳地区会長	堀川 早登		高島二丁目	本田 正二
	上の町一区	宮崎 祐一		万 町	小山 泰男
	上の町二区	鶴殿 敏和		堀 町	金子 識
	中 町	寺田 厚		中堀町上	林田 三人
	片町新田町	楠 大典		中堀町中	坂本 光男
	今 川 町	片山 兼秀		中堀町下	羽田 安富
	桜 馬 場	※姫田 英治		白 土 上	酒井 豊
副会長	霊丘地区会長	矢島 安春		白 土 下	※山崎 重裕
	湊道一丁目	菅 定美		加美町上	中村 詮
	湊道二丁目	※吉岡 要		加美町下	※荒木 至
	弁 天 町	城 昭作		桜 町	中山 公
	弁 天 町 西	石田 豪			
	上 新 町	式見 輝一郎			
理事	下 新 町	藤田 良彦			
	高 島 二 区	三原 吉広			

◇26名(商店街、婦人会と4名重複、氏名の前に※記入)

# 活動報告書

平成 9 年 3 月

編集 発行 島原中心市街地街づくり推進協議会事務局

〒855 長崎県島原市高島 2 丁目 7217

島原商工会議所内

電話 (0957)62-2101

FAX (0957)62-2393